

第61回

令和5年度

神奈川県立高等学校

PTA連合会大会



期 日 令和5年12月10日（日）
会 場 パシフィコ横浜 会議センター
主 催 神奈川県立高等学校PTA連合会
後 援 神奈川県教育委員会
公益財団法人日本教育公務員弘済会神奈川支部
協 賛 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

ごあいさつ



神奈川県立高等学校 P T A 連合会
会 長 橋本 千春

令和5年度第61回神奈川県立高等学校 P T A 連合会大会が、会場参加と配信視聴参加により開催できますことに感謝申し上げます。皆さまには日頃より高 P 連の活動にご理解ご協力を賜り、役員を代表して御礼申し上げます。

本日の神奈川県立高等学校 P T A 連合会大会には、公務ご多用の中にもかかわらず、花田教育長をはじめ、神奈川県教育委員会、一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会、公益財団法人日本教育公務員神奈川支部、横浜市 P T A 連絡協議会、相模原市 P T A 連絡協議会より多数のご来賓の方々にご臨席を賜っております。心より感謝申し上げます。また、本日感謝状をお受けになる方々および団体の皆さまに対しまして、これまでの功績に改めて敬意を表するとともに、P T A 活動にお力を注いいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

高 P 連会長といたしましては、新型コロナウイルスによる影響が和らぎ、神奈川県内の高等学校において P T A 活動が元に戻りつつあることを心から嬉しく思っております。全く活動がなくなってしまった状態から、コロナ前の活動を再開させるには、さまざまなお苦勞があったことを多くの方から伺いました。青少年の健全育成に向けた P T A 活動の再活性化が進んでいることにあたり、皆さま方の各校でのご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、高等学校では高校生への金融教育がスタートし、これからの社会でより一層必要とされるスキルを身に付ける必要性が広がっています。これは、未来を担う子どもたちに対して、よりよい準備をしていくための大切な教育の一つです。私たち保護者も金融についての知識を深め、適切な助言ができるように学んでいく必要があると思います。県大会当日の講演では、バックンマックン氏が「お金にまつわる笑撃的国際交流」と題してお話をしてくださいませ。お金というテーマは日常生活に密着しており、それが国際的な視点で笑いに繋がるというのは非常に興味深いものです。私たちが普段から感じているお金にまつわる悩みや不安について、ユーモアを交えながら考えることで、新しい気づきや視点が得られることでしょう。

私たち高 P 連も、これからの P T A 活動において、このような新しいアプローチや視点を取り入れながら地域と協力し合い、学校と保護者が一体となって成長していけるよう努めてまいります。また、情報の共有やコミュニケーションの大切さを再認識し、更なる連携を深めていくことが、P T A 活動を続けていく上で大事にしなければならないことだと強く感じています。今後も皆さまのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。引き続き、安全で充実した学校生活のために共に力を合わせてまいりましょう。どうぞよろしく願いいたします。

最後になりますが、皆さま方のご健勝と各校 P T A、学校、地区協議会のますますのご発展を祈念申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

目 次

ごあいさつ

神奈川県立高等学校PTA連合会 会長 橋本 千春

◆大会要項・日程等◆

大会要項	1
大会日程	2
大会役員	3
大会来賓・広報紙コンクール審査委員	4
表彰者名簿	5

◆広報紙コンクール・広報紙「表紙」コンクール◆

募集要項	6～7
第47回広報紙コンクール・第7回広報紙「表紙」コンクール表彰校	8
歴代最優秀賞受賞校（過去15年間）	9

◆講演・PTA発表◆

記念講演	演題：『お金にまつわる笑撃的国際交流』	10
	講師：パッケンマッケン 氏	
活動事例発表1	県立舞岡高等学校PTA	11
活動事例発表2	県立相模原高等学校PTA	12

◆地区協議会報告◆

横浜北地区	13～20
横浜中地区	21～23
横浜南地区	24～30
川崎地区	31～39
横須賀三浦地区	40～42
湘南鎌倉地区	43～51
平塚秦野地区	52～56
県西地区	57～66
県央地区	67～73
相模原地区	74～78

◆参考資料（高P連・教育委員会）◆

高P連

令和5年度組織概要	79
〃 事業概要	80
〃 地区大会一覧表	81
〃 地区交通安全大会一覧表	82
〃 高P連交通安全対策組織図	83

県大会講師一覧	84
---------	----

教育委員会

子どもの成長を支援するための主な相談機関一覧	85～86
------------------------	-------

◆安全振興会のあらまし

A-1～A-10

◆大会要項・日程等◆

第 61 回 神奈川県立高等学校 P T A 連合会大会要項

<趣旨>

健全でたくましい心身を持ち、創造性に富んだ国際感覚豊かな青少年を育成するため、神奈川県立高等学校 P T A 連合会の会員が県内における P T A 活動や生徒を取り巻く環境に関する知識を深めることで、各校 P T A の望ましい姿を探求し、新しい時代の P T A 活動の充実と発展に役立てる。

<テーマ>

『学び・伝え・活かす』

I. 大会概要

1. 主 催 神奈川県立高等学校 P T A 連合会
2. 後 援 神奈川県教育委員会
公益財団法人日本教育公務員弘済会神奈川支部
3. 協 賛 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
4. 期 日 令和 5 年 12 月 10 日（日）12：40～16：50
5. 会 場 パシフィコ横浜会議センター
（横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
※YouTube 限定配信視聴 併用
6. 参加者 神奈川県立高等学校・中等教育学校 各校 P T A 会員
7. 参加費 無料

II. 大会日程

1. 会場受付・YouTube 配信待機 12：10～
2. 開会式・表彰 12：40～
3. 作文コンクール 13：20～
4. 広報紙コンクール 13：35～
5. 休 憩 14：05～
6. P T A 活動事例発表 14：20～
7. 保険説明 15：20～
8. 休 憩 15：25～
9. 講 演 15：40～
演題：お金にまつわる笑撃的国際交流
講師：パッケンマッケン 氏
10. 閉 会 16：50（予定）

大会日程

I 大会開会式・表彰式 (12:40~13:15)

(司会：神奈川県立高等学校PTA連合会副会長 小林 義和)

- 1 主催者あいさつ 神奈川県立高等学校PTA連合会会長 橋本 千春
神奈川県立学校長会議議長 加藤 俊志
- 2 来賓あいさつ 神奈川県教育委員会教育長 花田 忠雄
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会理事長 赤松 伸一
- 3 県知事感謝状 贈呈
- 4 高P連会長感謝状(個人)、表彰状(団体) 贈呈
- 5 謝辞 神奈川県立高等学校PTA連合会前副会長 吉川 綾

II 作文コンクール最優秀作朗読 (13:20~13:30)

- 1 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会 作文コンクール最優秀作朗読
- 2 記念品贈呈

III 広報紙コンクール・「表紙」コンクール表彰式 (13:35~14:05)

◆◆◆◆◆ 休憩 (14:05~14:20) ◆◆◆◆◆

IV PTA活動事例発表 (14:20~15:20)

- 1 活動事例発表1 14:20~14:45
発表校 横浜中地区 舞岡高等学校PTA
質疑
- 2 活動事例発表2 14:50~15:15
発表校 相模原地区 相模原高等学校PTA
質疑
- 3 講評 15:15~15:20
講評者 座間高等学校 校長 富澤 桂子

V 保険説明 (15:20~15:25)

◆◆◆◆◆ 休憩 (15:25~15:40) ◆◆◆◆◆

VI 記念講演 (15:40~16:45)

演題：『お金にまつわる笑撃的国際交流』

講師：バックンマックン 氏

大会役員

会 長	橋本 千春	
副 会 長	内田 裕美 角田 徹	植村 哲哉 小林 義和
顧 問 県立学校長会議 議長	加藤 俊志	
高P連相談役	會田 勉 立花ますみ	松本 靖史
地区協議会会長校 校長	都丸 利幸 (横浜北) 榎本 譲治 (横浜南) 平 容久 (横 三) 松本 靖史 (平 秦) 富澤 桂子 (県 央)	後藤 昌英 (横浜中) 中野 真理 (川 崎) 為成 雄司 (湘 鎌) 中島 良光 (県 西) 内田 勝久 (相模原)
委 員	菊地 朋美 (会 計) 釣 一博 (総 務) 大村智香子 (総 務) 藤下 貴雄 (監 事) 富澤 昇吉 (横浜北) 山形せつこ (横浜南) 皆川万記子 (横 三) 大瀧 美和 (平 秦) 石井 宏幸 (県 央)	岩澤のえみ (会 計) 関 みどり (総 務) 村田 広美 (監 事) 橋本 愛 (横浜中) 大島 武 (川 崎) 武田 澄江 (湘 鎌) 川合 栄二 (県 西) 田辺 大輔 (相模原)

大会来賓

神奈川県教育委員会	教育長	花田 忠雄
	生涯学習課長	信太雄一郎
公益財団法人日本教育公務員弘済会神奈川支部	支部長	井藤 直美
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会	理事長	赤松 伸一
	常務理事	反町 聡之
	常務理事	吉川 亮
	常務理事	中野真衣子
	事務局長	高尾 成弘
横浜市PTA連絡協議会	会長	東 隆幸
相模原市PTA連絡協議会	会長	中村 岳彦

広報紙コンクール審査委員

神奈川新聞社統合編集局	編成部長 兼 経営戦略本部	小野たまみ(審査委員長)
神奈川県教育委員会生涯学習課	主事兼社会教育担当主事	奈良橋 仁
神奈川県立学校長会議	高P連相談役	松本 靖史
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会	常務理事	吉川 亮
神奈川県立高等学校PTA連合会	副会長	植村 哲哉

◇第 6 1 回 県大会表彰者名簿◇

① 県知事感謝状 (※役員・理事として3年以上在任され令和4年度で退任された方)

表彰者名	役 職
吉 川 綾	前高P連副会長

② 高P連会長感謝状 (個人) (※令和4年度で退任された役員・理事)

表彰者名	役 職	表彰者名	役 職
吉 川 綾	前高P連副会長	露 木 晴 雄	前高P連理事
山 崎 浩 枝	前高P連会計	澁 谷 久 美	前高P連理事
北 浩	前高P連総務	相 澤 英 子	前高P連理事
市 村 杏 奈	前高P連総務	新 井 聡 司	前高P連理事
君 島 幸 恵	前高P連監事		
中 嶋 ル ミ	前高P連監事		

③ 高P連会長表彰 (団体) (※令和4年度理事校)

表 彰 団 体 名			
神 奈 川 県 立	元 石 川	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	横 浜 瀬 谷	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	横 浜 立 野	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	百 合 丘	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	海 洋 科 学	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	鎌 倉	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	大 磯	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	大 井	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	綾 瀬 西	高 等 学 校	P T A
神 奈 川 県 立	橋 本	高 等 学 校	P T A

◆広報紙コンクール◆

第47回広報紙コンクール

第7回広報紙「表紙」コンクール

第47回 神奈川県立高等学校PTA連合会広報紙コンクール募集要項

- 1 趣 旨 神奈川県立高等学校PTA連合会に所属する県立学校および中等教育学校のPTAが発行する広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰することによりPTA広報活動の活性化を促進し、PTA活動の一助とすることを目的とします。
- 2 主 催 神奈川県立高等学校PTA連合会
後 援 神奈川県教育委員会
株式会社神奈川新聞社
協 賛 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
- 3 応募要領
 - ① 対象作品：各校PTAで発行される広報紙で、令和4年10月18日から令和5年10月17日までに発行された広報紙一点とします。PTAが発行したもので、手書き・手作りを含み、発行方法、印刷方法や版型については、特に規定しません。
 - ② 応募期間：令和5年9月19日（火）～10月17日（火）必着
 - ③ 送付部数：審査対象の広報紙 12部（Web発行の場合は、印刷したものを提出すること）
 - ④ 送り先：〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル9F
神奈川県立高等学校PTA連合会事務局 宛
- 4 審査委員会 審査については、審査委員会を構成して審査に当たります。
審査委員会は、株式会社神奈川新聞社、神奈川県教育委員会、一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会、神奈川県立高等学校PTA連合会で構成いたします。
- 5 審査項目
 - ① PTA広報紙として必要な情報を伝えると同時に、考察や提案をまじえた紙面づくりができています。
 - ② 企画力を感じる。
 - ③ 写真・レイアウト・見出しにデザイン性やインパクトが感じられる。
 - ④ 広報紙として学校の雰囲気や魅力を十分伝えている。上記の審査項目に基づき、PTA広報紙の持つ目的・役割・記事・編集・レイアウト・見出し・文章などを総合的に審査いたします。
- 6 審査委員会 令和5年11月4日（土）
- 7 表 彰 最優秀賞：1校
優 秀 賞：4校
（教育委員会教育長賞1校 神奈川新聞社賞1校 安全振興会賞1校
神奈川県立高等学校PTA連合会校長賞 1校）
奨 励 賞：5校
安全振興会写真賞：1校
写 真 賞：1校
企 画 賞：1校
編 集 賞：1校
- 8 表 彰 式 日 時 令和5年12月10日（日）
会 場 パシフィコ横浜

第7回 神奈川県立高等学校PTA連合会広報紙「表紙」コンクール募集要項

- 1 趣 旨 神奈川県立高等学校PTA連合会に所属する県立学校および中等教育学校のPTAが発行する広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰することによりPTA広報活動の活性化を促進し、PTA活動の一助とすることを目的とします。
- 2 主 催 神奈川県立高等学校PTA連合会
後 援 神奈川県教育委員会
株式会社神奈川新聞社
協 賛 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
- 3 応募要領
 - ① 対象作品：各校PTAで発行される広報紙で、令和4年10月18日から令和5年10月17日までに発行された広報紙一点とします。PTAが発行したもので、手書き、手作りを含み発行方法、印刷方法や版型については、特に規定しません。
ホームページにあげても支障がないかを事前に確認をしたものを、対象とする。
 - ② 応募期間：令和5年9月19日（火）～10月17日（火）必着
 - ③ 送付部数：審査対象の広報紙 1部（Web発行の場合は、表紙をjpeg形式にしてメール添付）
（対象作品期間内であれば、広報紙コンクールに応募した同じ号でなくてもよい）
 - ④ 送り先：〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル9F
神奈川県立高等学校PTA連合会事務局 宛
※メールの場合：kana.koupren@kanagawa-koupren.org ヘメール添付
- 4 審査方法 応募のあった表紙を神奈川県立高等学校PTA連合会のホームページに公開し、会員の投票（一人3作品に投票）により優秀賞を決定します。
応募していない学校のPTA会員も、投票することができますので、ぜひ投票してください。
- 5 投票期間 令和5年10月22日（日）～11月5日（日）
- 6 表 彰 優秀賞：1校
- 7 表彰式 日 時 令和5年12月10日（日）
会 場 パシフィコ横浜

【お知らせ】

次年度から「表紙」コンクールの審査方法を広報紙コンクールに統一し、現在のホームページでの会員による投票から変更することを検討しております。
この審査方法での「表紙」コンクールは今回が最後です。
奮ってご応募ください！お待ちしております！

令和5年度 第47回広報紙コンクール表彰校

賞	校名
最優秀賞（1校）	
優秀賞（4校）	
神奈川新聞社賞	
神奈川県教育委員会教育長賞	
神奈川県立高等学校PTA連合会校長賞	
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会賞	
奨励賞（5校）	
安全振興会写真賞（1校）	
写真賞（1校）	
企画賞（1校）	
編集賞（1校）	

【受賞校一覧】五十音順

生田東高校	市ヶ尾高校	海洋科学高校	神奈川総合高校
鎌倉高校	相模原弥栄高校	座間高校	七里ガ浜高校
多摩高校	中央農業高校	柏陽高校	元石川高校
大和高校	横須賀高校		

令和5年度 第7回広報紙「表紙」コンクール表彰校

賞	校名
優秀賞	

歴代最優秀賞受賞校（過去15年）

回数	年度	受賞校
46	令和4年度	生田東高等学校
45	令和3年度	七里ガ浜高等学校
44	令和2年度	平塚中等教育学校
43	令和元年度	七里ガ浜高等学校
42	平成30年度	大船高等学校
41	平成29年度	秦野高等学校
40	平成28年度	大船高等学校
39	平成27年度	横須賀高等学校
38	平成26年度	横須賀高等学校
37	平成25年度	川崎高等学校
36	平成24年度	希望ヶ丘高等学校
35	平成23年度	横須賀高等学校
34	平成22年度	多摩高等学校
33	平成21年度	横須賀高等学校
32	平成20年度	大船高等学校

◆講演・PTA発表◆

記念講演

活動事例発表 1

活動事例発表 2

【 講 演 紹 介 】

演 題：『お金にまつわる笑撃的国際交流』

講 師：パッキンマックン 氏

タレント

吉田眞とアメリカ・コロラド州出身のパトリック・ハーランが1997年に共通の知人の紹介で知り合い、パッキンマックンを結成。

日米文化をネタにしたお笑いで人気を博し、現在もテレビやラジオ、イベントなど幅広いフィールドで活躍している。

■パッキン

本 名：パトリック・ハーラン

生年月日：1970年11月14日

出身地：アメリカ・コロラド州

趣 味：床体操、板飛込み、バレーボール、卓球

サイズ：身長184cm、体重76kg、B98・W80・H98

シューズ27.5cm

血液型：O型

略 歴：ハーバード大学比較宗教学部卒業、福井ブランド大使、
福井市観光大使、東京工業大学非常勤講師、
流通経済大学客員教授

■マックン

本 名：吉田眞（よしだまこと）

生年月日：1973年3月26日

出身地：群馬県富岡市

趣 味：釣り、料理

サイズ：身長176cm、体重76kg、B89・W78・H90・シューズ26.5cm

血液型：AB型

略 歴：群馬県立吉井高等学校卒業、ぐんま観光特使、富岡ふるさと大使



※転載禁止

人生100年時代と言われるようになりましたが、将来に備えるという意味においても、早い時期から資産形成や運用の仕方を学んでおくことが必要となっています。

異国コンビのパイオニアとして親しまれているパッキンマックン氏に、「お金を貯める」という日本人、「お金を育てる」というアメリカ人のお金に関する考え方の違いなど、お金にまつわる講演内容を楽しくわかりやすく解説いただきます。

当日限定で講演を拝聴する貴重な機会となりますので、是非ご参加ください。

活動事例発表 1 神奈川県立舞岡高等学校 P T A

発表テーマ 「マイタケプロジェクト

～ 変化に対応する持続可能な P T A ～」

→ 23 ページに資料があります。

<メモ>

活動事例発表2 神奈川県立相模原高等学校PTA

発表テーマ 「PTA活動の紹介と

『神奈川県まなびや基金』の活用」

→ 76～78 ページに資料があります。

<メモ>

◆地区協議会報告◆

横浜北地区

横浜中地区

横浜南地区

川崎地区

横須賀三浦地区

湘南鎌倉地区

平塚秦野地区

県西地区

県央地区

相模原地区

(すべての報告書は提出していただいたものをそのまま掲載しています。)

横浜北地区大会

主催 神奈川県立高等学校PTA連合会横浜北地区協議会
後援 神奈川県教育委員会
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

1 日時 令和5年10月14日(土) 13:00~17:00

2 会場 横浜創英大学 レクチャーホール 他

3 参加者数 150名

4 日程(次第)

(1) 開会式

- ①開会のことば
- ②主催者挨拶
- ③地区学校長会議挨拶
- ④高P連挨拶
- ⑤来賓祝辞
- ⑥令和5年度横浜北地区協議会理事紹介

(2) 記念講演

講師 中丸ひとみ氏(元切手デザイナー)
演題 SNS全盛期における手紙コミュニケーション
質疑応答

(3) 研究発表

- ①研究発表Ⅰ「文武両道で未来を拓く」～地域とふれあい大作戦～
学校名 神奈川県立荏田高等学校
- ②研究発表Ⅱ「生徒たちと笑おう 学校と学ぼう 保護者と創ろう
NIPPA HIGH SCHOOL Parent Teacher Association」
～PTAとは?!誰のためにPTAはあるのか?
今だからこそできることを出来る範囲で!～
学校名 神奈川県立新羽高等学校

③助言者講評

(4) 分科会

副会長、学年、成人、広報、交通安全

(5) 閉会式

タイトル 「文武両道で未来を拓く」

学校名 神奈川県立荇田高等学校 P T A

研究テーマ 「＝地域ふれあい大作戦＝」



3つの柱『情熱・挑戦・絆』

1. 情熱をもって取り組む姿勢

何事にも情熱的に取り組むことで、学びの質を高め、自己実現へとつなげていきます。

生徒たちが熱心に学び、夢や目標に向かって努力する姿を応援しています。

2. 挑戦し続ける姿勢

新しい課題や困難に直面したとき、それを乗り越えるための挑戦の精神を持つことが重要です。そのために生徒たちが自らの課題を発見し、それを解決するために取り組んでいます。

3. 絆を大切にする姿勢

地域社会との絆を大切にし、その一員として貢献することを大切にしています。生徒たちは地域の活動やイベントに積極的に参加し、地域の人々との絆を深めています。

荇田高校とは

本校は、『文武両道で未来を拓く』をスローガンとして、『知・徳・体』の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する」とともに「自らの個性を尊重し、他者を思いやる心をもつ社会性に溢れた人材を育成する」ことを学校教育目標として日々の教育活動に取り組んでいます。平成5年度に設置されました体育コースは、今般の県立学校改革により平成29年度入学生から募集を停止いたしましたが、学校のミッションにも掲げられているように、体育コースで取り組んできた成果は、今後も学校全体の特色として継承していきます。

荇田高校 PTA について

荇田高校 PTA は、楽しさと負担の軽減をモットーとして活動しています。私たちの目標は、学校、生徒、そして保護者が一体となり、よりよい教育環境を作り上げる ことです。

時代とともに変化する PTA の役割や学校との かかわり方も進化してきました。近年、荇田高校の PTA は増員をして、役員の負担を減らすように分散して活動しています。そして多様な取り組みや活動を通じて、学校の成長をサポートしています。

私たち PTA は荇田高校の長い伝統を大切にしつつ、現在の教育ニーズに応じた サポートを提供しています。伝統を守ることと、新しい時代のニーズに柔軟に対応 することを両立させて、無理なく活動しています。



PTA の組織構成

荇田高校 PTA の活動は、以下の 3 つの柱で構成されています。

本部：PTA 全体の方針を決定、活動の全体的な方向性を示します。

常に学校・委員会とのパイプ役を務め、より良い学校生活、PTA 活動が行われるよう努めています。

学年委員会：文化・交通班と成人班に分かれて活動しています。文化・交通班は、文化祭の出店、自転車点検の実施などを行っています。成人班は、社会見学バスツアーの企画・実施を行っています。



広報委員会：学校行事に沿って生徒活動、PTA 活動取材撮影し、年 3 回の広報紙の発行を行っています。完成した広報紙は、年一回広報紙コンクールに出品しています。作成にあたっては、学校教職員・生徒・保護者の協力なくしては作成することができません。これからも、みなさんの心に残る広報紙を作成していきたいと思っています。

荇田高校 PTA は学校、生徒、保護者の三者が一体となり、より良い教育環境の実現を目指しています。

荇田高校部活動成果

荇田高校はもともと部活動が盛んで、数々の記録と記憶を残しています。陸上部の駅伝では、過去に全国高等学校駅伝大会の出場を果たし、その出場した記念の旗も残されています。ほかにも陸上部では、棒高跳びで東京オリンピック出場の「江島雅紀選手」は、36 期の卒業生でもあります。

野球部では、今年度の全国高校野球選手権神奈川予選大会で主将が選手宣誓を務めました。宣誓では、コロナ禍での苦しい活動の中、周りの人々の支えがありこの舞台に立てたことへの感謝を述べ、聞く人々の感動を誘う堂々たる宣誓でした。また、大会旗を運ぶ選手入場先導者の旗手もマネージャーが選考されました。二人にとって、よい思い出になりました。

荏田高校スポーツ科学研究発表

荏田高校スポーツ科学の研究発表は、昭和54年度の創立当初から続く、私たちの誇る伝統行事です。長い歴史の中で培われた研究の精神は、今も生徒たちの中に息づいています。平成5年から平成30年までの間、体育コースという形でスポーツ研究が展開されてきました。このコースは現在終了していますが、その研究の精神は失われることなく、スポーツ科学を選択する生徒たちによって継承され、現在も研究がすすめられています。

研究テーマ

- 1班 プレッシャー・焦りが及ぼすプレーへの影響
- 2班 心拍数と疲労の関係性
- 3班 練習時間が運動に与える影響
- 4班 スポーツマスクが運動に与える影響
- 5班 重りを使うことでパフォーマンスは向上するのか
- 6班 最強疲労回復方法
- 7班 カフェインが運動能力に及ぼす影響
- 8班 色彩環境が身体能力に及ぼす影響
- 9班 シャウト効果と柔軟性の関係
- 10班 運動におけるリズムの重要性
- 11班 運動前に食べる物の影響
- 12班 アミノ酸による運動への効果
- 13班 聴覚と運動パフォーマンスの関係性



研究発表の舞台では、生徒たちは緊張の面持ちでしたが、その胸中には自信と誇りが宿っています。長い時間をかけて仲間とともに取り組んだ研究成果を、堂々とした姿で発表する様子は感動的でした。彼らは実験、データ分析、資料作成、そして発表練習に多くの時間と労力を投じ、その成果をしっかりと示していました。

生徒たちが取り組んだ研究テーマは、どれも非常に興味深いものばかりでした。

彼らの研究は、新しいスポーツ科学の領域を切り開く可能性を秘めています。

荏田高校スポーツ科学の研究発表は、学問の深さと生徒たちの情熱が交差する場です。次世代を担う彼らの研究活動に、私たちは大きな期待を寄せています。



グリーン CLEAN えだ大作戦

グリーン CLEAN えだ大作戦とは、荇田高校近隣の小学校、中学校、荇田高校、そして地域の方々が一緒になって実施している特別な活動です。

この大作戦は、小学生から大人までの異なる世代の人たちの交流と、地域の自然環境を守るための取り組みです。

毎年11月中旬頃実施しており、授業の5～6時間目を利用して行っています。

主な活動として、近隣の清掃と学校前にある花壇にチューリップの球根を植えています。当日は大きく二つのグループに分け、一つは学校周辺の清掃、もう一つは球根の植え付けを行います。

荇田高校のスポーツ科学選択の生徒たちがリーダーとなり、小中学生をサポートしながら活動を進めていきます。



清掃グループはさらに細かく班分けを行い、住宅周辺、公園周辺、道路などにわかれていろいろな角度から行き、ごみを分別しながら清掃を実施していきます。

道路周辺は危険なため、高校生が小学生へ声掛けをすることにより、安全に活動を進めています。

球根植え付けグループは、高校生が球根を植える穴を掘り、小中学生が様々な色のチューリップの球根を植えます。

200m以上もある花壇となるので、春になって咲く通路両サイドに咲くチューリップは圧巻です。卒業、入学の時期に咲くのでとてもよい思い出となっています。

まわりと疎遠になりがちな今、地域の人との絆が深まることにより、地域が活性化され、よりよいまちづくりにつながり誰もが暮らしやすい街になることを目指したいものです。

荇田高校ではこの大作戦を継続し、次世代にも引き継いでいくことをこれからも目指していきます。



タイトル「生徒たちと笑おう・学校と学ぼう・保護者と創ろう」

NIPPA HIGH SCHOOL ParentTeacherAssociation 今だからこそ！できることを」

学校名 神奈川県立新羽高等学校 PTA

研究テーマ 「PTA とは？PTA の意義とこれからを考え、伝え、対応していくにはどうすべきか」

みなさんこんにちは。新羽高校 PTA です。

[新羽高校の紹介]

新羽高校は隣接する地域に幼稚園・小学校・中学校があり、その全てが『新羽』と入るとても地域特性が強い学校です。



[新羽高校と地域の関わり]

コロナ以前は、地域の夏祭りなどでも高校放送部がアナウンス協力・吹奏楽部が演奏披露・PTA が屋台で出店と交流があり、また高校ボランティア部が小学校のキッズクラブへ手品を披露しに行ったり、子どもたちと遊ぶお手伝いをしに行ったりとあったのですが…コロナによって全て自粛となりこの数年大きな交流が持てずにいましたが、今年度は久しぶりに夏祭りが開催し、その中で高校ダンス部の発表をする事ができました。コロナでいったん途切れてしまった地域との交流…これからまた、新しい形で繋がりが復活できればと思います。

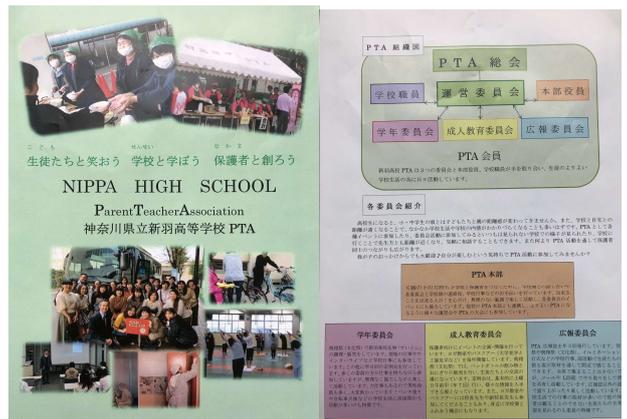


今年度新羽サマーフェスティバルに約 50 名のダンス部員参加★

[PTA の今までと PTA 紹介紙作成へ]

こんな新羽高校ですが、コロナ前、5年前まではPTA もクラスごとに何人、決まるまでは帰れない！くじでも決める！という入学式役員決めが踏襲されていました。やってみたら子どもたちのためになっていい経験だった！という言葉で卒業していく委員さんも多いですが、くじ引きなどで嫌な思いをした方もいたと思います。

そこで当時 5 年前の本部役員さんたちと、もっと気軽に、出来たら楽しんで PTA をやってもらいたいよね！まずは新羽高校の PTA を知ってもらおうと PTA 紹介紙を作成しました。



最初の PTA 紹介紙は両面刷りの活動を伝える最小限のものでした

[PTA とは？紹介紙で伝えたいこと]

PTA 紹介紙を作成するときに、新羽高校としてこういう PTA にしていきたいという思いを込めて決めたキャッチフレーズが『生徒たちと笑おう・学校と学ぼう・保護者と創ろう』という言葉です。

PTA って誰のため？と聞かれたらまずは『生徒たちのため！』ではないでしょうか？生徒たちの学校生活がいかに良くなるか、楽しい思い出をいっぱい作ってほしい！この思いで皆さんも PTA にご参加いただいているのではないのでしょうか？！

そして次に PTA の T は先生です！でも在籍人数も

多くなり、学校との距離も遠くなる高校では、なかなか先生方と話をしたり、学校の状況が見えにくいものです。けれど PTA として学校へ行ったり、委員さん同士の交流の中で、今学校がどういった方針なのか、どんな先生方がいるのかといったことが、格段に分かるようになります。

P だけでなく T だけでなく PT が一緒になって取り組む、共に学んでよりよくしていくこと、これこそ高校 PTA です！

最後に、PTA の A の Association！この単語は自発的に作っていく集団という意味です。この自発的に！というところが PTA という組織でついつい忘れがちになってしまいますが…集団で、また自発的に！という意味もこめて、何より PTA は参加する人自身も楽しめるようにこの『保護者と創ろう』というフレーズも最後に入れました。

このような思いで作成し始めた PTA 紹介紙も、どうやったらもっと身近に PTA を感じてもらえるかと改定を重ねて…今年度まで取り組んでいます。

[PTA 紹介紙を使った委員募集]

この PTA 紹介紙を合格者宛の書類に入れて、昨年度、今年度入学した保護者へは、入学手続き時にその場でお一人づつ、PTA 勧誘を行うようにしました！そして今年度はお声がけだけで、ある程度の人数を確保することができ、入学式での役員決めという場をなくしました。もちろん入学予定者説明会、入学式には PTA へのご理解とご協力のお願いと、お気持ちがある方はまだまだ募集中です！との話をすることは継続して行っています。

まだなかなか実際にやってみるとお引き受けいただいたけど…参加がない方やどうしても委員会ごとにその年によって人数が偏るなどということも出てきていますが…少しづつ出来る範囲で！無理な時には縮小や効率化を！他の委員会から手を借りたり、委員会の垣根をなくしたイベントにしたり、その年ごとの委員参加者がやれること、やりたいことに特化して…といった提案も出しつついい形を模索中です。



年間の PTA が関わる学校行事なども紹介しています！

[PTA 交流・新たな取り組みへ]

そしてこの数年、いろいろと PTA 活動を模索していく中でコロナもあり、PTA の各々の委員会活動も停滞していたこともあり…そもそも何が生徒たちは PTA にして欲しいのだろう？また PTA って生徒たちにはどれくらい活動の内容を知ってもらえているのだろう？ということから、もっと生徒の声を知りたい！と PTA・学校・生徒会で『座談会』を行うことを役員会などで提案してきました。それ

が昨年、やっと形になり『新羽しゃべり場』という名前で生徒会との交流の機会を得ることが叶いました。まずはいろいろなことをしゃべって！ということからPTAはPTAって何をしているか知ってる？というPTA活動の紹介とかって高校生だった時代の大人になって思うことなどを話しつつ…生徒からはまずは高校生活どんなことがしたい？どんな疑問や提案があるの？要望は？ということをごくばらんにおしゃべりしてもらいました。1時間程度の座談会一回では話さきれず、もう一回と昨年度は2回の開催を経て、その中でやっぱり大きいと感じたのは、もっと高校生らしいイベントや行事がしたい！やってみたいことはあるけどどうしたら実現のために動けるのかわからない…という生徒たちのもどかしい思いでした。大人でさえ、日常に忙殺されてしまうと何かをやりだすきっかけ作りは難しいもの…PTAとしても委員会の垣根を越えて何か交流できることをやりたいという思いもあり、座談会に参加して下さっていた当時の松本前校長先生から『PTAとして堆肥作りに取り組むのはどうだろうか？』というお話をいただきました。うまく企画していけば生徒やPTAの交流にもつながり、SDGsにからめた学習ができたり、PTAと一緒にというサポートの中、イベント企画の演習にも繋がるのでは！ということでした。そこで今年度、まずはその堆肥作りのプロジェクトをPTA交流企画として立ち上げ、そしてそのプロジェクトの名称を生徒会主催で募集してもらうことにしました。その一方で、PTAも堆肥についてや、プロジェクトのアピールも行いました。



飛翔祭では模造紙ポスターを会議室前に掲示してPR！

当初の予定では、飛翔祭に名称決定が間に合う予定でしたが、夏休みあけて意外とすぐに飛翔祭ということで…そのための準備と同時進行での募集というのは生徒会には難しく、飛翔祭終了後、10月募集となってしまいました。なかなか思っていたことが計画通りには進まなくて失敗することもまた、経験！そこからどうやって繋げるか…これが大事なので現在も生徒会と進行状況や今後についてを共有・検討しながらやっています。実際の堆肥作りは落ち葉がいっぱいになる11月以降開始となりますが、無理なく進められる範囲でやっています。



校門脇に堆肥置き場を決定、近日中に囲い設置予定

[最後に]

PTAって何のため？一番大事なものはやっぱり『生徒のため』それも自分の子だけでなく、我が子を含めた『みんなのため』でもそれだけ…大義名分では続きません。やっぱり参加する保護者や先生方が辛かったり大変なばかりでは意味がありません。ちょっと大変だな～と思うときにはやることを絞ったり、縮小させたり、効率化を図って変えたり…逆にこれがしたい！やってあげたい！のこえがあれば柔軟にそこを中心な活動にしていくことも大事です。BEST！を求めると無理が生じやすいのでよりみんながBETTERな活動を心がけ、今後も楽しく生徒たちと笑い、学校とともに学びながら、保護者の皆さんとその時に合ったPTA活動を創っていきたいと思います。

令和5年度神奈川県立高等学校PTA連合会横浜中地区協議会大会 次第

令和5年10月21日(土)

男女共同参画センター横浜

1 開会式 9:30～9:40

(1) 開会のことば 横浜平沼高等学校PTA会長 服部 悟宜

(2) 主催者挨拶

神奈川県立高等学校PTA連合会横浜中地区協議会

金井高等学校PTA会長 橋本 愛

(3) 横浜中地区協議会代表校長挨拶

金井高等学校校長 後藤 昌英

(4) 来賓挨拶

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会 常務理事 吉川 亮

2 活動事例発表

(1) 発表Ⅰ 9:40～10:00

発表校：横浜旭陵高等学校PTA

(2) 発表Ⅱ 10:00～10:20

発表校：舞岡高等学校PTA

指導助言：横浜瀬谷高等学校 小林校長

休憩 10:20～10:30

3 講演 10:30～11:25

講演者：三遊亭彩大 氏 (さんゆうてい さいだい)

テーマ：「落語から学ぶコミュニケーション」

4 閉会式 11:30

(1) 閉会のことば 横浜平沼高等学校PTA会長 服部 悟宜

タイトル 「研究発表 I」

講演者 渡辺 久美

学校名 横浜旭陵高等学校 P T A

講演テーマまたは研究テーマ 「大変よりも楽しいがまさる P T A」

はじめに

本日は、4年後の旭高校との統合前に、横浜旭陵高校の P T A 活動を報告する良い機会が持てたと考えている。少人数ながら、楽しんで活動を行っている。

1 学校紹介

本校は、旭区の高台にあり、東京ドームと同じほどの広い敷地がある。隣はズーラシアである。年次進行型単位制の珍しいカリキュラムで、90分の少人数制で授業を行っている。昨年から研修旅行が復活した。福島へ行き、震災学習、職業体験体験など有意義な活動を行った。夏休みに、生徒の自己肯定感を高める認知行動療法を取り入れたことが神奈川新聞で紹介された。神奈川テレビでも紹介予定である。

2 わが校の P T A

P T A の役員、委員は、すべて希望者で構成している。くじ引きは行わず、アンケートや懇談会でのスカウトを通じてメンバーを集めている。

3 学校行事に伴う P T A 活動

広報委員会は、広報誌作成のため、ほぼすべての行事で写真撮影を行っている。

学校行事では、年次委員会中心に、給水活動の「わか」で飲み物を配付している。「わか」の言葉は、生徒と P T A とをつなぐ意味がある。大きな学校行事「旭陵祭」では、クラスの親睦が深まる。今年は、4年ぶりに後夜祭も復活した。広い学校のあちこちでイベントがあり、見ごたえがある。

旭陵祭で P T A は、校章入りのどら焼きと軽食の販売をする。成人委員会では、七宝焼きの体験販売を行う。陸上競技大会 は、一般には非公開だが、P T A 役員は給水活動「わか」で参加する。

4 保護者向け P T A 活動

元プロレスラーの方を招き「三沢式ボディーバランス講習会」として講演会を行った。

成人委員会企画のバス旅行は、生徒の校外学習と同じ「そなエリア東京」で防災体験を行った。ランチも楽しむことができた。いざという時にためになる情報が多くあった。

昨年バス旅行が復活した。三島大社へ行き、みかん狩りと陶芸体験も行った。今年は大洗方面を予定している。夏には、七宝焼きの体験会を行った。

5 大会参加活動

平成30年は、「高校生の健康な食生活と運動」の講演を行った。関東大会栃木県では、日光東照宮の宮司のお話を、全国大会佐賀県では、片岡鶴太郎、レモンさんの基調講演を聞くことができた。

6 生徒と一緒に活動

生徒と校舎の廊下のペンキ塗りを行っている。生徒の緑化委員と草刈も行った。季節ごとにデザインを変えたプランターは環境委員会の活動である。夏休みは生徒が水やりをしてくれている。

今後も「大変よりも楽しいがまさる」よう、P T A 活動を無理なく続けていきたい。

タイトル 「研究発表Ⅱ」

学校名 舞岡高等学校 P T A

講演テーマまたは研究テーマ

「マイタケプロジェクト」 ～変化に対応する持続可能な P T A～

はじめに

舞岡高校は、県立高校 100 校計画で新設され、来年 50 周年を迎える。舞岡の丘に建つ校舎は、自然豊かな里山に位置しており、それぞれの季節を感じることができる。本日は、生徒、学校、地域が連携して取り組んでいる「マイオカ タケノコプロジェクト」について発表する。

1 「マイオカ タケノコ プロジェクト」とは

校地の 3 分の 1 を占める竹林を活用した取り組みである。竹林の整備を、教育活動に活用している。竹林の整備だけではなく、タケノコや竹を地域活動で活用している。PTA の OB も参加し、継続した活動となっている。

2 「マイタケプロジェクト」の四季

春 整備だけでなく周辺一帯の清掃活動を行う。役員のみならず、地域の方々や P T A 役員の OB も参加する。

夏 生徒が笹竹を切り出し、地域の小学校や施設に届けている。

秋 切り出した竹で竹灯籠を作り、街を彩る。生徒主体で商店街を飾る取り組みを行い、地域での活動につながっている。

冬 伐採した竹を、近くの舞岡公園内の窯で焼き上げ、竹炭として製品化している。

3 校内活動から地域活動へ

竹を活用した取り組みとして、竹炭の配布、竹灯籠づくり、バンブースプラッシュ（水鉄砲）の作成などをし、ワークショップなどの地域イベントでも活用している。

「戸塚モディ」など、地域の商業施設ともコラボした取り組みを行っていて、生徒主体でイベントにも出店している。バンブーシェイカーづくり体験コーナーでは、多くの親子が参加した。また、コミュニティカフェでは、竹炭の配布も行った。

4 自然との共存

校内の竹林や樹木の整備は、地域の環境保全として、近隣との良好な関係づくりの面からも大切に行っている。正面玄関には桔梗がある。桔梗の花びらをモチーフにした校章は、本校の教育目標である、自律、協同、創造、開拓、実践を表している。

5 SDGs そして未来へ

本校は、「総合的な探究の時間」の指定校となっている。SDGs に関わる研究として展開し、PTA も協力して活動に取り組んでいる。竹林を整備することで、環境保全、地域づくり、情操教育、多世代交流につなげ、多くの成果をあげている。

最後に

年度ごとに P T A の委員は入れ替わる。伝統や役割に固執することなく、その時代の社会状況に合わせて変化しながら活動していくことも重要であると考えている

資料詳細はこちらから

https://drive.google.com/file/d/12CoUo9LDcZAoo-bl_FOAgcZf-e-ToUTv/view?usp=drivesdk



令和5年度神奈川県立高等学校PTA連合会 横浜南地区協議会大会

- 1 日 時 令和5年10月14日(土) 13:30~16:00
- 2 会 場 港南公会堂ホール
- 3 参加者数 96名
- 4 次 第 司会：横浜明朋高等学校PTA

(1) 開 会 式

①開会のことば

横浜南陵高等学校PTA会長 佐藤 佐代子

②主催者あいさつ

横浜南地区協議会会長 横浜明朋高等学校PTA会長 山形 せつこ
横浜南地区協議会代表校校長 横浜明朋高等学校校長 榎本 譲治

③来賓あいさつ

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会 常務理事 吉川 亮

(2) 研究発表

①研究発表 I

テーマ「学び行動するPTA」 横浜南陵高等学校PTA
助言者講評 横浜氷取沢高等学校校長 坪内 幸子

②研究発表 II

テーマ「Have Fun!! PTA 横浜氷取沢流☆PTA 活動の楽しみ方」
～できる時にできる人ができることをする!楽しむことも忘れずに♪～
横浜氷取沢高等学校PTA
助言者講評 横浜南陵高等学校校長 旗島 経子

(3) 休 憩

(4) 講 演

講 師 澤口 ゆりあ 氏 (株式会社フェニックスプロジェクト代表取締役)
演 題 『デジタルデバイスから子どもたちの脳を守る
～子どもたちを守るために大人が知っておくべきこと～』

(5) 閉 会 式

閉会のことば

横浜氷取沢高等学校PTA会長 飯高 三友紀

研究発表 I

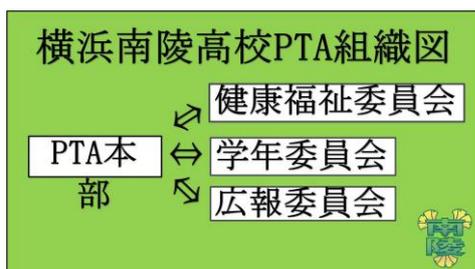
発表者 佐藤 (PTA 会長)、宮本 (PTA 副会長)、清水石 (本部)、涌谷 (健康福祉委員会)
大石 (学年委員会)、床波 (広報委員会)、
学校名 横浜南陵高等学校 P T A
研究テーマ 「学び行動する P T A」

1 学校紹介

平成 11 年に県立高校改革推進計画において、横浜日野高校と野庭高校が統合して開校した学校です。四季折々の花が美しい日野中央公園の近くにあり、通学に置いてもアクセスがしやすい場所にあります。現在 20 学級 781 名の生徒が在学しており、賑わいのある学校生活を送っています。

2 PTA 組織について

横浜南陵高校 PTA は、本部と健康福祉委員会、学年委員会、広報委員会と 4 つの柱で構成されており、時代のニーズに乗り、昨年度から委員会の役員は希望性を取っています。



3 PTA 本部 ※手話でも説明しました。

PTA 本部では、子供達の為に私達が出来る事を、学校や地域と連携し、会員同士が助け合いどんなサポートができるのか話し合い、活動しています。文化祭においては、横浜南陵高校のロゴが入った南陵グッズ等を販売し、文化祭実行委員会の生徒と話し合い、売上からテントを購入することができました。

観劇の企画では、日頃の忙しさを忘れて、楽しいひと時を過ごしてもらうため実施しています。今年度は劇団四季の「アラジン」を観賞する予定です。例年、鑑賞後は、食事会を設け、情報交換の場として賑わっています。

卒業式では、新たな門出を祝い、コサージュと、南陵どら焼きを生徒全員に配付しています。また、寒い時期なのでカイロを用意し寒さ対策にも万全の準備をしています。

今後もスチューデントファーストを貫き、生徒目線で考え、少しでも生徒が笑顔で楽しい学校生活を送れるように頑張っていきたいと思えます。



4 健康福祉委員会 ※手話でも説明しました。

花いっぱい運動は年 3 回、校内花壇の整備、花の植え替えを行っています。お花は地域の花屋さんにご相談し、おすすめの花を購入します。どの場所に配置したら良いかも写真にて教えてくださるので、綺麗にお花を配置することができます。

10 月に行う次の植え替えまでに枯れないよう、夏休みには学校に行って花の水やりをします。遠くから高校に通う生徒もいる為、水やりの日にわざわざ来るのは大変ですが、南陵高校では夏休みに三者面談があるので、その時に合わせて水やりをしたり、部活で登校するお子さんにやってもらったりと臨機応変に対応しています。

美化活動は土曜日の午前中に行っています。各階大体同じ位置にトイレがあるので 2、3 人ずつのグループになり、清掃等を行っています。その際、芳香剤、電池 (消音機用)、消毒液を持って三か所に分かれて下の階からこれらの交換をしています。消毒液はコロナ禍で使用する生徒が多くなったように感じます。生徒の使いやすいトイレ作りをすることも、美化活動の一環だと考え活動しています。



5 学年委員会 ※手話でも説明しました。

学年委員会は、会員と学校との連携調整にあたりるとともに、行事やイベントの企画調整を通して会員相互の交流を図ります。5月の学年懇談会のお手伝いからスタートし、制服のリサイクル活動、南陵祭の出店、保護者向けの講習会又は講演会など、学校と連携してさまざまな活動を行っています。月の定例会では、学年の垣根を越えて情報を共有できるような雰囲気作りに努め、有意義な場となるよう活動しております。

令和4年度から担当となった制服リサイクル活動は、少しずつ浸透し、南陵生を支えています。SDGsに通じる取り組みをしており、今後はより学校行事を活用して、回収や提供の場を考えていきたいと思っております。

3年ぶりに行われた令和4年度の南陵祭は、学校全体が喜びに満ち溢れていました。最初で最後の南陵祭となった3年生の笑顔と「楽しかった…」の言葉が忘れられません。

講習会・講演会の開催は、保護者の親睦を図る事はもちろん、楽しい時間、有意義な時間、癒しの時間を過ごしていただけたらとの想いで準備に取り組んでおります。昨年度は、ちりめん細工でお正月飾り作り、今年度は、「ダブルケア・ヤングケアラー」という講演会を予定しています。



5 広報委員会 ※手話でも説明しました。

広報委員会は、職員紹介や学校行事などを掲載した広報紙を年2回発行しています。学校行事では、生徒の皆さんが楽しむ様子や、真剣に取り組んでいる姿を、近い距離で撮影や取材をしています。行事の撮影は、1日中撮影をして大変なこともあります。私たちが行事に参加している気持ちになり、とても楽しんで撮影をしています。学校でしか見られない生徒の様子をお伝えできるような広報紙の発行に取り組んでいます。

広報紙の発行を終えると、生徒配布用に各クラス毎の部数に仕分け、先生に配布依頼を行います。また、神奈川県の高校・横浜市内の中学校宛に広報紙の郵送も行います。200部近くを郵送するため、封詰め、宛名ラベル貼りなど地道な作業を行います。皆で揃って作業を行うとあっという間に終わります。集まって作業することで、連帯感も生まれ、意外と楽しい時間です。

定例会は、月1回ペースで全学年の委員が集まります。日々、連絡ツールでの情報共有を進めていますが、顔を合わせて話すことも大切です。広報委員の人数は少ないので、「やれる人がやる！」を合言葉に、各学年が協力し相談しながら取り組んでいます。広報紙の発行や運営委員会では、初めて取り組むことも多くありますが、日々学んで行動しています。



6 副会長の野望

断れない性分から副会長をやることにしましたが、やると決めたら全力でやります！

1. トイレのリノベーション
外のトイレが古くなっているので、見積もりを取り、文化祭の売り上げを参考にし、何年で建て替えられるか企画書を作る。
2. 南陵祭での未成年の主張
生徒会とコラボして名物企画を作る。
3. 自販機内容の検討
高校生が必要な飲み物を検討し販売してもらえるように交渉する。
4. 売店
いろいろなものを入れ売店のメニュー表などを作成し生徒が利用しやすい環境づくりを進める。

助言者講評

研究発表 I 「学び行動する P T A」
横浜南陵高等学校 P T A

横浜氷取沢高等学校 校長 坪内 幸子

横浜南陵高校の PTA の皆さん、本日は本当にありがとうございました。

今、本当に先ほどのコメントではないんですけど、楽しませていただきました。本当にありがとうございました。と同時にですね、実は危機感を覚えました。もしかしたら、今、もう私。学校の職員よりも保護者の皆さんの方が、学校に対しての思いが熱いのではないかと、ちょっとこれはまずいなというふうに思いました。でもね、本当に素敵で、手話を覚えるというのは、本当に大変なんですよね。私は頑張りましたけど、五月ぐらいにね。でもなかなか覚えられなくて。三日ぐらい経つと、あれこんにちはってどうだっけというふうになってしまって。なのに、ここで披露してくださったのは、本当にすごくなと思います。皆さんの気持ちの熱さが本当に伝わってくるいい発表だったと思います。助言とかそんな言葉は、逆に私の方にしていただきたいぐらいでしたので、これからもですね、ぜひ、ぜひ南陵高校を支えて、私たちもしっかり見ていきますので、どんな学校になるのかな。トイレがどれぐらいきれいになるのかな。楽しみです。本当にありがとうございました。実は、私自身も高校生の子どもを持つ母親ですので、何か保護者として深い反省をいたしました。もう少し学校のために私も頑張らなきゃなと思います。

とても勇気をいただきました。ありがとうございました。

研究発表Ⅱ

発表者 飯高 三友紀(PTA 会長)

学校名 横浜氷取沢高等学校 P T A

研究テーマ 「Have Fun!! P T A 横浜氷取沢流☆P T A 活動の楽しみ方」

～できる時にできる人ができることをする!楽しむことも忘れずに♪～

1 校歌紹介

校歌の作曲者が「夏の思い出」や、「小さい秋を見つけた」「雪の降る町」などで世に広く知られている中田喜直さんです。今年、生誕 100 周年ということで、各地でそれにちなんだイベントが行われています。そんな記念すべき年に発表校となった私どもとしては、横浜氷取沢高等学校の紹介として、真っ先にお伝えしなければならないと思います、合唱をさせていただきました。

2 各委員会活動紹介

発表をするにあたり、各委員会には業務の紹介の他に、①委員会の売り。②活動の中で楽しかったこと。③は活動中の裏話。④今後やっていきたいこと。を考えてきてもらいました。インタビュー形式で聞いていきました。

【学年委員会】

体育祭では、保護者の受付や子どもたちへ配布するゼリー飲料の仕分けや配布を行っています。あとは6月に講師の方をお招きし、講演会を運営しています。文化祭の時には PTA 喫茶室、氷取沢茶屋というのを文化祭の時に運営をします。その他に3年生の学年委員は生徒たちに送る卒業記念品の選定を行います。

①高校生になると、なかなか子どもたちと接する機会や、子どもたちの学校での活躍というのを見る機会がほとんどないかなと思います。ただ、学年委員会はイベントの時に生徒たちと身近に関わる機会があります。保護者同士も仲良くなれて、私たち自身も楽しみながら高校生活のお手伝いをする事ができるのが、一番の売りです。

②文化祭での茶屋運営というのが一番印象に残っています。コンセプトを決めて、飾り付けのレイアウトから自分たちで行うので、気持ちはもう一度高校生に戻ったような感じで、とても楽しむことができました。

③高校生になっても子どもたちがプリントを出さないといことがあるのですが、グループラインでこんなプリントをもらったとかこんなお知らせ来てるという内容を情報共有ができて、親としてはとても助かっております。

④今後の運営のためにマニュアル化できることは、マニュアル作成したり簡素化できること、効率化できることを考えて、PTA 活動は大変というのじゃなく、楽しく活動してると思ってもらえるようにやっていきたいと思ってます。

【成人委員会】

キャンパスツアーというのをやってます。バス一台のツアーで大学を見て回ります。これまでに、クリスマスリースを作ったり、スワックっていう、飾りなんかを作ったりする活動をしました。それ以外にも、過去には歌舞伎鑑賞会の開催ですとか、横浜にぎわい座での演芸鑑賞会などを開催してきました。

①各委員会の中で唯一、保護者同士の交流のための活動をしている委員会になります。今年度たくさん1年生の新メンバーに入っていただくことができましたのですが、委員会としては大所帯ではないんです。ですが、その分、大きすぎない、小さすぎないっていう特徴があり、みんなの話の通りがいいところが売りだと思ってます。

②キャンパスツアーです。今の大学の最新の設備なんかを見せていただくことができるというところが大変楽しいところになります。学生さんの生のお話聞くことができるんですけども、なかなか親が大学に行くっていうことはないですので、そういうところを見られるっていうのは大変楽しいところだったと思ってます。あと、学食が食べられたことですね。

③ツアーはバス移動ですので、駐車場の確保であったりとか、団体保険に入らなきゃいけないとかっていうような裏方仕事というのは、大変だかっていう部分は身をもって知ることもありました。

それ以外にも後期のイベントとして今年はミュージカル鑑賞があるんですが、劇場に行くタイプのイベントを在校生のお母様方誰も経験者がおらず、スケジュール組というところが完全に手探りだったので、担当になった方にちょっと負担をかけてしまいました。ただ、ノウハウが一気に溜まったっていう経験をする事ができたと、今後の運営を考える中でも貴重な経験にはなったなと考えています。

④この状況に合わせた催し物というのを考えなきゃいけないっていう必要に迫られた数年間でしたので、この経験をもとに、イベントの在り方とか応援の仕方っていうのは常にフレックスであるべきだというふうに考えて、今後も取り組んでいきたいなというふうに思っています。

【環境委員会】

環境委員会では緑化・美化活動、校内清掃活動、校舎内ペンキ塗りを行っています。8月には昇降口の清掃を行います。昇降口の清掃と花の植え替えを同日に行います。花の植え替えは卒業式、入学式に合わせて11月にも行います。11月に校舎内の壁取りを行います。先生、生徒、委員、ボランティアみなで行います。

①活動は三回と少なめですけども、花の植え替えや校内のペンキ塗りといった生徒が目に見えてわかるものなので、やりがいや達成感を味わうことができます。植え替えが終わった後に学校に行くと、とっても華やかになって、こちらもすごく嬉しいです。

②体を動かす活動が多いので、大勢のボランティアさんと一緒におしゃべりもしながら、部活動のような雰囲気でもとても賑やかで楽しかったです。

③参加して下さった先生がご自身の小さいお子さんたちをお連れになって、普段は見ることでできないパパとしての顔を見ることができました。また、花の植え替えではお花屋さんに来ていただいて、お花が喜ぶ植え方を丁寧に教えていただくことができたので、日々の生活にも活用できると思いました。

④現在は校内の美化を中心に、委員やボランティアさんで活動しておりますが、学校周辺のごみ拾いや清掃などを生徒や地域の方々と一緒に行うなど交流を持つことができると考えております。

【安全委員会】

アシスト自転車の普及もあり、自転車数学の生徒が多くなっています。安全への意識付けをするため1年生を対象に、スケアードストレートという事故を再現する交通安全教室を行っています。子どもたちに実際の事故の怖さを感じてもらいました。他にも自転車の空気入れキャンペーンやバス停留所見守り活動を行っています。

①他の委員会に比べるとあまり忙しくないですが、できる時にできる人ができることをやるというのがモットーにしているので、無理なく委員会活動ができると思っています。

②学校に行く機会があるので、保護者の方や先生方とお話ができること。あとは、スケアードストレート教室のお手伝いができますので、プロのスタントマンの方のものすごい演技を見ることができたのがとても楽しい思い出になっております。

③昨年のスケアードストレート教室の後、帰り道に高齢者の方と自転車の事故をチラッと見てしまったんですね。身近にこんなに怖いことが本当にあるんだと思って、交通ルールを守ったり、マナーをきちんとしていたりっていうことの大切さを痛感しました。

④最近は保護者の方もお仕事をされている方がとても多くなっているので、そういう方でも参加しやすい委員会としてやっていきたいなと思っております。

【広報委員会】

年に三回、広報誌横浜氷取沢を発行しています。撮影や編集作業は委員で分担して行います。できる人ができることを行うことで、負担を減らし、無理なく楽しく活動をしています。子どもたちの笑顔が生き生きした姿を見られることが保護者としても幸せです。

①撮影を通じて子どもたちの活動を近くで見られることができます。特に体育祭は特等席で見ることができます。

②顔を合わせる機会が多いので、活動以外にも仲良くなります。そのため、定例会後のランチや飲み会なども多く、親睦も深まります。

③未だに昭和ゲームが飛び交っていたり、後輩保護者が先輩保護者をいじったりと、とても楽しいです。

④できる人ができることをモットーに、今後もさらに楽しく活動できたらいいと思います。

3 最後に

私たちはこれからもできる時にできる人ができることをする、本当に会員の皆様に興味を持っていただけるような楽しい活動を考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

助言者講評

研究発表Ⅱ 「Have Fun!! P T A 横浜氷取沢流☆P T A 活動の楽しみ方」
～できる時にできる人ができることをする!楽しむことも忘れずに♪～
横浜氷取沢高等学校 P T A
横浜南陵高等学校 校長 旗島 経子

横浜氷取沢高校の皆様、本当にお疲れ様でした。素晴らしい発表ありがとうございました。合唱から最初、ピアノの音が聞こえてきて、何だろうって思って、その後、合唱があつて、本当に素晴らしい画像、鳥肌が立ってしまいました。本当に素敵でした。ありがとうございました。私のちょっと個人的な話をいたしますけれども、私が中学生の時にですね、入学式の日母が、後から帰ってきて、怒りながら帰ってきたんですよ。どうしたんだろうって思ったら、その P T A の役員を決めるのも全然時間がどんなになっても決まらない。担任の先生が誰かやってくれないと、もう帰れませんよというので、しょうがないから、うちの母が仕方ないから私やりますと言って、それで帰ってきたっていうふうに言ってたんですけども、本当に P T A のお仕事って皆さんめんどくさいな。嫌だなと思って、入る前はそう感じるころだと思ふんです。

そんな中で、こんなに素晴らしい、これ本当に氷取沢の皆様だけではなくて、今回ここに集まっていたいていすべての P T A の方にですね。感謝申し上げたいことだと思ふます。こういう休日にもかかわらず来てくださった皆様、本当にありがとうございます。氷取沢高校の方も本当に素敵な発表ありがとうございました。今日聞いていて、すべての委員会に共通する、できる時にできる人ができることをする。このキャッチフレーズ本当に素敵ですよ。こういう気持ちで活動に取り組むことによって、無理をせず楽しく活動し、そしてそれが長続きする秘訣なんだと再認識させられました。これは本当に P T A 活動だけではなくて、すべてのことに言えることだと思ふます。そういうことも本当に横浜氷取沢高校の P T A の方々が具現化して、体現してくださっているんだなと思うと、この横浜南地区の P T A 活動もますます盛んになっていくのではないかと思ふました。

本校に取り入れることを、取り入れることができることもたくさん今日の発表で伺うことができましたので、これをですね、すべての学校が、ほんの少しでもいいから学校に持ち帰って、ぜひ実践して、実践、取り入れて、そして生徒に還元していけば、ますます素敵な学校づくり、横浜南地区の学校がますます素敵になっていくのではないかと本当に実感させられました。今日、このピカピカのホールで、かわいいひまわりをモチーフにした建物ですけども、そんな中での皆様の晴れ舞台にふさわしい会場だったのではないかと思います。ぜひですね、これからも、ますます活動を盛んにしていただき、でも無理することなく、お互いに支え合いながら、先ほどのキャッチフレーズをいつまでも心に持っていただければと思ふます。これはすべての学校にも共通して言えることではないでしょうか。本日はどうもありがとうございました。

川崎地区大会

主催 神奈川県立高等学校 PTA 連合会川崎地区協議会
後援 神奈川県教育委員会
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

1 日 時 令和5年10月6日(金) 13:30~16:00

2 会 場 宮前市民館 大ホール

3 参加者数 192名

4 日 程(次第)

(1) 開 会 式

- ① 開会の言葉 川崎地区協議会副会長 麻生総合高等学校 PTA 会長
- ② 主催者挨拶 川崎地区協議会会長 新城高等学校 PTA 会長
- ③ 川崎地区学校長会議会長挨拶 多摩高等学校学校長
- ④ 来賓挨拶 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会理事長

(2) 研究発表

- ① 大師高等学校 「Enjoy! 大師高校 PTA」
- ② 多摩高等学校 「持続可能な PTA 活動のためにできること」

(3) 休 憩

(4) 講 演

講 師 川島 高之氏 (NPO 法人 ファザリング・ジャパン理事)
演 題 「我が子の力を信じよう」～幸せの源泉は自己決定～

(5) 閉 会 式

閉会の言葉 川崎地区協議会副会長 麻生総合高等学校 PTA 会長

「研究発表 I」

神奈川県立大師高等学校 P T A

服部 季代子 佐藤 正信 高谷 政美 浅賀 ゆかり 坂井 望 井上 美紀

「E n j o y ! 大師高校 P T A」

1 はじめに

大師高校では「DAISHI DREAM PARTNERSHIP」というキャッチコピーを掲げています。このキャッチコピーは「生徒一人ひとりから、保護者から、協働する人から、地域の方がたから、何よりも愛される学校づくり」を表しています。



このキャッチコピーの通り、先生と生徒の距離も近いように感じています。生徒が相談を気兼ねなくできるのは、先生方の

間でもコミュニティができており、それを中心としてアットホームな関係を築けているからだと思います。

さらに、外国につながりのある生徒も多く在籍するグローバルな環境は、大師高校の特徴です。

2 本校の P T A 活動について

6月の体育祭では熱中症対策として、麦茶とアクエリアスを、生徒一人に対して一本ずつ提供を行っています。



9月に行われる繫心祭（文化部メインのミニ文化祭）では屋外ステージ（今年は雨天のため体育館）での飲食の提

供を行いました。

11月の文化祭（翔心祭）では、ここ数年、仕入れ販売での参加をしています。毎年、生徒と販売内容が被らないよう検討し、おとしは「ブタメン」、昨年は「おにぎり」の販売をしました。また、生徒に喜んでもらえる、「映えスポット」を設置し、

インスタントカメラで撮影したものをプレゼントしています。

生徒たちの活動を盛り上げるお手伝いが出来たことは、私たち P T A も嬉しく思います。普段見られない子供達の姿を見ることができ、一緒に楽しむことができました。

3 各委員会の活動



広報委員会は年に3回の広報誌を発行しており、各行事に参加し、生徒の間近で写真撮影をしています。環境委員会は花壇の整備をするとともに、季節ごとに花を植え替えて、校門から昇降口までを色鮮やかに彩ってくれています。年次委員会は、自転車点検など、生徒に関わる活動を中心にを行っています。成人委員会は、コロナの影響もあって昨年度まで活動出来ていませんでしたが、今年度より新たに何かできないかと模索しています。



4 まとめ

数年前より P T A 方々からボランティアを募り、講演会や行事に参加いただいています。ボランティアは定着してきており、会員の皆さんから積極的な参加をいただいています。

今後も、のびのびとした楽しい雰囲気大切に P T A 活動を続けていきたいと思っています。

タイトル 「持続可能なPTA活動のためにできること」

発表者 会長、副会長、広報委員長、校外委員長
学校名 神奈川県立 多摩高等学校 P T A

研究テーマ 「子どものために、自分のために、できることをできる範囲で」

持続可能なPTA活動 のためにできること



神奈川県立 多摩高等学校

本日の発表内容

- ①多摩高校の紹介
- ②PTA活動の紹介
- ③持続可能なPTA活動とは？
継続性・多様性
- ④持続可能はPTA活動を実現するためには？
目的の明確化・PDCAサイクルを循環させる
- ⑤まとめ



①多摩高校の紹介

多摩高校は川崎市の北部にある学校です。

創立 昭和31年（1956年）

校訓 「質実剛健」「自重自恃」

愛称 多摩高（たまこう）

① 多摩高校の紹介

多摩高校は多摩区北部の多摩川のそばにあります。昭和31年に創立、今年の1年生が68期生になります。各学年7クラス、今年の生徒数は836名です。JR南武線の宿河原駅から徒歩8分、川崎だけでなく、横浜方面からも通学する生徒が多いです。

校訓は、「質実剛健」「自重自恃（じちようじじ）」。「自重自恃」とは、自他を敬愛し、自由と責任をわきまえ、常に自らを恃み（たのみ）とできるように自己の昂揚に努めることという意味で、学校のシンボルのような言葉です。

地域からは多摩高（たまこう）の愛称で親しまれています。

行事の多摩



生徒が自ら企画・運営する学校行事



多摩高祭（文化祭・体育祭）

多摩高は「行事の多摩」と呼ばれ、生徒主体の行事が多いです。6月の合唱コンクールは、ほとんどのクラスが朝練をします。9月の文化祭はクラスごとに出店し、部活動の発表が人気です。今年は入場制限なしの開催でにぎわいました。体育祭は、演技応援が名物で、春・夏・秋・冬と、生まれ月ごとの縦割り4グループで競い合います。手作り衣装でのダンス、巨大マスコットやパネル応援など、見ごたえがあります。3年生が受験勉強の傍ら、リーダーとして取り組みます。今年は10月26日に、4年ぶりに「大師強歩」も復活し、学校から川崎大師まで22キロを全校で歩く予定です。校外委員さんが、ペットボトルのドリンク配布でサポートします。通常授業は70分授業、大半は進学志望、ハードな学校生活ですが、生徒たちは楽しんで頑張っています。

②PTA活動の紹介



②PTA活動の紹介

PTAの組織図になります。役員も委員も、任期は1年で、継続は本人の意思です。次年度の委員決めに苦戦していますが、いざ引き受けると、熱心に活動して下さる保護者も多いです。今後はよりよい決め方を検討していきます。

主な活動

学年委員会

- ・学年総会・クラス懇談会の運営
- ・PTA学年だよりの作成
- ・活動紹介の展示物作成（文化祭）



学年委員は各クラス1名、主な活動は、年2回の学年総会・クラス懇談会の運営です。懇談会后、クラスの話し合いの様子をまとめた学年だよりを発行しています。文化祭のPTA運営の休憩室では、先生や生徒たちがたくさん載った学年紹介の展示物が人気です。

主な活動

成人教育委員会

- ・年2回に保護者参加企画の立案・運営
- ・活動紹介の展示物作成（文化祭）



成人教育委員会は、保護者向けの企画を年2回行っています。

ここ数年は大学のキャンパスツアーを企画し、昨年は横浜国立大学に行きました。

今年は、10月3日にバスツアーを行い、高等裁判所の裁判の傍聴、ホテルのランチバイキング、有明の「そなエリア」での防災体験をしました。裁判後に弁護士の先生による解説を聞くなど、貴重な体験ができました。

11月には「忍術による感情コントロール」という、忍者の印や呼吸を使ったワークショップを企画しています。

主な活動

広報委員会

- ・年4回広報紙「多摩」の発行
- ・行事の取材
- ・活動紹介の展示物作成（文化祭）



広報委員会は、広報紙「多摩」を年4回発行しています。熱い取材に基づいた行事の特集や、生徒や先生へのインタビューなど、読み応えある紙面を作っています。

主な活動

校外委員会

- ・自転車点検の企画運営、報告
- ・「大師強歩」のドリンク差し入れ



校外委員会は、主に自転車点検の企画、運営、大師強歩のドリンク差し入れを行っています。

③持続可能な PTA 活動とは？

持続可能ってどういふこと？



将来の世代の欲求を満たしつつ、
現在の世代の欲求も満たすこと
(国連広報センターHPから一部引用)

PTA活動に置き換えると
将来PTA活動する人たちのことを考えつつ、
現在PTA活動をしている人たちも楽しくできること

11

今回のテーマの、持続可能って、そもそもどういうことか調べてみると、「将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満たすこと」とありました。これを、PTA の活動に置き換えると、「将来 PTA 活動する人たちのことを考えつつ、現在 PTA 活動をしている人たちも楽しくできること」ではないかと思えます。そのために何ができるか、事例も合わせながら紹介していきます。

持続可能なPTA活動ために必要なこと

継続性

多様性

12

持続可能な PTA 活動のために必要なことは、「継続性」「多様性」です。

継続性

PTA活動が長期的に継続するためには

課題

運営の効率化
参加者の増加

13

まずは、継続性についてです。PTA 活動が長期的に継続するためには、運営の効率化と参加者の増加が課題です。

継続性

課題解決のためにできること

①活動内容の見直し
②デジタルの活用
③ボランティア参加の推進

14

その課題を解決するためには、活動内容の見直し、デジタルの活用、ボランティア参加の推進です。実際に、多摩高 PTA が直近で取り組んだ事例についてお話しします。

継続性

①活動内容の見直し

事例紹介

会議体の見直し（今年度から実施）
役員会と運営委員会の内容が重複、2つの会議を集約

保護者と教職員の負担軽減
教育活動への時間の創出

15

まずは、活動内容の見直しです。長年、開催されていた会議ですが、どうも重複(ちょうふく)する部分が多いのではないかとメンバーから意見があがったのです。

すぐに見直しを行い、役員会と運営委員会を統合しました。これにより、午前中に開催していた役員会がなくなり校長先生をはじめ、先生方の時間の創出につながりました。

もちろん、保護者の負担も軽減され、自分のため、家族のための時間を生み出すことができました。こちらは、期の途中ですが、スピード感をもって変更した事例です。実際に議論が活発なるといふ相乗効果も生まれました。

② デジタルの活用

事例紹介

Google フォームの活用
PTA 総会をはじめ、PTA 活動にまつわる出欠や
アンケートなどを Google フォームで実施

配付・集計作業の削減
教育活動への時間の創出

次はデジタルの活用です。コロナ禍で、デジタルの活用は加速しました。デジタルの活用の中で、特に PTA 活動と相性が高いのが、「Google フォーム」です。いわゆるアンケート集計ツールで、比較的簡単に作ることができます。Google フォーム活用の最大の功績は、PTA 総会です。今までは、手紙を配付し、出欠の確認、委任状の集計など多くの作業がありましたが、これ一つで解決するのです。次年度からは、総会の案内、総会資料のデジタル化を推進します。印刷物の削減は、作業時間や経費削減のみならず、環境配慮にも貢献します。

これからはますます、デジタルネイティブの世代が保護者になります。今のうちに、デジタルの活用を推進することは持続可能な PTA 活動において急務です。

③ ボランティア参加の推進

事例紹介

植栽のボランティアの実施
評議員（PTA 委員）以外の保護者へ
ボランティア参加を呼びかけ

教育施設的环境整備
保護者同士のコミュニケーション機会の創出

最後に、ボランティア参加の推進についてです。社会背景から、PTA 活動に積極的に参加してくれる人はそう増えていかないと考えます。PTA 委員の母数は減らし、人数が足りないときには、PTA 会員全員に案内をし、ボランティアとして活動に参加してもらうことを推進します。

学校からの要望で、教育施設的环境整備の一環として取り組むことにしましたが、誰がやるかが課題でした。

そこで、PTA 会員全員に募集をしたところ、1 年生から 3 年生まで約 30 人ボランティアが集まり、無事に活動ができました。

このような活動は、保護者同士のコミュニケーション機会の創出が期待できます。それぞれの学校にあった活動を見つけて、ボランティアを募ってみるのもよいかもしれません。

多様性

保護者の多様性を尊重し、
全ての保護者が参加しやすい環境を整えるためには

課題

同質化しない体制
多様な意見（アイデア）の受容

次に、多様性です。多様性とは、個人の違いを認め合い、尊重し合うことです。保護者の多様性を尊重し、全ての保護者が参加しやすい環境を整えるための課題は、同質化しない体制にすること、多様な意見やアイデアを受け入れることです。

多様性

課題解決のためにできること

- ① 保護者の特性や経験の尊重
- ② 新しいことができる雰囲気醸成

その課題を解決するためには、保護者の特性や経験、スキルを尊重すること、そして過去に固執せず、新しいことができる雰囲気を作り出すことではないでしょうか。

①保護者の特性や経験の尊重

多様性

事例紹介

体育祭のドリンク配付方法の変更
配付方法を検討する際に、過去の配付方法にこだわらず、
たくさんのアイデアを出し、新たなアイテムにて配付を実施



活動時間・人数の削減
前年の課題を改善

多様性の事例として、体育祭でドリンクの配付について紹介します。

活動の見直しにはメンバーの多様な意見が大切です。過去のやり方にこだわらず、新たな方法に変更しました。体育祭後にアンケートを実施したところ、何らかの理由で1割の生徒が受け取れていないことが分かりました。配付の事前アナウンスの徹底や配付場所の再検討、また、今年は凍ったスポーツドリンクを配付したのですが、もっと暑かったら足りなかったかもしれないなど、先生方からもご意見をいただくことができました。

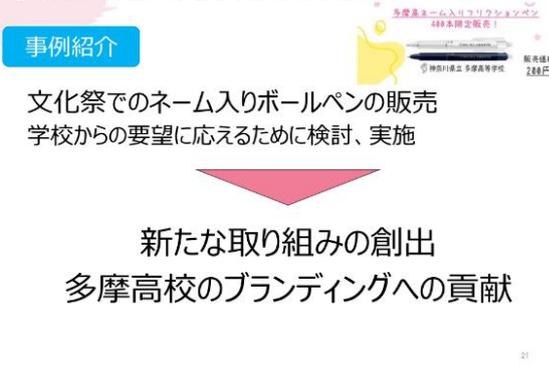
これらをもとに、来年度については改善の議論を進め、予算を確保していきます。

②新しいことができる雰囲気醸成

多様性

事例紹介

文化祭でのネーム入りボールペンの販売
学校からの要望に応えるために検討、実施



新たな取り組みの創出
多摩高校のブランディングへの貢献

次に、新しいことができる雰囲気の醸成です。PTA 活動においても新しいことにチャレンジができる雰囲気が大切です。過去にこだわらず、多様性を尊重し、新しい取り組みにチャレンジすることは、活動のやりがいにもつながります。

今年度の文化祭ではネーム入りボールペンを販売しました。これは、多摩高生の愛校精神にもつながったのではないかと思います。今後の課題は、オリジナリティのある商品の制作販売です。利益をしっかりと生み出し、生徒の教育活動への還元を目指します。

④持続可能な PTA 活動実現のためには

目的の明確化

保護者等と教職員が緊密に連携し、家庭・学校及び社会における生徒の健全な育成と、福祉の増進を図ることを**目的**とする。(神奈川県立多摩高等学校 PTA規約より)

1. 生徒指導・保護並びに福祉に関する活動を行う。
2. 学校の教育的環境の整備を図り、施設内容を充実することに協力する。
3. 適当な手続きにより、公立高校に対する適正な公費を確保することに協力する。
4. 会員の教養の向上と相互の親睦を図る。
5. その他本会の**目的を達成するための活動**を行う。

まずは、目的の明確化です。PTA 活動の目的は何でしょう？本来の目的は、保護者と教職員が連携して、生徒の健全な育成と福祉の増進を図るための活動を行うことです。今の活動が本当に、目的に合っているか、一度立ち返って見るのが大切です。

目的を達成するためには何をすればよいか？

PDCAサイクルを回す



目的を達成する手段として活用したいのが、PDCA サイクルを回すことです。

PDCA とは、Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の頭文字をとった、継続的な改善活動のためのフレームワークです。

PDCA サイクルのメリットは、

- ・継続的な改善が可能
- ・目標達成の可能性を高める
- ・問題解決に効果的
- ・チームワークを高める などです。

PDCA サイクルを回すことは、持続可能な PTA 活動の目的達成のために必要です。

PDCAサイクルを回す

事例紹介 文化祭でのPTA主催休憩室の運営

前年の振り返りを確認し計画を立てる

当日の運営利用者及び委員へアンケートを実行

課題を抽出し次年度の改善に活かす

アンケートの回答を分析し、評価

25

先ほどのPDCAサイクルのフレームに、文化祭でのPTA主催休憩室の運営をあてはめてみました。

まずは前年を振り返り、改善するところはないかを話し合い、計画を立てます(P)。実際に、計画通りに実施します(D)。次年度のためにアンケートを実行し、回収した回答を分析し、評価します(C)。定量的・定性的に検証し、次年度の改善に活かします(A)。

このサイクルを毎年行っていきます。

PDCAサイクルを回す

事例紹介 文化祭でのPTA主催休憩室の運営

アンケートの回答を分析し、評価

PTA休憩室の場所や利用時間について、事前にわかりやすく案内されていましたか？

2024年10月25日



- はい
- いいえ
- 質問は分かりにくいが、回答や意見を記入しやすかった
- 質問に記入がなかった

- ・携帯の充電スポット、Wi-Fiとあっていいかもしれません。
- ・機高です
- ・給水器 自動販売機
- ・明るくてとても居心地良かったです。
- ・展示物も子ども達がこもって感動しました！特に3年生(66期)！！
- ・会場コンパニオを再生しているテレビの前の椅子は要らないと思う
- ・その分休憩する机を増やすとか、机をテレビに近づけるとかしてもいいかもしれません

26

実際に、Cのチェックの活動として、今年度はPTA休憩室の机の上に、アンケートフォームにリンクするPOPを置きました。

Googleフォームは回答が集まると、自動でグラフ化してくれます。まさにデジタルの活用です。箇条書きのものは、改善点を記載してもらった内容です。

アンケートを評価・分析することで、課題やアイデアが見つかり、次年度の運営についてしっかり議論していくことができます。

⑤まとめ

まとめ：持続可能なPTA活動のために必要なこと

継続性

- ①活動内容の見直し
- ②デジタルの活用
- ③ボランティア参加の推進

多様性

- ①保護者の特性や経験の尊重
- ②新しいことのできる雰囲気醸成

28

持続可能なPTA活動のために必要なことは、継続性です。活動の見直し、デジタルの活用、ボランティア参加の推進が必要です。もう一つは多様性です。保護者の特性や経験の尊重、新しいことのできる雰囲気の醸成が必要です。

まとめ：持続可能なPTA活動を実現するため

目的の明確化

PTA活動を行う目的についてしっかり考える
全員で目的と手段を共有する

PDCAサイクルを回す

PTA活動を評価・分析することで、課題や改善点を把握することができる

29

そして、持続可能なPTA活動を実現するためには、まず、目的の明確化です。PTA活動を行う目的についてしっかり考え、全員で目的と手段を共有します。もう一つは、PDCAサイクルを回すことです。PTA活動を評価・分析することで、課題や改善点を把握することができます。

まとめ

継続性

多様性

目的の明確化

PDCAサイクルを回す

多摩高校PTAは、
未来の子どもたちにより良い教育環境を残すため、
持続可能なPTA活動を推進していきます。

30

タイトル 「講演」

講演者 川島 高之

NPO法人ファザーリング・ジャパン理事

株式会社K&P a r t n e r s 代表取締役社長

講演テーマ 「我が子の力を信じよう」～幸せの源泉は自己決定～

1 はじめに

若者の意識に関する国際比較で日本は自分に自信のない若者が多いといったデータがある。自己肯定感を持っている子は、新しいことに取り組もうとするし失敗してもくじけずに繰り返しチャレンジする。一方、自己肯定感を十分に持てない子どもは、やる前から失敗するのではという不安が先立ってやろうとしない。子育てや教育の目標は「自立」。子どもが20年後、自分で考え行動できるようになること。

「子育て四訓」

1. 乳児は、しっかり肌を離すな
2. 幼児は、肌を離せ、手を離すな
3. 少年は、手を離せ、目を離すな
4. 青年は、目を離せ、心を離すな

2 子ども教育の現状は

学校、家庭、地域の三位一体の教育のはずだが、地域力が低下してきているのではないか。子供の教育にとって大切な斜めの関係（近所のおっちゃん、おばちゃん）と本番体験（実社会で役に立つこと、実社会への参画）が少なくなっている。学校では予算の削減、教師が多忙すぎる等の実情があり結果的に、本来受けられる教育の質が下がる可能性がある。家庭は？子育て・教育に参画する父親が少ない、ストレスや孤立に悩む母親、偏差値競争の激化、親の過干渉、過保護、与え過ぎといった現状がある。

結果、意欲の低下、自信の喪失、自分で考え行動することが苦手、失敗を恐れすぎる等の若者が増加。子育ての目的は「子どもが自立した社会人になる」ため。また、自立するために重要なことは「自分のチカラで進もうとする意志と自分は価値がある存在なんだ」という自己肯定感を持てるようになること。しかし親は過干渉、すぐに手を貸す、そして否定的になりがちなもの。

3 このような時代、どうすればいいか
我が子のチカラを信じる。

我が子の得意分野や長所を知っている。
家庭内で何かしらの役割を担わせている。
テストや部活の結果に過剰な反応をしない。
服装や交友関係に、あれこれ指図しない。
意志、意向に対し否定から入ったりしない。
我が子がやるまで「待つ」覚悟を持つように努める。

我が子のチカラを信じたらチカラの源泉になることをできる限りやらせてあげよう。

チカラの源泉とはW i l l、C a n、H e l p

W i l l：好きなこと、やりたいこと

C a n：得意なこと、好成绩、長所

H e l p：役に立つこと、貢献、承認

好きな事をやりたいだけやらせる。すると同じことを続ける資質が身につく。→W i l l

得意を伸ばせる分野に労力を優先配分させる。すると自分を高めようとする力が身につく→C a n

家庭や地域など社会の中で役割を持たせると貢献したいという欲求が高まっていく→H e l p

W i l l × C a n = 子どもの未来

子どもが「自己肯定感」と「未来志向」を持つためには掛け算のすゝめ。

我が子がW i l l、C a n、H e l p 3つ重なる天職をいつかはみつける。親はその伴走者。

理想が見つからなくてもプレッシャーを与えないほうがいい。とりあえず今の仕事を頑張らせると同時にW i l lは続けていい。W i l lはしょっちゅう変わってもいい。

4 最後に

親は我が子のチカラを信じ、機会をできる限り与える。そして我が子の自己決定を待ち、伴走と癒しの役割を担う。これで十分な気がします。

横須賀三浦地区大会

主催 神奈川県立高等学校PTA連合会横三地区協議会
後援 神奈川県教育委員会
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

1日 時 令和5年度10月6日(金) 14:00~17:00

2会場 横須賀市文化会館 中ホール

3参加者数 105名

4日程(次第)

(1) 開会式 14:00~

- ① 開会の言葉 地区協議会副会長 逗子葉山高等学校PTA会長 石川 映里
- ② 主催者挨拶 神奈川県立高等学校PTA連合会会長 橋本 千春
- ③ 地区協議会会長挨拶 横須賀南高等学校PTA会長 皆川万記子
- ④ 地区協議会当番校校長挨拶 横須賀南高等学校校長 平 容久
- ⑤ 来賓紹介および挨拶 (一財)県立高等学校安全振興会理事長 赤松 伸一
地区校長会議会長 横須賀高等学校校長 鱸 英治
- ⑤ 日程説明等 横須賀南高等学校PTA成人委員長 伊関香菜子

(2) 研究発表

- ① 研究発表Ⅰ 『初声の風(ミライに本気)』
発表校 三浦初声高等学校PTA
- ② 研究発表Ⅱ 『未来を拓け、追高生70周年へその先へ
~未曾有の事態を超えて~』
発表校 追浜高等学校PTA
- ③ 質疑応答
- ④ 助言者講評 津久井浜高等学校校長 井澤 克仁
横須賀工業高等学校校長 日置 賢司

(3) 休憩

(4) 講演 15:40~

講師 野櫻 慎二(三浦学苑三浦高等学校 教頭)

演題 『変わる社会・教育・保護者の役割』

~立ち止まって一緒に考えましょう!~

(5) 情報交換

- ① 地区安全交通大会について 逗子葉山高等学校PTA会長
- ② 単P毎に自己紹介(PR)

(6) 閉会式

- ① 閉会の言葉 横須賀南高等学校PTA副会長 服部 眞弘

タイトル

「ミライに本気」

学校名 三浦初声高等学校 P T A

研究テーマ 「 普通科と都市農業科がある学校の P T A 活動 」

1 はじめに

三浦初声高校は、県内唯一の普通科と都市農業科のある学校だそうです。また、ダブルキャンパス制といって、入江キャンパスと和田キャンパスの2つの校舎を持つ学校です。



学校行事の中でひととき目立ったのは、都市農業科で育てた鉢花と生花を使った在校生による入学式・卒業式の会場の飾りつけです。これは、都市農業科があることの特色の1つです。

P T A 組織は本部・運営委員会・健全育成委員会・環境美化委員会・成人委員会・広報委員会の6つの組織で構成されています。



環境美化委員会は、都市農業科の生徒たちが育てた草花を使って、四季折々の花壇整備を入江キャンパスで行っています。

また、成人委員会では、都市農業科の施設を使って、トマトジュース作り体験教室、大根の収穫体験、花の寄せ植え体験教室など色々な体験学習

を行っています。



会場で大きな関心を引いたのは、卒業式当日に卒業生全員に贈られている生花のコサージュでした。このコサージュですが、都市農業科の生徒と職員と P T A 役員と会員ボランティアのコラボレーションで、毎年数日をかけて制作されるそうです。工程が多くなかなか苦勞の多い作業ですが、



卒業生の晴れの姿にふさわしいものをと、在校生、職員、P T A が一丸となって取り組んでいるそうです。興味深い発表でした。

普段子どもと接するときに気をつけていることは？

I：変わる社会・学校・生徒の意識

1. 変わる社会・学校・生徒の意識

(1) 社会情勢の変化

- V volatility (不安定性)
- U uncertainty (不確実性)
- C complexity (複雑性)
- A ambiguity (あいまい性)

キーワードは「想定外」と「板挟み」

(2) 変わるキャリア教育

(ライフステージモデルの変化)

- これまでのライフステージは「教育」→「仕事」→「引退」
- 今、そして今後のライフステージは「教育」→「会社員」と「副業」や「起業」、「学び直し」→「ボランティア」と「会社員」など「複数の選択肢」→「引退？」
- スタンフォード大学 ジョン・D・克蘭ボルツ教授が 1999 年に発表したキャリア理論である「計画的偶発性理論」
- 「計画的偶発性理論」とは、「個人のキャリアの 8 割は予想しない偶発的なことによって決定される
- 「正解」を求める時代から「最適解」・「納得解」を探し求める時代へ
- これからの時代は、「頭の良さ」ではなく「頭の使い方」、「情報処理力」から「情報編集力」

(3) これからの社会に求められる人材

- 自ら課題を発見し、他者と協働し、答えを作り出す力の「学力」
- 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決すえ資質や能力の「生きる力」
- 主体的に学び続ける人材

2. 教育の変化→教育はどう変化すべきか

- 何ができるようになるか？
- 何を学ぶか？
- どのように学ぶか？

→「OECD Education2030」が示すコンピテンシー3本柱

- 何かを生み出すために学ぶ「新しい価値を創造する力」
- ジブンゴト化してやりきる「責任を取る力」
- 対話を通して仲間とやりきる「対立とジレンマを調整する力」

3. 高校生の意識の変化

(日本財団実施「18 歳意識調査-国や社会に対する意識 (日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インドの 6 カ国調査) -」

- 「自分の国の将来について」
良くなると回答：13.9% (最下位)
- 「自身について」や「自身と社会の関りについて」
肯定的な質問は主に 6 位。一方、否定的な質問は 1 位。

II：保護者・教員として生徒とどうかかわるか？

4. 保護者・教員の関わり方

→「手を『はなす』ために手をかける

- プロセスを認める→保護者が肯定的にかかわる
- ともに考える→原因思考でなく、解決思考
- 子どもが決める

→「聞く」・「話す」コミュニケーションでお互いの信頼関係を築く

「人生がかかわるはずの名言集」

→「変えられないものとは、感情・生理・過去・他人、変えられるものは、思考・行動・未来・自分」など・・

「人生時計」：高校生は、まだ、午前 5 時から 6 時ごろ→高校生の時間は、まだまだ。未来はまだ広い。

「高校生が、『自分の可能性』に気づき、望みを持って人生を歩めるように！」立ちどまり考える必要があるのではないのでしょうか。

令和5年度 県高P連湘南鎌倉地区大会

主催 神奈川県立高等学校PTA連合会湘南鎌倉地区協議会

後援 神奈川県教育委員会
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

1日 時 令和5年10月18日(水) 13:00~16:00

2会 場 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール

3参加者数 166名

4日 程(次第)

(1) 開会式

- ①開会の言葉 (地区協議会副会長 茅ヶ崎北陵高校PTA会長 小川 恵子 様)
- ②主催者挨拶 (地区協議会会長 茅ヶ崎高校PTA代表 武田 澄江)
- ③地区学校長会議会長挨拶 (鶴嶺高校校長 濱川 美奈子 様)
- ④来賓紹介及び挨拶 (安全振興会常務理事 中野 真衣子 様)

(2) 講演

講師 横浜国立大学教育学部
教授 青山 浩之 氏
講演 「美しく書くこと ―美文字を求めて―」

(3) 休憩

(4) 研究発表

- ①研究発表Ⅰ 大船高校PTA：
「全部全力、全部青春大船高校」
- ②研究発表Ⅱ 湘南台高校PTA：
「3Dをモットーに♪ ～できる時にできる人ができることを～」
- ③助言者講評 (藤沢西高校校長 松澤 直子 様)

(5) 閉会式

- ①閉会の言葉 (地区監事 大船高校PTA会長 秋山 和典 様)

タイトル 「美しく書くこと ―美文字を求めて―」

講演者 横浜国立大学教育学部
教授 青山 浩之 氏

日頃書作家としては大きな文字を 1 字か 2 字を
発表しています。一般的に小字数というジャンル
で活動しています。そして、硬筆、ペンで文字を
美しく書くことの大切さをより多くの方に理解し
ていただきたいと考えています。



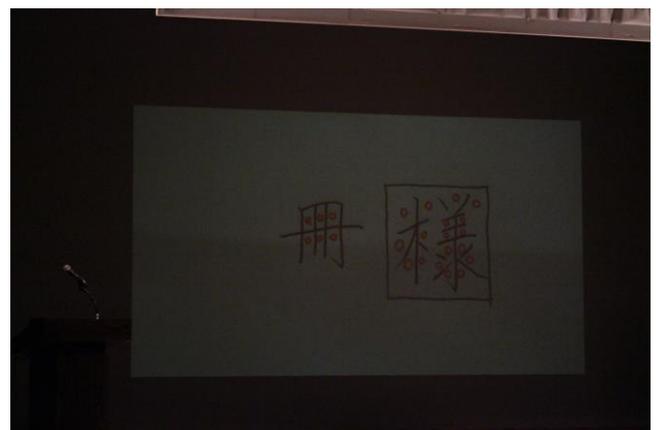
「美しい文字はあなたの人生を輝かせます」こ
のようにペンで美しく書くことが、その人らしさ
を表し、心のこもった優しささえも伝わってくる
のです。日々の生活の中で、職場や学校の資料に
おいても、活字に頼ってしまいがちではありますが
、手書き文字の良さに触れ、その人を感じるこ
とも大切ではないかと日頃から考えています。



横浜国大の学生は主に将来小学校の先生を目指
している生徒が多く在籍しています。卒業後教壇
に立った時に生徒に手書き文字の良さを伝えられ
るようになって欲しいと願っているのです。言葉
を大切にすると同時に文字も大切にすることがど

れほど重要なのかは分かっているはずだと思いま
す。しかし人前で字を書くのは恥ずかしい、でき
れば書きたくないという学生も大人も多いのが現
実です。全国的な手書きのアンケート調査では年
齢の高い方より、20歳代の若い層の方が手書き
文字で伝えたいというデータもあります。

一時期マスメディアが作った美文字ブームの
中、その追い風に乗る様々な番組に審査員として
出演させて頂きました。NHK のためしてガッテン
では短時間で美文字に近づく方法として「すきま
均等法」を取り入れ実験を披露しました。その実
例もご覧いただけます。



文字の形は、イメージした造形が指先を通し
て、ほぼ同じ形の文字を書くことが分かっています。
つまり美しい文字の形をイメージしてそのイ
メージを維持することが重要であると考えられる
のです。美文字の美しさを維持するためにやはり
練習が重要となってきます。

これからの生活の中で少しでも文字を美しく書
くことを心掛け、その人格や優しさを残しつつ、
文字を書く行為を大切にしたいと願っています。

タイトル 「令和5年度地区研究発表」
講演者 秋山和典(大船高校 PTA 会長)

学校名 神奈川県立大船高等学校 P T A

講演テーマまたは研究テーマ 「全部全力、全部青春大船高校」

1. はじめに

まずは、こちらから・・・動画を流す。

2. 大船高校の紹介

私も大船高校大好きです。本当に雰囲気といい、生徒の様子といい良い学校です。PTA も青春しています！

大船高校は鎌倉市にある学校です。知っていました？大船駅からバスか北鎌倉駅から徒歩で行く学校で、自転車通学はしない学校です。来週には 40 周年記念式典があります。本日は、各委員会の紹介 運営委員会の大きな取り組みについて発表します。

3. 各委員の紹介

恐らく、どこの学校も設置している委員会は差がないと思います。大船高校が胸張って言えることは、各委員会と委員長と役員との繋がり太さ。各委員会での揉め事や文句はありません。辞めてしまう人もいます。次年度は設置できなくて休止したほうが良いのでは？という話も出てきます。委員会から委員長、そして私へ必ず相談が来ます。これは感謝です。私に対応することもあります。役員が間に入ってくれて話をしてくれたり、運営委員会の場で、他の役員が意見を述べてくれたりと、その委員会を蔑ろにしないこと。『自分たちのことは自分たちで。』としないこと。ここが強いところです。

4. 運営委員会の取り組み

入会申込書の変更と臨時総会の実施。
googleForm で開催しましたが、これだって大船

高校にとっては大きな一歩なのです。総会の集計は、学校側から名簿を借り(この時点で、個人情報保護の観点からアウトですね。そういう現状だったのです。)、真っ暗になるまで読み合わせして集計。まだやっている学校あります？スプレッドシートで集計して一発ですよ。この取り組みだって立派な取り組みだと思っています。

あとは、笑い話で聞いてください。参考になるところは参考にして。

- ・ネット環境。新しいパソコンを買うも、ネットが繋がっていない現状だった。昨年までは、契約していた が使用頻度が少なく勿体ないという結論から、解約しました。今は役員の方々のポケット wifi で繋がる。
- ・メンバー集め。

5. 最後に

大船高校は運営委員会の時間短縮に成功しています。一昨年の 4 分の 1 ・昨年の 2 分の 1 となっています。先生がたにも申し訳なくてたまらなかった。『1 時間お昼を食べてやりましょう。』なんて当たり前笑。正直言って今までのスタイルはみんなの時間泥棒でした。内容が簡素になったか？違います。むしろ各委員会からの話の場を設けて、今まで以上に充実しています。発表内容や伝えたい物・印刷物は事前に LINE で教えていただき共有しています。これだけでもだいぶ違います。要らないことを省く視点を持つことにも成功しています。

昨年度の副校長先生より『毎年毎年、PPT の技術を昨年以上にしよう。という考えで技術の発表の場になってしまっている。秋山さんは、

取り組みだけを伝えるだけでよいです。』と言われ、本当に肩の荷がおりました。また、幸田校長先生からも『取り組んできたことを淡々と話せばよいです!』との言葉をいただきました。

PTAの取り組みについて少しずつ見直す時期に来ていると大船高校では考えています。交通安全大会もPPTでの発表をなくしたと伺いました。会長LINEにも、いきなり会長を辞めてしまった方や、高P連脱退を学校の先生と相談して決めた方等、動いている学校がたくさんあります。

『昨年と同じが楽。』ではなく、先生がたに保護者は本当に忙しいです。今後は負担を減らしていく方向で行きましょう。

今月もチームワークで発表の部

研究発表1 大船高等学校PTA

第6回 運営委員会

次年度予算に指名委員会
そして、高P連の辞意の感想と、40周年式典の感想

連湖南・鎌倉地区大会

同会の言葉も秋山会長!

会場も一挙団結!

次年度も任せませ!

役員へ

議題 (実務あり)

次年度予算について 日時を確定
指名委員会 集客について
各種大会の日時の確認 資料参照

参加委員会

広報委員会 写真/切
成人委員会 鎌倉散策
環境委員会 クリスマス
学年委員会 卒業記念品
事前ミーティング 9:30~
役員会 10:00~
運営委員会 10:30~11:50

12月運営委員会やる?

2年前は修学旅行と重なり
11月の運営委員会は、や
っていませんか!

欠席者はこちら

運営委員会LINE LINEしてね

Ofuna PTA本部2023(8)

LINEで!各委員とはメールでOKですか?!

タイトル 「令和5年度地区研究発表」

学校名 神奈川県立湘南台高等学校PTA

講演テーマ 「3Dをモットーに♪ ～できる時にできる人ができることを～」

1 はじめに (学校紹介)



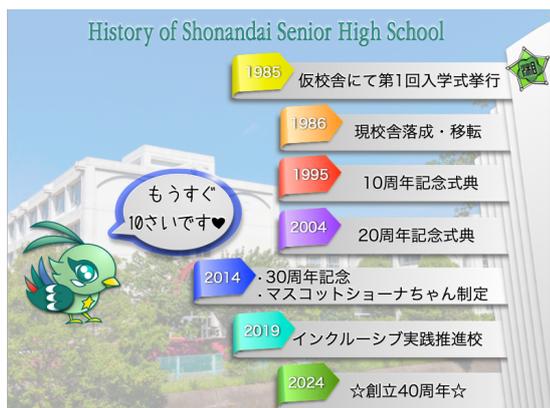
来年創立40周年を迎える湘南台高校（1985年開校）は、目の前を引地川が流れる藤沢市円行で、小田急、相鉄、横浜市営地下鉄の3つの路線が乗り入れる湘南台駅からは徒歩数分ととても交通の便の良い場所に立地しています。

教育目標に「自律 創造 敬愛 協調 健康」の5つを掲げ、生徒が夢や目標に挑戦できるよう、教育活動を展開しています。2019年度から「インクルーシブ教育実践推進校」に指定されています。

校章は湘南台の湘の字を中央に輪郭は藤沢市の木、黒松の葉をデザインしています。教育目標の5つを五角形にして黒松の葉につなげており、グリーンの濃淡は本校の限りない発展と安定を表しています。



【プロフィール】



2 ショーナちゃんについて

正門から正面玄関を入ると真っ先に「ショーナちゃん」出迎えてくれます。



「ショーナちゃん」は、創立30周年記念事業で決まったマスコットキャラクターです。2013年に生徒会で募集し、生徒と職員による投票の結果決まった生徒のデザインによるものです。



元気なヒバリの女の子で音楽が大好き。左右にはなたくせつ毛(?)がチャームポイントです。

全体のイメージカラーは校章の緑色と胸には校章をイメージした星マーク。とさかはクロマツの葉、尾羽根は学年色3色になっています。

3 インクルーシブ教育実践推進校について

「インクルーシブ教育実践推進校」は、誰もが大切にされ、いきいきと暮らせる「共生社会」をめざして、みんなで一緒に過ごすなかで、お互いのことをわかりあって成長していくことを目標にしています（神奈川県 HP より）。

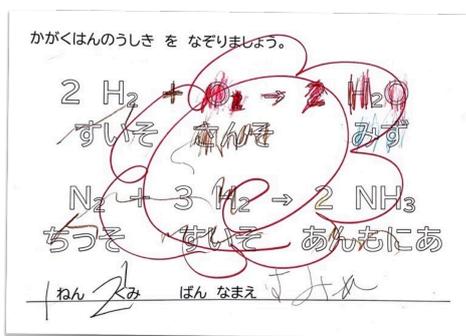
湘南台高校は2019年に「インクルーシブ教育実践推進校」に指定されました。以来、誰もがわかりやすく過ごせるよう校内のあらゆる場面に応じて「構造化」「視覚支援」「環境調整」に取り組んでいます。今回は「特別に」娘の許可を取りましたので、登校の様子をご覧ください。

インクルーシブ教育 実践推進校



もちろん生活面だけではなく、学習面においてもチーム・ティーチングの導入、適切な個別最適化と合理的配慮の提供によりインクルーシブ特別募集の生徒だけでなく、生徒全員が学校生活を送りやすいように常に工夫をされています。

ここでも「特別に」娘の許可をもらいましたので、定期テストにおける実践例をご覧ください。



普通科の高校における学習指導要領の範囲であっても、ここまでの個別最適化と合理的配慮が可能であることは、これからの共生社会にむけての大きな可能性を秘めていると強く感じます。

4 PTA活動について



本校のPTA活動は、【安全委員会】、【環境委員会】、【成人委員会】、【学年委員会】、【広報委員会】、で本部役員と共に【運営委員会】を開催しています。
～各委員会の活動紹介～

① 安全委員会の活動内容

- ・ 生徒の安全な学校生活をサポート
- ・ 交通安全活動への参加

安全委員会の役割として『地域自治体や他校本校の先生方、他校委員会との共有しながら交通安全や防犯等生徒に伝達する役目』があります。

主な活動は、年4回交通安全推進会議等の出席や年2回夏、冬の夜間パトロール、さらに、コロナ対策緩和により湘南台駅周辺にて街頭キャンペーンに参加しました。

自転車走行等の交通ルールをうちわで配布し、下校中の生徒達との交流も出来ました。

これからも交通安全への意識向上を伝えられるよう地域活動に参加し続けることが必要と考えられます。

そのためには、今後も多くの保護者の皆さまのご協力を得て進めていけるよう願っております。



② 環境委員会の活動内容

- ・校内に季節の花々を植えます
- ・生徒と共に地域貢献清掃活動
- ・鉢植え花壇の植え替え手入れ

環境委員会は、情操教育と癒しの提供をする活動をしております。

正門近く、校内花壇に季節ごとの花々を植え、手入れをしており、常に癒しの空間を作ることを心がけております。特に学校行事のある直前には、お花の量を増やし、華やかな演出を毎回しております。お花を枯らすことなく咲かせ続けることは難しくもありますが、工夫をしながら協力し合い活動しています。

卒業式の際は、会場設置、正門の飾りを担当しており、卒業生を送り出しています。

また、生徒と地域住民の関わりとして年2回公園の地域貢献清掃活動も行っています。

お花の知識が増え、皆で楽しく活動しています。



③ 成人委員会の活動内容

- ・湘風祭での手芸コーナーの運営
- ・会員間の親睦を図るための催しを企画運営

成人委員会は、保護者間の親睦を図るための行事を企画し運営します。

毎年、湘風祭では保護者のみならず、地域の方にも参加いただけるハンドメイドワークショップを行なっています。

今年度は誰でも簡単にできる「くるみボタン」の作成を企画しました。また、12月には観劇会を開催します。コロナ禍に行えなかったランチ会を同時開催し、数年ぶりに保護者同士の交流の時間が持てるようにしました。今後の目標は過去に行っていたクラフト教室などの企画も立て、たくさんの人と関わり合えるような活動をしたいと思っています。



④ 学年委員会の活動内容

- ・体育祭・球技大会での差し入れ
- ・湘風祭での休憩コーナーの運営

学年委員会は、体育祭、球技大会(年2回)で子どもたちに飲み物を配布し、湘風祭では休憩所で飲み物を提供しています。昨今の熱中症対策とコロナ対策を兼ねて、ジャグのお茶からペットボトル

ルのスポーツドリンクに変更しました。

子どもたちと関わったり、普段とは違い楽しんでいる姿を見ることが出来る委員会です。

また、以前は湘風祭で制服のリユースを行なっていましたが、2020年に制服のデザインが変更となり、リユースができない期間がありました。前年度の卒業生からリユースを再開しています。

今後も続けていきたいと思ひます。



⑤ 広報委員会の活動内容

・学校行事やPTA活動の取材を行い広報誌を発行

広報委員会では、年に2回広報紙「湘南台高校」を発行し、PTA会員と地域の方々や他校に配布しています。

広報紙を発行する目的は、湘南台高校のPTA活動と生徒の様子を正確に伝える事です。学校の良さや特徴、PTA活動を認知してもらう事で、湘南台高校のより良いイメージを伝えたいと思ひています。

学校行事やPTA活動の取材や記事を作る過程で、家庭からはなかなか伺えない子どもの様子を垣間見たり、保護者同士のつながりができるメリットもあります。

来年度は広報紙の発行が100号を迎える予定です。歴代の広報紙の紹介などを通じて、学校や生徒たちの移り変わりや歴史を感じてもら

えるような紙面作りを目指していきたいと思ひます。



⑥ PTA本部の活動内容

・委員さえ決まれば本部が決まる！

本部役員の役割は【学校と保護者をつなぐパイプ役】です。委員決めの際、入学式ではアンケートを元にお声かけする程度にしています。6月の懇談会で追加募集をすることで、各委員会の人数を確保しています。

特徴としては、本部役員は委員会からを選出している点です。本部役員は、難航することが多いと思ひますが、各委員会の委員を受けている方は、PTAに協力的な方が多いので、本部へのお声かけした時に受けてくれる方が多く、本部役員の決定がスムーズです。つまり、各委員が決まれば自動的に本部役員が決まってゆくシステムになっています。

普段の活動においては、委員会活動との両立が難しくなることもありますが、委員会から本部役員を出しているため、本部とのパイプが密になり、話しが通じやすく、そのため、運営委員会での各委員会と学校側との意見交換を筆頭に、保護者の要望や意見を学校側に伝え解決・改善に取り組むなど、スムーズなコミュニケーションと本部の人手の確保が同時に叶えられています。

また、本部役員と先生方はグループLINEを活用し常に円滑なコミュニケーションを行っています。



6 さいごに

来年度、本校は40周年記念を迎えるにあたり学校とともに記念事業を準備しています。前回の30周年記念事業を参考にするうえで、資料や広報などを調べていると、今まで知らなかった学校の歴史に触れることができ興味深いです。

コロナ禍も落ち着き、行事もできるようになりましたが、以前のことをそのまま戻すのではなく新しいやり方を模索しながらPTA活動を続けていこうと考えています。

今後も「3D モットーに♪～できる時にできる人ができることを～」楽しく活動していきたいと思います。有難うございました！



平塚秦野地区大会

主催 神奈川県立高等学校PTA連合会平塚秦野地区協議会
後援 神奈川県教育委員会
(一財) 神奈川県立高等学校安全振興会
平塚秦野地区学校長会議

1日 時 令和5年10月4日(水) 13:30~16:35

2会場 ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール

3参加者数 307名

4日程(次第)

(1) 開会式 13:30~13:55

- ①開会の言葉 笠原 美帆(県立平塚農商高等学校PTA会長)
- ②平塚秦野地区会長挨拶 大瀧 美和(県立平塚中等教育学校PTA会長)
- ③当番校校長挨拶 松本 靖史(県立平塚中等教育学校長)
- ④県高P連本部挨拶 内田 裕美(県立高等学校PTA連合会副会長)
- ⑤来賓挨拶 反町 聡之(県立高等学校安全振興会常務理事)

(2) 研究発表 13:55~14:40

- ①研究発表Ⅰ 県立二宮高等学校PTA
テーマ『つながる二宮~あたらしいPTAのかたちをめざして~』
- ②研究発表Ⅱ 県立秦野高等学校PTA
テーマ『~コロナとともに 新たなPTA活動~』

③助言者講評 14:40~14:50

助言者 間橋 元治(県立平塚農商高等学校 副校長)
助言者 林 信仁(県立秦野総合高等学校 校長)

(3) 保護者研修会(講演) 15:00~16:20

演題 「絵本作家として、親として。わかること、わからないこと。」
講師 絵本作家 ヨシタケ シンスケ氏

(4) 閉会式 16:25~16:35

- ①閉会の言葉 笠原 美帆(県立平塚農商高等学校PTA会長)

研究発表 I

学 校 名：二宮高等学校 PTA

研究テーマ：「つながる二宮～新しい PTA のかたちをめざして～」

1. 二宮町について

二宮町は、古くから信仰を寄せる相模国二之宮の鎮座する町として、近代では東海道線の沿線として栄えました。

2. 学校紹介

二宮高校は、町唯一の県立学校として地域の期待を背負い、昭和 53 年、歴史と自然ある町の高台に設立されました。全校生徒約 700 名、インクルーシブ教育実践推進校として「ともに学び、ともに育つ、共生社会の実現」を目指しています。また、部活動では本校の特徴的な部活である相模人形部があります。



3. PTA 組織と活動内容

【本部役員】

常置委員会・総会等の開催、各行事への参加などを行っています。先日の文化祭では来場者へのお茶配りを行いました。また、今回の発表に向け、春から議論を重ねてきました。

【学年委員会】

今年度は主に交通安全に関する指導等を行っています。9 月には自転車点検と交通安全指導を実施しました。

【広報委員会】

主に PTA 会報の作成や行事全般の広報活動を行っています。



【厚生委員会】

本校の自然豊かな環境の整備等を行っています。年 3 回の花植えを実施。文化祭では駄菓子屋を出店し、大盛況でした。



【成人委員会】

各行事で生徒への物品の配布等を行っています。先日の文化祭では、「にの高饅頭」を販売し、大変好評でした。



4. PTA の課題～役員・委員決め～

コロナ禍により各種委員会活動が制限され、伝統の「つながり」が希薄になってしまった昨今。様々な規制が緩和された今年度、活動を再開するにあたり、本校の PTA が抱える課題について考えることになりました。

その中でも、関心の高かったことは、PTA の役員・委員の選出方法についてでした。

本校の PTA の役員選出は、入学前アンケートに基づき、電話での勧誘を行います。定足数に満たない場合、合格者説明会の際に全体に再度募ります。立候補者を伺い、それでも定足数に満たない場合は、くじ引きにより選出を行っています。

しかし、事前に立候補していただける保護者の方は、決して多くはありません。そのため、どうしても抽選により選出させていただくことになってしまいます。

立候補していただけないのには、いくつか理由がありました。1つは、時代の変化により家庭のあり方が変わり、多忙により活動にPTA参加できないということ。2つ目は、PTAの活動内容がよくわからないというもの。

生徒のよりよい教育活動が行われるためにはなくてはならないPTA。このあり方がいま、問われています。この現状を受け、私たちは、コロナ禍を乗り越えた今、持続可能なPTA活動のあり方を模索すべきだということになりました。

5. あたらしいPTA活動を目指して

【各校にアンケート】

そこで私たちは、その第一歩として、PTAの役員・委員の選出方法について、見直してみることにしました。各校のPTAに協力を仰ぎ、アンケートを取らせていただきました。役員を選出方法、選出に際し困っていること、工夫していること、などを伺いました。

【アンケート結果】

選考方法については、どの学校も同じようなやり方でした。

選考の際、困っている点は？という質問に対しては、「選出されても辞退されたり、実際は参加されなかったりする方が多い」の声。

また、コロナ禍による課題もありました。「コロナによりPTA活動がなかったために、役員経験者が少ないため、選出が難しい」。

勧誘中に困ったことは、「勧誘のために電話をしてもなかなか繋がらなかったり、何度も説得したりなど、役員側の負担が大きい」という声。この点はまさに、現代のPTA活動の象徴的な課題点かと思えます。

このような現状がある中で、各校どのような工夫をしているのでしょうか。PTA活動の宣伝として、「合格者へ渡す書類の中に、PTAの活動内容を記載したチラシを入れる」、さらには「PTA紹介動画を作成し、QRコードを案内チラシにつけて配布した」という学校も。

【アンケートを踏まえて】

本校では来年度の役員・委員決めでは、2つの観点から取り組みたいと思います。

1つは、PTAの活動内容をもっと知ってもらうために、PTAの活動紹介に力を入れます。具体的には、合格者への案内チラシに加え、PTAの紹介動画や紹介スライドの作成を行い、チラシに貼付することで、PTA活動の透明化を図り、参加しやすい雰囲気づくりをしていきます。また、合格者説明会では、PTAブースを設け、各委員からの活動内容の説明、勧誘を行い、待機時間には紹介動画を流すなど、開かれたPTAを目指します。

2つ目は活動内容の見直しです。今年から様々な活動が復活した一方、本当に生徒のために必要な活動なのか、あるいは、各家庭の実態に合った内容なのか、などの観点から各活動の見直しを行いました。

具体的に、今年度は、コロナ禍以前に行っていた球技大会の豚汁提供を中止。前日から膨大な仕込みを必要とする豚汁づくりは、家庭への負担があまりに大きいです。それから手配の段階から教員や役員への負担が大きく、安くない会費を使って行う社会見学も「生徒のためのPTA」、という観点から考え、今年度から中止としました。

つまり、コロナ禍以前の状態にそのまま戻すのではなく、持続可能なPTA活動を行うためには、見直し、場合によっては中止の決断をすることも、大切なのではないのでしょうか。

6. おわりに

PTA活動には課題が山積していますが、生徒のより良い学校生活を実現するためには必要不可欠な活動です。PTA活動をやっていてよかった、という声もたくさんありました。

この取組の結果が出るには長い時間が必要かもしれません。しかし、二宮高校PTAは、「つながり」をより強く、より深いものにしていくために、歩みを止めることなく、あたらしいPTAのかたち、を模索していきます。

研究発表Ⅱ

学 校 名：秦野高等学校 P T A

研究テーマ：『～コロナとともに 新たな PTA 活動～』

【学校紹介】

令和 8 年には、創立 100 周年を迎える本校は、『質実剛健』『文武両道』を校風としております。そんな本校の歴史は古く、明治 19 年 5 月「三郡共立学校」として神奈川県庁の許可を得て開校しました。

大正 15 年 3 月には「組合立奈河中学校」となり、昭和 10 年 11 月には神奈川県に移管され校名を「神奈川県立秦野中学校」へと変更し、インターネットでは神奈川最古の高校とも記載されている伝統校です。

そして、令和 4 年から「STEAM 教育推進校」に指定され、伝統を重んじつつ、最先端の技術や教育方法を授業や学校生活に取り入れています。

我々 PTA も会員同士、助け合いながら、楽しみながら活動を行っております。

昨年、成人委員さんの案で、平塚の「都まんじゅう」に秦野高校の校章の焼き印を押印したおまんじゅう「秦高まんじゅう」が完成、今年はその包装紙を美術部に依頼して製作中です。

秦高饅頭 包装紙

Coming soon!!



【PTA の仕組み】

主として本部会、運営委員会、常任委員会で運営しています。その中で指名委員会、交通安全担当、環境美化担当も運営しています。

役員は、入学説明会の日に配布される用紙で参加を募り、半数以上が決定します。その後、足りない場合は、指名委員会が再び用紙を使い、交渉、すべての役員を決定します。

秦高 PTA 組織図



令和 4 年度は、通学路の安全点検を行い、通学路を共有する近隣学校や自治会と連携し、秦野市に対策の実施を依頼しました。



また、自転車屋さんにご協力いただき、生徒の自転車点検を行いました。不備がある自転車については、点検札により修理を促しています。

今月 18 日には、3 年に一度開催しているスケードストリートに運営協力予定です。

本部役員は、『できる人ができる事をやろう!』をモットーに取り組んでいます。

【委員会活動】

① 学年委員会

毎年 2 月に行われるマラソン大会のサポートや年に 4 回行われる保護者対象の進路講演会の運営をしています。

また、今年は 5 年ぶりに開催された広陵祭に休憩所を設置、「秦高まんじゅう」と飲み物を販売しました。

休憩所では茶道部、合唱部、弦楽合奏部とコラボレーションした企画を行ったり、今年、保護者が観戦できなかった体育祭の動画を広報委員さんの協力で上映したりしました。



先生方、生徒たち、広報委員会、成人委員会、本部と、PTA や学校一丸となつての企画になりました。

② 成人委員会

成人委員会は会員同士の交流を図ることを目的として活動しています。

活動の3本柱は、観劇会、花植え、講習会です。



花植えは、お花屋さんの指導を受けながら、年に3回実施しています。校門周辺に季節ごとのきれいな草花を植え、生徒たちを出迎えています。



R4はハーバリウム講習会

R5はアロマカップ講習会を実施しました。

「秦高まんじゅう」をお土産として配布。

役員自身がまず「やってよかった PTA」をめざして楽しみながら活動しています。

③ 広報委員会

コロナ禍で対面活動の中止が余儀なくされる中、「STEAM 教育推進校」の理念である科学やテクノロジーを駆使して、様々な問題にチャレンジしながら、広報誌を作成しています。



以前のような対面会議や、学校に集まった制作作業が制限される中で、以下のようなことを工夫しています。

チャレンジ



- ・紙面に QR コードを採用し、リアルタイムな情報に飛べる工夫
- ・積極的なオンライン会議の導入
- ・広報誌の制作マニュアルを作成
- ・運営ルールは、新たに再構築中
(ドライブを利用するうえで、ICT スキルの学び合いも自然に行われています。)
- ・最近では、PTA Wi-Fi を提案
(8月の運営委員会ですでに採択されました。)

【まとめ】

まだまだ、コロナ感染の恐れがある中、秦野高校では、それを理由に諦めるのではなく、皆で協力し合い、意見を出し合い、積極的に様々なことにチャレンジし、活動していく PTA を目指しています。

県西地区大会

主催 神奈川県立高等学校PTA連合会県西地区協議会
後援 神奈川県教育委員会
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

1日 時 令和5年10月7日(土) 12:30~15:35

2会場 南足柄市文化会館 大ホール

3参加者数 231名

4日 程(次第)

アトラクション 小田原高等学校ジャズ研究部による発表

(1) 開会式

- ①開会の言葉 西湘高等学校PTA会長 菅原 秀武
- ②主催者挨拶 神奈川県立高等学校PTA連合会県西地区協議会
会長(小田原高等学校PTA会長) 川合 栄二
- ③県西地区協議会代表校長挨拶 小田原高等学校長 中島 良光
- ④神奈川県立高等学校PTA連合会挨拶 副会長 小林 義和
- ⑤来賓挨拶 一般財団法人神奈川県安全振興会 常務理事 反町 聡之

(2) 研究発表

- ①研究発表
テーマ「Next PTA ~我ら西湘応援団~」
発表者 西湘高等学校PTA

②助言者講評 小田原城北工業高等学校長 立川 健二

(3) 休憩

(4) 講演

講師 新潟産業大学経済学部特任教授
蓮池 薫
演題 『夢と絆』

(5) 閉会式

- ①閉会の言葉 神奈川県立高等学校PTA連合会県西地区協議会
副会長(小田原東高等学校PTA会長) 小松崎 菊代

【講演・発表・助言原稿】

【研究発表】

タイトル 「Next PTA ～我ら西湘応援団～」

講演者 神奈川県立西湘高等学校 PTA会長 菅原 秀武

学校名 神奈川県立西湘高等学校

1 はじめに

令和5年度第61回神奈川県高等学校PTA連合会県西地区大会研究協議『Next PTA～我ら西湘応援団～』を事例発表テーマとし、本校PTA会員を対象とした、PTA意識調査に関するアンケート調査を実施し、アンケート結果をもとに、これからのPTAについて考えることとしました。

2 本校の概要

本校は、昭和32年4月1日の開校以来、67年目を迎えた伝統のある学校です。卒業生も23000人を超え、神奈川県をはじめ、全国各地で各分野でのリーダーとして活躍しています。

平成29年度（2017年度）まで13年間、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）として文部科学省より理数教育研究推進校の指定を受けて培った成果を、平成28年度から令和3年度までの2期6年間に続き、令和4年度からあらたに3年間の指定を受けた「プログラミング教育研究推進校」第Ⅲ期の取り組みに生かし、「論理的思考力」や「協働して問題を解決する能力」のみならず「創造的思考力」を養うことで、予測不可能な社会を自立して生き、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する、持続可能な社会の形成者の育成に取り組んでいます。

学習面では、国公立大学や難関私立大学への進学者数が毎年増加しています。一方で、部活動では運動部・文化部、併せて24の部活動と4つの同好会が活発に活動し、輝かしい成果を収めています。部活動で頑張る生徒が学習面でも粘り強く学習に取り組み、自分の第一志望校に進学していきます。

この4月7日に、本校は第67回の入学式を行い315名の新入生を迎え、生徒数は977名と

なりました。

学業はもちろんのこと学校行事、部活動などを通じて、「リーダーとして国際社会に活躍できる人材」として成長し、生徒一人ひとりが、この西湘高校の場で輝ける存在となること、また本校がさらに成長・発展していくことを目指しています。



3 本校のPTA活動

(1) 本部

本校PTA本部役員は、会長1名、副会長3名、書記1名、会計1名で活動しており、PTA事業の企画や運営を担う、広報委員会、ふれあい委員会、厚生委員会、成人教育委員会、学年委員会の5つの委員会で構成されています。

本校PTAは、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学校・保護者等との連携を今までよりも密にして、コロナ禍前のPTA活動へと少しずつ踏み出しおり、このコロナ禍で得た経験を活かし、変えることはべきものは変え、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えてPTA活動の活性化を進めています。

また、毎年PTA活動におけるPTAスローガンを掲げており、令和5年度のスローガンは『未来へ紡ぐ今を生きる～我ら西湘応援団～』とし、未来のある子どもたちが素敵な笑顔で学校生活を送れるために、一本一本細い繊維を紡ぎ、丈夫な糸を作るように、先生方・保護者等が一人一人協力し、新たな未来へ向けて頑張っていこうという思いがあります。

(2) 広報委員会

広報委員会では、広報紙『西湘』を年3回発行しています。令和4年度の実績では、6月にPT

A役員・教職員紹介号、10月に体育祭・文化祭特集号、2月に卒業特集号を発行しました。発行作業は、取材撮影を行い、取材に行けない場合は原稿依頼を行い、写真選定、編集作業を経て印刷業者に入稿し、何度も校正作業を繰り返して広報紙を発行します。

またその他の活動として、今年度は文化祭で体育祭で撮影した写真のスライドショー上映やフォトスポットの設営等を行いました。

(3) ふれあい委員会

主な活動は、文化祭での『ふれあいバザー』『制服リサイクル』『物販』と10月に実施している『ふれあい美化活動』です。

文化祭では、『西湘高校ロゴ入りタオル』『復活！西湘ロゴ入りクッキー』の販売も行い、あっという間に完売し、たくさんの方とふれあう事ができました。

また、ふれあい美化活動は、保護者・生徒・教職員の約140名が西湘高校周囲の除草作業を一緒に行う一大イベントとなっています。

(4) 厚生委員会

主な活動は、『自転車点検』と『花壇整備』で、地域ボランティアと学校をつなぐ大切な役割を担っています。

花壇整備は、定期的に除草作業と花の植え替えを行い、四季折々の花を楽しめるように、花壇ボランティアと協力して活動し、文化祭では、花壇から摘み取ったハーブでハーブティー、ハーブブーケを提供しました。

また、自転車点検では、自転車組合に協力していただき、生徒が通学に使用する自転車を一台一台丁寧に点検し、生徒の安心安全に関わっています。

(5) 成人教育委員会

保護者同士の親睦と教養を深めることを目的として、年2回『芸術鑑賞会』と『社会見学』のバスツアー研修を企画しています。今年の7月には、劇団四季ミュージカル『アナと雪の女王』の

鑑賞、10月には社会見学として埼玉県醤油工場の見学を行う予定です。

コロナやインフルエンザの感染が心配される昨今ですが、安心・安全なバスツアー研修を目指して企画しています。

(6) 学年委員会

保護者が最も関心がある子どもの進路について、外部講師をお呼びして、保護者対象進路講演会を開催しています。コロナ感染拡大に伴い、WEB配信に変更し、毎年変わる大学入試制度や受験勉強への対応方法、保護者としてのサポート方法などを講演していただいています。

また、文化祭では、お菓子のブーケの販売や上映会を広報委員会と共同開催するなど、保護者と学校のパイプ役として活動しています。

4 PTA意識調査

(1) PTAとは

PTAとは、保護者、教職員、組織の略で、子どもたちの健やかな成長のために、保護者と教職員がお互いに協力し合って様々な活動を行い、育成する集まりのことで、今から78年前の1945年から歴史が始っています。アメリカから派遣された教育の専門家により、戦後の日本の教育に関する基本的な方向性を示し、PTAの設立と普及を推奨する方針が掲げられ、文部省を通じて、全国的にPTAの指導、支援を行ったことから広まりました。当時の文部省が作成したPTA結成手引書の中には、PTAの趣旨として、『子どもたちが正しく健やかに育っていくには、家庭と学校と社会とが、その教育の責任を分けあい、力を合わせて子供たちの幸せのために努力していくことが大切である。』と謳われている。

(2) PTA問題

子どもや学校のために活動をするPTAですが、毎年、年末から4月頃までPTAのさまざまな問題が各メディアにクローズアップされることが多くなります。特に4月は入学・進級の季節で、PTAの役員・委員選出が行われるため、憂

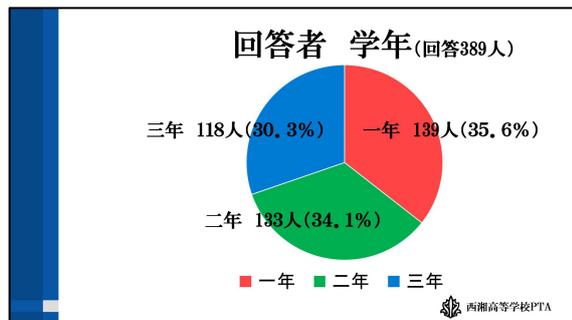
鬱だという人もいるのではないのでしょうか？

また、コロナ過頃からPTAを退会する人、集会やイベントの実施が難しく実質的にPTA活動を停止した学校も多く、PTA廃止を訴える声が相次いでいるニュースも聞きます。

そんなPTAは、実際、どう思われているのか？

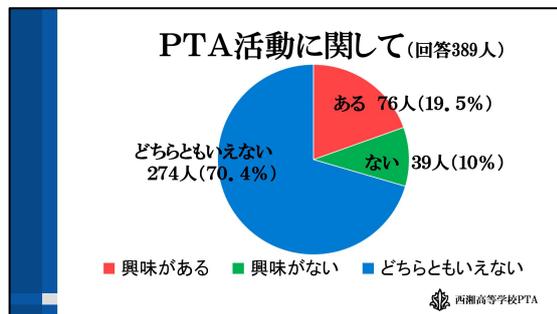
西湘高校の保護者等を対象にPTA意識調査として、アンケートを実施し、その結果をもとに、PTAの課題と今後のPTA活動について考えてみたいと思います。

(3) 学年別の回答者数



アンケートは、集計作業の都合上、グーグルフォームを利用したWEB調査とし、1年139人、2年133人、3年118人の389人が回答に協力してくださいました。

(4) PTA活動に対する意識調査



このPTA活動の意識調査についての設問では、『興味がある』が19.5%、『興味がない』が10%、『どちらともいえない』が70.4%と『興味がある』という人が『興味がない』という人を大きく上回りました。PTAには、ネガティブなイメージが多いものの、回答の『どちらともいえない』を含めると約9割の保護者等が

なんとなくPTAについて興味を持っていてくれるようです。

では、PTAってどんなイメージを持っているか、記述式で回答していただきました。

(5) PTAのイメージについて

- ・大変そう
- ・面倒くさい
- ・忙しい
- ・負担が大きい

西湘高等学校PTA

- ・熱心な保護者と興味のない保護者の差が激しい
- ・何をしているのかわからない
- ・時間的拘束がある
- ・参加しにくい

西湘高等学校PTA

PTAのイメージは、ネガティブなイメージばかりでしたが、ポジティブな回答もありました。

- ・子どもと学校の架け橋
- ・学校と家庭を繋ぐ、重要な役割
- ・縁の下の力持ち
- ・保護者の代表

西湘高等学校PTA

- ・子どもの学校での様子がわかる
- ・保護者、先生と交流が持てる
- ・教育に貢献できた
- ・自分の学びの場

西湘高等学校PTA

さらに、過去（保育園や幼稚園、小・中学校）に、PTA役員を経験したことのある人に、実際PTAをやってみてどうでしたか？という設問では、メリットを感じる声が多く聞かれました。

- 大変だったけど楽しかった
- やってみると仲間たちと楽しく活動ができた
- やりがいがあった



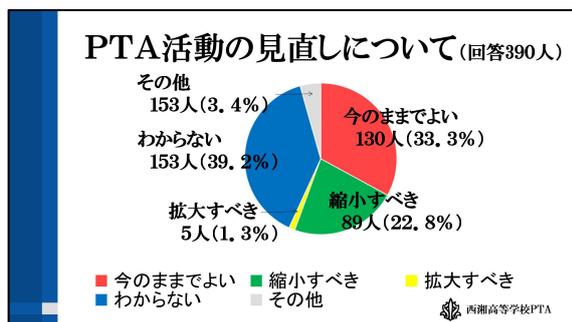
- 子どもの学校での様子がわかる
- 保護者、先生と交流が持てる
- 教育に貢献できた
- 自分の学びの場



ネガティブなイメージが多いPTAですが、実際にPTAを経験してみると、やってよかったという意見のほうが多い結果でした。

しかし、まだまだPTAの存在意義を含め、ネガティブなイメージのPTAですが、これからのPTAはどうしたらいいのか？無くてもいい活動もあるのか？はたして、見直しは必要でしょうか？

(6) PTA活動の見直しについて



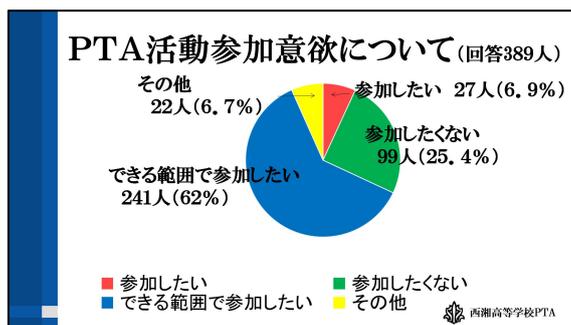
一見このアンケート結果だけを見ると、約3割の人が『今のままでよい』と回答しており、大きな改革や根本的な見直しは、必要なさそうな感じがします。

しかし、コロナ禍を経て、PTA活動ができない、活動が縮小されたにも関わらず、PTAを見直す必要がある、PTAを変えるべきだという声が意外と少ないことに注目していただきたい。

先に、誤解のないように言っておきますが、PTAの趣旨が間違っているとは思っていないし、PTAが不要だとも思っていない。今まで長いPTA活動を行ってきた、歴代PTA会長をはじめ、PTA役員の方の考え方が悪いとか、間違っているとりたいのではありません。むしろ、膨大な時間と労力を費やして、活動されてきたことについては、感謝しかありません。

だからこそ、約2割の人が『縮小すべき』と回答していることから、このような声が出てくるタイミングが、改革・見直しのチャンスだと思います。

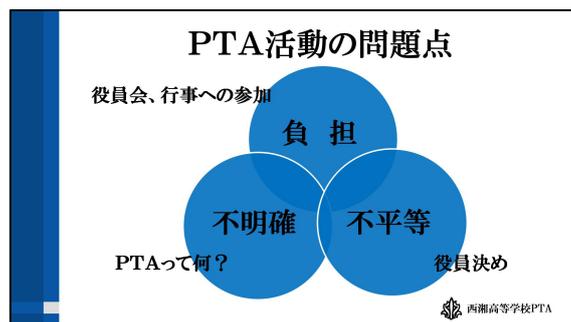
(7) PTA活動参加意欲について



なんと『参加したい』がわずか6.9%、『参加したくない』25.4%、『できる範囲で参加したい』が最も多く62%、『その他』が6.7%という結果になりました。

PTAはネガティブなイメージ、PTA活動の担い手である役員が居ない・・・、PTA活動ができない・・・いや、PTA自体の存続も、難しくなる日がくるのではないかという危機感さえあります。

(8) PTAの問題点について



今までのアンケート結果をもとに、PTAの問題点について、大きく分けて3つにまとめてみました。

1つ目の問題点は、『負担』。アンケート結果にもあったとおり、仕事を休んでまで役員会、行事への参加などで『大変』、『面倒くさい』、『忙しい』など大きな負担が考えられる。

2つ目の問題点は、『不明確』。PTAって何やってんの？、そのPTA活動は必要？いや、そもそもPTAって何なの？など、経験したことがある人は理解されていますが、PTA未経験、興味がない人には閉鎖的PTAのイメージであり、開放的なPTAや見える化PTAの推進が必要である。

最後の3つ目の問題点は、『不平等』。恐怖の役員決め、じゃんけん、くじ、PTA役員決めアンケートによる電話・・・なんで私だけ・・・役員だけが忙しいなど・・・不平等問題。

これらの問題点から見てきたのは、今の世の中に即したPTAの活動が行われていない点ではないでしょうか？



近年、働き方改革とともに耳にするようになった『ワーク・ライフ・バランス』。

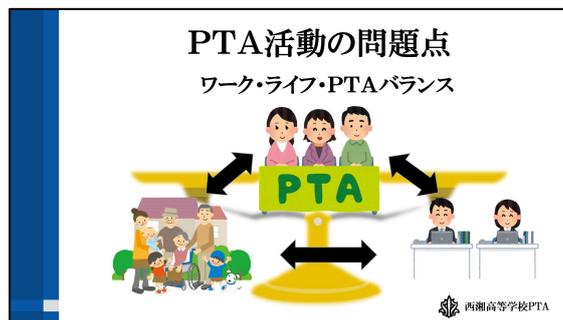
ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活のバランスが取れた状態ことで、仕事はやりがいや充実感を感じながら行い、生活は家族や趣味などプライベートの時間を充実させることにより、仕事と生活をお互いに良い影響を与えながら、仕事の生産性・効率性や生活の健康・豊かさを高めさせるということです。

PTA活動により平日昼間に開かれる会議や行事などに参加するのは、負担が大きく、『できればやりたくない』、または、仕事や介護など家庭

の事情などで『できない』という保護者が増加しています。

女性の社会進出や男性の子育て参加、仕事と家庭のバランスを崩してまで、PTA活動は行うべきではありません。

核家族、共働き家庭の増加やライフスタイルの多様化などにより、今までと同じの方法で活動を続けるには限界ではないでしょうか。



『ワーク・ライフ・PTAバランス』

今こそ、仕事・生活・PTAがよいバランスが取れるような制度や仕組みに改革・見直しし、保護者の負担を軽減する必要があると思います。

(9) ボランティア制の試行について

西湘高校では今年度、ボランティア制を試行してみました。

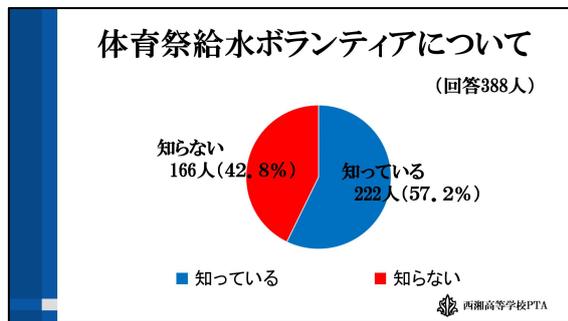
申込方法は、申込票を提出してもらうために今年度は紙媒体のみとし、募集案内については、マチコミで配信している『PTAだより』にて行いました。

昨年から西湘高校では、熱中症事故防止対策として、体育祭時に給水所をPTAが設営し、スポーツドリンクやお茶などを感染予防対策しながら提供しており、今年度は、昨年よりも多くの生徒たちが利用していたことや3年ぶりの家族の観戦を可能とする一般開放を踏まえて、生徒、先生、保護者など、多くの方が利用できるように給水所をグラウンド内2か所に増設しました。

この給水所は、本部役員が中心となり、各委員会からのお手伝い、ボランティア参加に手を挙げてくれた10数名で運営しました。

試行的に行ったボランティア制ですが、多くの改善点もありましたが、その一つとして、募集方

法です。

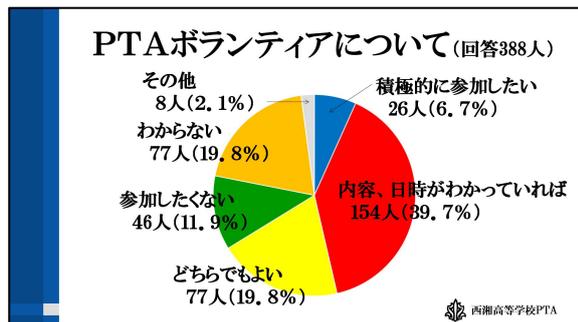


体育祭では、生徒を通じて紙媒体での配布と併用して、マチコミの『PTAだより』での案内としましたが、ボランティア募集案内は約6割程度の保護者にしか周知が出来ていませんでした。

PTA活動の『見える化』の観点、そしてボランティア制の導入を考えると、まだまだ改善が必要という結果でしょうか。

この結果から、今後、インターネットによる回答システムの導入やボランティア募集案内を検討し、『やってみたら楽しかった』と思ってもらえるような組織運営と、『やってみたい』『やってみてもいいかも』と思ってもらえるようなPTA活動の『見える化』メッセージを保護者に向けて発信していきたいと考えます。

(10) ボランティアの意識調査について



先程のPTA活動参加意欲調査の『参加したくない』25.4%と比較すると、ボランティア意識調査結果の『参加したくない』11.9%と約半数の人が、ボランティアなら参加してもいいかなと思ってきていることとなります。

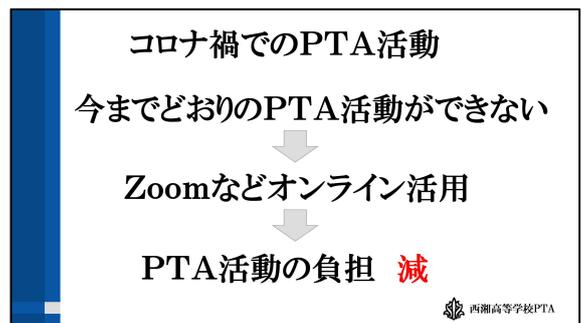
PTA活動は、本来ボランティアです。ボランティア制の導入で、PTA活動に参加しやすい環境の構築が可能です。

試行的に行ったボランティア制ですが、もし募集しても集まらなかったらどうしよう等の不安要素はありますが、全く集まらなければ、やらない、少人数しか集まらなかったら、集まった人でできる活動をするという選択肢も考慮しなくてはなりません。

また、どうしても実施しなければならないことがあれば、学校側とも相談しながら再度募集をかけるなど柔軟な活動が必要かもしれません。

しかし、集まらなかったから、役員で穴埋めをしましたでは、役員の負担を増やすだけの逆効果となります。

(11) コロナ禍でのPTA活動について



今、PTAは、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、変わろうとしています。

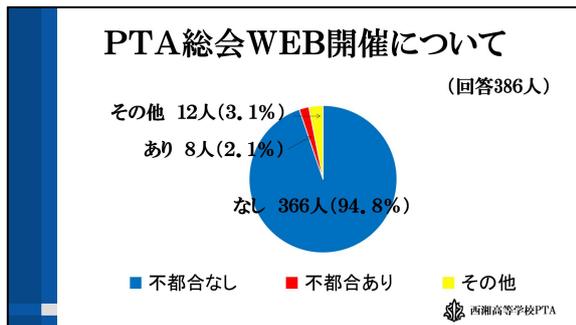
いえ、変わらなければなりません。

新型コロナウイルス流行時は、今までどおりのPTA活動ができず、役員会議さえ中止となり、ただ新型コロナウイルス流行が収束するのを待つのみでした。

しかし、社会も新型コロナウイルスの影響で在宅勤務が増加し、Zoomなどのオンライン化が普及し、今では、いつでもどこでもつながれるようなオンライン化で交流することが可能な世の中となり、多くのPTAがオンライン化を利用し、オンラインミーティングなど取り入れ、PTA活動を効率化し、負担の軽減や無駄を省いたり、仕事を分担して一人に負担がかからないよう配慮されるようになりました。

我が西湘高校もPTA総会をWEB開催とし、時代に即した対応をし、PTA活動をオンライン化

することで、保護者、役員の負担を軽減し、より多くの保護者・役員が気軽に参加できるようになりました。『コロナが収束したから対面開催に戻す』といった前例踏襲の発想から脱却し、これを機に、アフターコロナ、ウィズコロナでもWEB開催としていきたいと考えています。



5 まとめ

まとめ

- 保護者の負担軽減
- 参加しやすいPTA活動環境の構築
- PTA活動運営の効率化向上

西湘高等学校PTA

『PTAは大変』『PTAって必要なの?』『PTAなんて無くてもいいのでは?』というネガティブなイメージばかり聞こえますが、子どもたちのすこやかな成長のためには、学校と保護者の協力は欠かせません。

このコロナ禍を経て、PTAは、廃止、退会というよりも、改革・見直しをするチャンスの時期です。

PTA活動をボランティア制とし、保護者・役員の負担をなくし、楽しく・参加しやすいPTA活動環境を構築することが必要です。

また、PTA活動を『見える化』することにより、活動の目的や全容が見えれば、気持ち良く参加できる人も増えるはずです。

さらに、PTA活動をオンライン化することにより、時間、交通費などコストが削減できるという利点があるほか、保護者・役員の負担軽減、P

TA活動の運営効率化を向上することが可能となります。

まとめ

**できる人が、
できる時に、
できることを!**

西湘高等学校PTA

PTA活動の基本は、『できる人が、できるときに、できることを』です。

家庭や仕事を犠牲にしてまで頑張ってしまうと、長く活動が続けることが困難となります。

大切なのは、互いに支え合う『助け合い』の気持ちで取り組んでいくことです。『ありがとう』という何気ない一言が、気持ちよいPTA活動につながって行きます。

これからも県西地区の各高校と様々な情報を交換し、西湘高校のPTA活動の活性化を進めたいと思います。

助言者講評

小田原城北工業高等学校校長 立川 健二

西湘高校 PTA のみなさん、今回斬新なスタイルで、楽しくわかりやすくご説明いただきありがとうございます。はじめに各委員会の活動紹介がありましたが、PTA の委員会活動を通して、生徒を支援していくということが大きな柱ではございますが、活動を通して保護者の方がお互いコミュニケーションをとったり、情報共有したり、お子さんの話をしながら交流を深めたりということも大切なことだと感じました。

また、今回の発表の中心になると思いますが、PTA の意識調査アンケートをマチコミやグーグルフォームを利用して行ったとのことですが、アフターコロナの状況において、このコロナ禍で学んださまざまなアイテムを使って、PTA 活動に生かすということもこのコロナ禍で経験をした中でプラスになったことだと思います。

そのアンケートの中で、私が特に興味を持ったのは「PTA の活動に関して」興味がある、興味がない、どちらとも言えないという割合です。この質問の中で「どちらとも言えない」という方が7割を占めていたと会長が話されましたが、今後のPTA 活動を考えていくうえで、この7割の方をどう巻き込んでいくかということが、改革をしていくうえで大きなポイントになると私も思います。アンケートの活動イメージの中に「大変そう」「面倒くさい」というご意見をお持ちの方もいますが、この7割の方にどうアプローチしていくかが、大切なことだと思います。

そういったところに目をつけて、西湘高校さんではボランティアによる活動の試行をはじめられたということはこの7割の方を意識した改革ではなかったかと思います。

なかなかフルで参加しにくい保護者の方にとっては、PTA 活動に参加しやすいシステムではないかと思います。アンケートの結果にもあります通り、「内容・日時がわかっているならば参加したい」という方が4割いるということが、この試行が今後のPTA 活動の活性化につながるのではないかと思います。

今回の発表の中で、参集型という形態もPTA 活動において非常に有効ではありますが、ズームなどのオンラインを活用してPTA 活動の効率化を図り、保護者の負担軽減を図りたいというご発言がありました。県西地区各校におきましても今後このような方法を取り入れながら有意義な活動をしていただけたらと思います。

最後に、今学校ではコロナウイルスの感染やインフルエンザの感染が増えてきています。そういった蔓延防止にご配慮いただきながら、PTA 活動を通して、保護者同士のコミュニケーションや情報交換の場として、また生徒たちの応援団としてご支援・ご協力をいただきますことをお願いして私からの講評とさせていただきます。西湘高校PTA のみなさん、本日は本当に発表ありがとうございました。



講演

演題 夢と絆

講師 新潟産業大学特任教授 蓮池 薫

みなさん、こんにちは。こちら神奈川県にある横田早紀江さん、めぐみさんのお母さんですが、早紀江さんが「神様、あと2年だけ時間をください。」とおっしゃっていました。つまり、私は拉致問題というのは親が子に会いたい、というところからはじまった問題だと思っています。親が亡くなってしまったら、この問題に何の意味があったのかということです。今日はこの問題の実際を知っていただいて、私の体験もお話しさせていただいて、拉致問題の解決に繋げるような形で聞いていただけたらと思います。

そもそも拉致問題というのは、マフィアとか暴力団が人を連れ去って金儲けをすとかいう犯罪ではありません。国家がトップの指示のもとに、そして政治とは全く関係のない人を連れ去ったということです。現在日本で拉致認定されているのは17人です。3人は身代わり、警察では背乗りといっていますが、スタッフが実在する他人の身分・戸籍を乗っ取ってその人になりすますための拉致です。一番多い11人は横田めぐみさんや私のような場合で、目的は外国人スパイとして利用する目的で拉致した人です。北朝鮮のスタッフでも若い人はほとんど日本語が話せませんから、このスタッフを教育するために拉致をした。この問題が発覚したのは、ある新聞記者がどうみても結婚間近のカップルが3組も失踪したのはおかしいと思って調べ始めて、拉致未遂になった人にたどり着いた。その被害者はさるぐつわをされていたんですが、このさるぐつわが粗悪品で、とても国内で作られていたものではない、というところからいろいろ調査が始まり、その後ソウルで北朝鮮のスタッフが逮捕され、持っていた身分証明書から、さっきの背乗りがわかったり、大韓航空機爆破事件の犯人が捕まって、その人が日本語を教わった人が埼玉県田口八重子さんだということがわかったりし

て17人の拉致認定がされたわけです。北朝鮮も拉致があったことは認めましたが、これは一部の人間がやったことで、その犯人は処刑したと言ってきた。私は処刑リストを見ましたが全く別の件で処刑された人たちでした。さらに5人は返すが、8人は返せない、先ほどの田口八重子さんなどは返せば大韓航空機爆破事件の真相が明らかになる可能性があるわけですから返せない。ですから8人は亡くなったという報告があった。これには日本の家族会が反発した。あんな若い年で8人も亡くなるわけがない。調査団が派遣されましたが、北は墓が洪水で流されて7人の遺骨はないと言ってきた。1人だけ遺骨が渡されましたが、当時土葬だったのにこの骨は2度焼かれていることがわかった。さらに性別も年齢も亡くなったとされる人とは別人だった。

日本政府の中には核廃絶が先でしょという人もいますが、拉致被害者を返してくれたら経済援助をしますよといえれば北は動くかもしれない。私は日本に帰ってきましたが残された人に申し訳ないという気持ちでいっぱいです。演題の「夢と絆」ですが夢というものは自分が自由でなければあり得ない。めぐみさんは死んだことになっているから更に厳重な監視のもとに暮らしていると思います。そんな中で横田滋さんはお亡くなりになった。今でも遅いくらいです。どうか拉致被害者に夢と絆を繋げたい。これが本日の次第です。ありがとうございました。



県央地区大会

主催 神奈川県立高等学校PTA連合会県央地区協議会
後援 神奈川県教育委員会
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

1日 時 令和5年10月11日（水） 13:00～15:50

2会 場 ハーモニーホール座間 大ホール

3参加者数 237名

4日 程（次第）

（1）開会式

- ①開会の言葉
- ②地区会長挨拶
- ③地区学校長会議副会長挨拶
- ④高P連挨拶
- ④来賓挨拶

（2）研究発表

- ①研究発表Ⅰ 厚木清南高等学校PTA
『コロナを経験して今私たちができること
～時代に合うPTAの在り方とは～』
- ②研究発表Ⅱ 愛川高等学校PTA
『自転車点検を通じて安全意識を高める』
- ③質疑応答
- ④助言者講評

（3）休憩

（4）講演 師 三遊亭 彩大 氏
演 題 『落語で学ぶ親子関係』
質疑応答

（5）閉会式

- ①閉会の言葉

研究発表 I

講演者：神奈川県立厚木清南高等学校 P T A

学校名：神奈川県立厚木清南高等学校

「コロナを経験して今私たちができること ～時代に合う P T A の在り方とは～」

1 学校紹介

《厚木清南高等学校》

旧厚木南高等学校の校舎を改修し、県内 2 校目となる単位制普通科フレキシブルスクールとして平成 17 年に開校しました。全日制・定時制・通信制の三課程を併設している学校としては全国初のフレキシブルスクールとなります。本校の特徴でもあるフレキシブルスクールとは、神奈川県立高校教育改革の一環として誕生した、昼夜間の幅広い授業時間帯を設定し、生徒の生活スタイルや学習のニーズ、また個々のペースに合わせて柔軟に学びのスタイルを選択できる単位制普通科高校のことです。一人ひとりが自分の興味・関心に応じた学習計画を立て、幅広い学習時間帯と豊富なカリキュラムの中から自分だけの時間割を作成することができます。この特徴を活かしながら、自己を見つめ自分の将来を切り拓く力、自ら課題を発見しその課題に向けて思考・判断し行動する力、コミュニケーションを図り他者を尊重して協働する力、そして社会的自立を目指し努力する力を育む教育に取り組んでおり教育方針としています。

《校名》

清流「相模川」の西部に位置する新校のすがすがしさ・清らかさから「清」を、丹沢の峰を間近に望む厚木市の南に位置することから「南」が付けられました。

《校章・校歌》

校章は県民の方々に公募し、グラフィックデザイナーの奥野和夫氏の作品が選ばれました。

青空の下、清流「相模川」の流れをモチーフとして、無限に発展していくダイナミズムを表しており、空の色は伸びゆく様子、水の色はたゆみない努力を続ける様子象徴して



います。また校歌は、スタジオ・ジブリ作品や映画音楽、テレビ等の音楽を数多く手掛け活躍されている、久石譲先生の作曲によるものです。

2 P T A 活動紹介

厚木清南高等学校 P T A は、本部・年次委員会・環境整備委員会・広報委員会・成人委員会・ふれあい委員会で構成され、生徒がよりよい学校生活を送れるよう、学校と協力しながら活動しています。今年の 5 月からコロナの位置付けが「5 類感染症」に変更され、学校行事はもちろん P T A の活動も制約することなく行えるようになりました。

- ・本部…学校との連絡・調整役、月 1 回の役員会・運営委員会の開催、クリーンウォークでの生徒へのお茶出し、文化祭への参加などを行っています。
- ・年次委員会…教員と保護者の情報交換の場として、懇話会・交流会の企画・開催を行っています。また文化祭への参加、卒業式での花束贈呈を行っています。
- ・環境整備委員会…校内整備の一環として、年に 4 回花植え・除草作業を行っています。また卒業式で飾る花の準備・飾り付けもを行っています。
- ・広報委員会…広報紙「SEINAN」の発行に向け、スポーツ大会や文化祭などの学校行事の撮影や取材、編集作業を行っています。文化祭では学校生活に関することなどに

ついでにアンケートを取り、紙面作りに活かしてきました。

- ・成人委員会…講習会や研修旅行の企画・開催を行っています。
- ・ふれあい委員会…スポーツ大会での生徒へのお茶出し、文化祭への参加を行っています。
3月のクリーンウォークでは豚汁を作り生徒たちに提供してきました。

3 コロナを経験して考えること

コロナの影響で、学校行事も規模の縮小や簡素化、感染状況次第では中止という判断をせざるを得ない状況の中、PTAとしての活動も思うようにできない状況が続きました。そうした状況の中、PTAという存在がなくても学校生活は送れるのでは？と感じることも少なくありませんでした。ただ人との繋がりや関わりの大切さを改めて感じさせられることも多かったように思います。高校生にもなると学校生活のほとんどは、先生方の支援もあり、自分たちで考え行動するようになり、私たち保護者の手を借りるようなことはあまりありませんが、目を掛け見守ることは必要なことだと感じています。

時代の移り変わりや社会の変化の中で、私たちの生活スタイルは大きく変わってきています。そうした変化の中で、PTAの在り方や存在意義が問われる機会も増えてきています。PTAの活動目的は「生徒たちのために」ということです。「やる意味がない」「出来なかった＝やらなくていい」ではなく、学校や生徒にとって「何が必要なのか」をよく考え、その上で社会の変化に柔軟に対応し、活動の見直しや削減を行っていければと考えています。



～清南 花子ちゃん～

研究発表 II

講演者：愛川高等学校 P T A 成人交通安全委員会

学校名：神奈川県立愛川高等学校

「自転車点検を通じて安全意識を高める」

1 はじめに

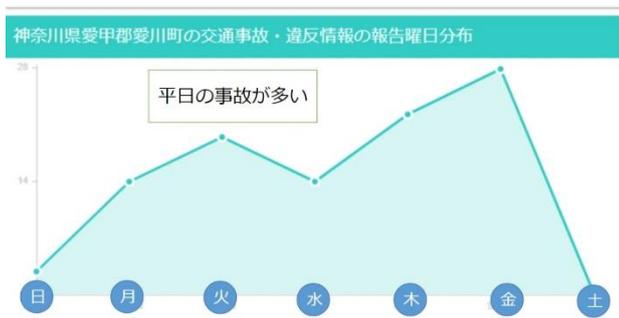
本校 P T A 成人交通安全委員会は、年に 2 回の自転車点検を実施している。なぜ自転車かという
と、全生徒の半数以上が自転車通学をしており、周
辺の道路は交通量が非常に多く、急な坂も多いた
め、日ごろから自転車点検をすることで事故の防
止につながると考えるからである。したがって、以
下の資料を作成して発表を行った。



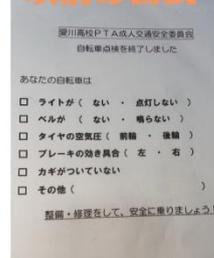
2 発表資料（一部抜粋）



本校PTAにおける
交通安全の取り組み



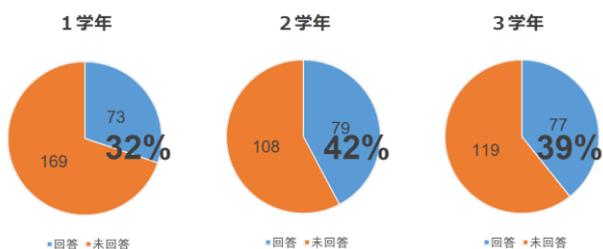
点検用紙について
以前の書式



自転車点検の結果



生徒アンケートの回答率



今後の課題

- ・ 修繕報告書の返信件数が1件でした。今後はどのようにしていくか。現状では「点検しっぱなし感」がぬぐえない。

点検を行ってみて

アンケートのプラス意見

- ・ 点検してくれたありがたい
- ・ 今後も整備してほしい

今後の活動

- ・ 自転車点検の実施+交通ルール順守の徹底
- ・ 放課後の下校見守り



3 発表方法

3に挙げたパワーポイント資料をもとに発表した。自転車点検の理由は1で書いたとおりである。例年は自転車点検をしても点検用紙がその場で捨てられてしまうことが散見されたため、今年から点検用紙の形式を変え、保護者にチェックしてもらい、後日、学校に点検用紙を提出するかたちにした。ところが、提出は1件のみであり、生徒達が現状をどのように考えているかを理解するため、デジタルアンケートを実施した。アンケート回答率は全体で3割程度であり、どうしても「点検したらそれで終わり」という感じが拭えない結果となった。ただ、プラスの意見もあり、今後も自転車点検を実施し、交通ルール順守の徹底を粘り強く行うことにした。

4 講評

発表後、県立厚木清南高等学校の今田（こんだ）校長より講評をいただいた。内容は以下のとおり。

- ・ 「自転車事故の懸念は多くの学校が抱いており、大変参考になる発表であった。」
- ・ 「平日の事故件数であったり、アンケート結果をデータ化することで非常に説得力ある発表だった。」
- ・ 「今年の高校生の自転車事故件数は、今年の同時期と比較して15件も増えているため、タイムリーな発表で興味深かった」

5 発表を終えて

生徒に周知する決定的な方法を見つけることは困難だが、生徒を思う気持ちはPTA一同同じである。今後は自治体にも働きかけてガードレールの設置を申請したり、警察に見回りをお願いする等、できることから少しずつ実施し、楽しく活動していく所存である。

講演

講演者：一般社団法人落語協会真打 三遊亭 彩大

「落語で学ぶ親子関係」

こんにちは。ご紹介にあずかりました、落語家の三遊亭彩大でございます。

今回の大会はコロナ渦の影響で3年振りの開催だそうですね。主催者の方からは、長く苦しい我慢の規制が明けた訳ですから、今年は是非、落語の笑いの力をお借りし、皆で楽しく親子関係を考える機会となる講演会をお願いしたいとのご要望を伺っております。

また、現代の新たなテーマともいえる「多様性」についても、落語の中で共通するものがありましたら、その点も是非聞いてみたいと伺っております。

「落語で学ぶ親子関係」というテーマから考えますと、確かにいつの時代も、家族や親子問題、また学校生活の問題は色々あるものでございます。しかし、世の中どんどん変わってまいりまして、最近では「親ガチャ」「毒親」など、私が学生だった頃にはなかった、驚くような負の言葉を耳にするようになりました。

時代という視点から言えば、私は昭和46年生まれの52歳でございます。本日ここにいらっしゃる先生方はベテランから若い方まで様々ですが、親御さん達はほぼ私と同世代かと思えます。なので親御さん方とは、自分が子供であった頃の思い出を懐かしく語り合いながら朝まで飲み合わせる気が致します（笑）

これらのご要望についての私なりの考えを講演としてお伝えさせていただく前に、親子関係が描かれる古典落語『抜け雀』を一席、お聞きいただこうと思います。

『抜け雀』（あらすじ）

夫婦二人で切り盛りしている宿に、汚い着物の若い男が通りかかり、宿の主人が声をかけると宿に泊まることになった。しかし、朝から晩まで酒を飲んで寝るだけ。支払いを危ぶんだ主人が

宿代を請求すると金はないが、自分は絵師だからと衝立に雀を5羽描き、これで五両になると言う。

翌朝、何と衝立の雀が衝立から飛び立ち、餌を食べたらまたピタリと衝立に戻ってきた。これが話題となり宿は「雀のお宿」と呼ばれ大繁盛となる。

ところがある日、初老の武士が訪ねて来た。絵を見て「未熟だ。雀が休むための場所がないではないか」と、衝立に止まり木と鳥籠を描き加え去っていった。すると翌朝、雀は衝立から飛び立ってちゃんと鳥籠の中で休むようになったので、宿はますます評判となった。

しかし、この話を宿の主人から聞いた絵師の若者の顔色がみるみる変わり、衝立を見るなりひれ伏して「ご無沙汰しております、度重なる親不孝をお許しください」と泣き出した。籠を描いたのは若者の父親だったのだ。

宿の主人が「親子二代で名人で、息子のあなたは立派な孝行息子ですよ」と言うと、絵師は「いえいえ、見てください、大事な親を駕籠かきにしました……」と嘆いたのだった。

以上、落語「抜け雀」でございました。最後の「駕籠かき」のサゲ（オチ）の意味がお分かりになりましたか？

※駕籠かき・・・宿屋や旅籠で客を待っている駕籠を担ぐ職業。重労働の上、素行の悪い人が多く、当時は身分が低かった。

親をそのような身分のものにしてしまったことと、自分の腕が未熟なため、親に作品を手直しさせてしまったという解釈も出来そうです。

落語には、この他にも親子関係を扱っているものが色々ございます。ご興味のある方は、ぜひお調べになって落語の場に足を運んでいただけましたら有難いです。

さて落語の中での親子関係とは、ある意味定

番の設定となっています。父親が出来の悪い放蕩息子を勘当する。息子は、参っちゃったなあ〜と困りながら何事かを起こして、最後は勘当が解かれて親子の情が感じられる話などもあります。勘当というのは、戸籍から除いてしまうことなので、家の相続権も失うんですね。勘当された息子が火消しになって、実家が火事になり心配で駆けつけても、家族は勘当しているから「どちらさまで？」などと他人のように接するんですが、これは切ないですね。

また、「子はかすがい」とも言いますが、親が不仲になっても子供が夫婦仲を繋ぎとめてくれるから子供は有難い存在だと。母親が奉公に行った息子が盆正月に帰って来るので、親は好物を食べさせようかと色々考えるんですよ。あとは父親が、酒飲みの息子の酒をやめさせようとするが、まず自分も改めねばと思い、自分も酒をやめる！と宣言するが、結局は親子二人してまた飲んじゃう、みたいなオチの話もあります。

現在のLGBTに該当する多様性ということについては、落語の中では残念ですがあまり当てはまらないと思います。たくさんの立場が異なる登場人物が出てくるからといっても、それは多様性ではないと思います。同じ価値観ばかりでは多様性があるとは言えないですし、人は自分と違う価値感の人を排除する傾向があります。その違いを受け入れることこそが多様性であると思います。

また、子育ての中での子供さんへの声掛けですが、なるべく否定的な言い方をしないでほしいです。私の母親は子供を心配する親心からかもしれませんが、一事が万事、否定的な言い方ばかりでした。遠くに仕事に行くと言えば、「そんな遠くになぜ行くの！」遅い時間に家を出れば「こんな遅くに仕事なの？」天気が悪い日に仕事に行くと言えば「雨なのに仕事なの？」という感じで。悪気がなくてもこういう声掛けは心が弱りますので、「遠くまでご苦労様ね」「遅い時間に大変ね、気をつけて行ってらっしゃい」「雨だから運転気をつけてね」というように、子供を励ますポジティブな言葉かけを是非お願いしたいと思います。

また、子供の進路や将来の仕事の選択も、どうしてそうしたいかを一緒に考えてほしいです。公

務員が安定していると言われたらそれを受け止めつつ、他にも安定している仕事があるかもと一緒に考えるとか。

また、将来の選択肢を広げるためにも、子供に色々な経験をさせてあげてください。私自身は子供時代にそういった経験がなく会社員になるしか考えつかなかったのですが、過酷な会社での生活が大変辛く、そんな時に落語を聞き面白いと思い方向転換をしました。

あと、先生方は目立たない子供は印象に残りにくいと思いますが、私自身も目立たない子供だったので、悩みがあっても言い出せませんでした。是非、そういう子供にも目をかけていただけたら子供はとても嬉しいのではないかなと思いますので、ぜひ、よろしくお願い致します。

相模原地区大会

主催 神奈川県高等学校PTA連合会相模原地区協議会
後援 神奈川県教育委員会
一般社団法人神奈川県高等学校安全振興会

1日 時 令和5年10月21日(土) 13:00~16:00

2会 場 相模原南市民ホール

3参加者数 137名

4日 程 (次第)

(1) 開会式

- ① 開会の言葉
- ② 主催者挨拶
- ③ 地区学校長会議会長挨拶
- ④ 来賓紹介及び挨拶

(2) 表彰

(3) 休憩

(4) 研究発表

- ① 研究発表Ⅰ
- ② 研究発表Ⅱ
- ③ 助言者講評

(5) 休憩

(6) 講演

講師 神奈川工科大学応用バイオ科学部応用バイオ科学科
小池 あゆみ 教授
演題 「理系は面白い～ロジカルシンキングってなに!?!～」
質疑応答

(7) 閉会式

- ① 閉会の言葉

研究発表 I

発表者：会長 飯田亜矢 副会長 高橋君忠 副会長 磯野ひとみ 書記 泊久代

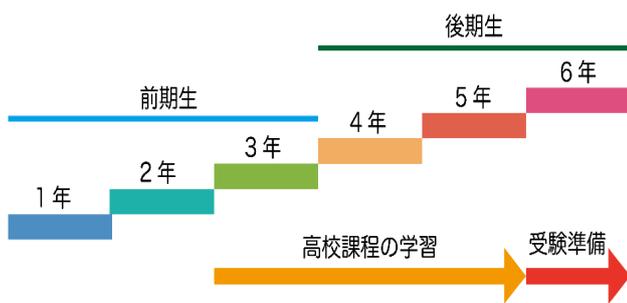
学校名：神奈川県立相模原中等教育学校 PTA

テーマ：次世代を担う生徒たちを支えるために

～時代に合わせてアップデートする PTA～

学校紹介

本校は、神奈川県内に 2 校存在する中等教育学校の一つです。中等教育学校とは、中学校相当を前期課程・高等学校相当を後期課程とする 6 年間の一貫教育を行う学校です。本校の募集定員は一学年 160 人です。入学するには入学者決定検査を受ける必要があります。適性検査と調査書により入学者を決定します。



本校では高校受験は行われず、中等教育学校の特例により、前期課程（中学生）から後期課程（高校生）のカリキュラムを学習できます。この仕組みにより、先取学習を進めることが可能であり、大学受験に向けての準備を早くから行えます。

本校は生徒の自主性を重んじています。例えば、制服において男女の区別はありません。学ランを女子が着ることや、スカートを男子が履くことについても、届け出などの手続きは必要がありません。自由に選ぶことができます。さらに、生徒会では現在、制服検討委員会が設置され、制服の今後の在り方を生徒自身で検討しています。

PTA 紹介

現在、本会の保護者会員の加入率は 100%となっております。役員・委員は 1 年ごとの任期が設けられております。ここ数年間は、希望者のみによる役員・委員の選出が実現しております。積極的な PTA 活動が顕著に表れております。

本会はコロナ禍においても、活動を中断することがなく前進してきました。総会は書面で行われ、広報誌の発行や学校の花壇整備など、通常通りの活動が実施されました。また、学校の行事である体育祭などへの支援も、校友会などが休止する中で、本会だけが着実に活動を続け、生徒たちの取り組みを支え続けました。



生徒たちの活動を積極的に支援しています。蒼碧祭文化部門には毎年参加し、物販やカフェで文化祭の盛り上がりにも貢献しています。蒼碧祭体育部門では、競技の撮影や熱中症対策としてドリンクの配布を行っております。さらに、生徒会とのミーティングを通じて新しい取り組みも展開されています。

タイトル 研究発表Ⅱ

発表者 PTA本部(國分威志・松本あや子・狩野和枝・眞柄仁美
上野恵美・山本あづさ・花上友里子・佐藤ゆり子)

学校名 相模原高等学校

テーマ PTA活動の紹介と『神奈川県まなびや基金』の活用



1. はじめに

相模原高等学校は1964年(昭和39年)に「相模原地区の進学を担う全日制普通科高校を」という地元の要請で開校しました。2016年(平成28年)学力向上進学重点校エントリー校、2019年(平成31年)スーパーサイエンスハイスクールSSHの指定を受けました。2023年(令和5年)に創立60周年を迎えました。

「礼節・信義・根性」を校訓に、「文武両道・切磋琢磨」を開校以来のモットーに、「県相(KENSO)」の愛称で親しまれている学校です。次世代のリーダー育成に力を注ぎ、多くの卒業生が各分野で活躍をしています。



開校から60年



生徒にも親しまれる県相の愛称(写真左)



神戸国際展示場でのSSH生徒研究発表会(写真右)

2. 本校PTAの紹介

本校PTAは、県相の教育理念である「文武両道」「切磋琢磨」の達成に向けて、教職員の皆さんと緊密に連携し、幅広い活動を行っています。組織は本部と5つの常任委員会で構成され、各学年28名前後が参加しています。

[本部]

生徒達の自主性を重んじ、充実した高校生活を送れるように諸先生方と保護者が知恵と力をあわせています。過去の活動を参考に、時代にあった在り方で学校側と各委員会・全会員(保護者)の橋渡しを行います。また、県高P連の各種研修や相模原地区内の学校との情報交換や共有を通じ、各委員会との連携を行っています。



PTA模擬店 ボランティアには40数名が参加(写真左)

交通安全推進委員会による自転車点検(写真右)



広報委員会による行事の撮影(写真左)



環境整備委員会の文化祭のウェルカムフラワー(写真右)

[交通安全推進委員会]

相模原高校に通う生徒が安全に登下校できるよう地区の交通安全デーに登校時交通指導を行っています。自転車で通学する生徒が多いので、生徒の自転車点検(全台)、空気入れの設置をしています。相模原地区内の高校との交通安全対策会議、県高 P 連の研修などに出席し情報交換も行ってきます。

[広報委員会]

県相の各行事などの撮影・取材を行い、生徒達の様子を広報誌として各家庭にお届けしています。

[環境整備委員会]

1年を通じた校内の花壇整備、年2回の校内美化活動を実施しています。

[成人教育委員会]

会員の学びや親睦・交流を図る機会を企画・提供しています。製作体験、観劇など会員相互の親睦をはかるだけでなく、体験教室で完成した作品は家庭への彩りを、観劇による感動が家族の会話を弾ませるきっかけになるように活動しています。

[学年委員会]

学年毎にクラス懇談会、進路説明会などを企画しています。保護者同士の交流・情報交換にも貢献しています。



成人教育委員会の企画には 30~70 数名が参加(写真左)

学年委員会は体育祭のダンス動画を上映(写真右)

3. 新たな取り組み

地区協議会で共有している他校の活動事例を取り入れたり、状況により活動を変化させるなど時代に合った活動の展開を実施しています。

- ・生徒との懇談会を実施(本部)
- ・自転車販売店マップの作成・配布(交通安全推進委員会)
- ・コロナ禍での相翼祭(文化部門)への参加方法の変更(令和4年度)



生徒と PTA 役員との懇談会



登校風景(写真左)

【県近近くの自転車屋さん】

相模 PTA 交通安全推進委員会では、年2回の自転車点検を実施しています。
安全な車、ゆめいフレーム、ペダル、自転車等の調整をマップしてご紹介していますので、お目につくお店、修理できるように、地図から 1km 以内(徒歩 10分程度)による検索(距離)の自転車屋さんを掲載しています。
日頃のメンテナンス、入塾時、卒業後の参考にしてください。

安全運転、自転車のメンテナンスを心がけましょう!



自転車販売店マップは新入生にも配布(写真右)

4. 『神奈川県まなびや基金』の活用

1) 『神奈川県まなびや基金』制度とは

県立学校などの教育環境整備を進めるには多額の財源を必要とすることから、その円滑な実施に向けて自主財源を確保し、教育環境整備の推進に活用するために2009年(平成 21 年)度に創設した制度。同窓会等の篤志家の方々など母校の教育環境の充実に対して高い関心を持った方などから寄附金を教育環境整備事業の財源として活用するもの。

2) 『神奈川県まなびや基金』の活用

- ・事業提案型は従来下限金額が決まっていたが、撤廃され、比較的少額の事業においても寄附を募集し、事業を実施できるようになった。
- ・事業提案型案件は募集期間内に金額が達成しない場合は当該指定校寄附として扱われるため、最終的には学校のために運用される。
- ・『ふるさとチョイス』で寄附ができる
- ・通常源泉徴収で納付している地方税を、お子様や母校のために使うことができる。
- ・税額控除の対象になる(年末調整での一部還付がある)
- ・他県に在住の卒業生や関係者からも母校に貢献ができる。

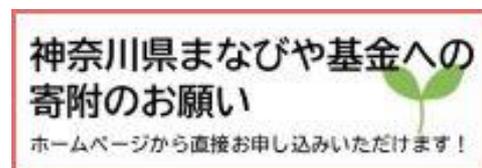
3) 事業提案型の内容

生徒や保護者へ事業案の募集を行い、その結果も含め総合的に判断しました。提案のあった事業案は学校側へ要望書として共有予定。

昨今は5月より猛暑となる傾向が強くなり、6月に開催されている相翼祭(体育部門)での熱中症リスクが高いため、日よけとなるテントや冷風機の購入を提案しました。

4) これからの展望

OB・OG(同窓会)、保護者へ呼びかけて寄附を募ります。周年記念式典でのチラシ配布やSNSを用いた拡散により寄附を募ります。



◆参考資料◆

高P連

教育委員会

高P連事業概要

令和5年度 高P連組織概要

1 名称と事務所所在地

名称 神奈川県立高等学校PTA連合会
 所在地 〒231-0023 横浜市中区山下町2番地
 産業貿易センタービル9F
 TEL 045-641-0337
 FAX 045-641-0338
 E-mail : kana.koupren@kanagawa-koupren.org
 高P連HP: <https://kanagawa-koupren.jp>

2 組織構成 (10地区)

地区	各校PTA			令和5年度会員数 (令和5年5月現在)	令和5年度 地区協議会会長校
	全日制	定時制 通信制	合計		
横浜北	17		17	16,783	霧が丘高等学校
横浜中	15	1	16	13,415	金井高等学校
横浜南	7	1	8	6,274	横浜明朋高等学校
川崎	14	(1)	14 (1)	12,219	新城高等学校
横三	9	1	10	6,597	横須賀南高等学校
湘鎌	15	2	17	14,162	茅ヶ崎高等学校
平秦	13	1 (1)	14 (1)	10,755	平繫中等教育学校
県西	8	1 (1)	9 (1)	5,248	小田原高等学校
県央	18	2	20	15,877	座間高等学校
相模原	13	(1)	13 (1)	11,519	上溝高等学校
合計	129	9 (4)	138 (4)	112,849	

※定時制・通信制の欄にある()の数は全定同一PTA組織の学校数。

3 役員と理事

- 1)役員 : 会長 (1) 副会長 (4) 会計 (2) 総務 (3) 監事 (2)
 2)理事 : 地区協議会会長(10)

4 賛助会員(50音順)

全力丸株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 東京工芸大学

令和5年度 事業概要

- 1 定期総会
令和5年6月3日(土)
会場：パシフィコ横浜アネックスホール ⇨ 会場開催

- 2 大会
 - ◇ 研修大会
7月16日(日)
会場：パシフィコ横浜アネックスホール ⇨ 会場参加、オンライン併用開催

 - ◇ 第61回県大会
12月10日(日)
会場：パシフィコ横浜会議センター ⇨ 会場参加、オンライン併用開催
 - ◇ 地区大会 ⇨ 10地区で開催
 - ◇ 専門教育部会大会

(その他大会)

 - ◇ 第69回関東地区高P連大会栃木大会
7月7日(金)～8日(土)
会場：マロニエプラザ、鬼怒川温泉 ⇨ 会場開催

 - ◇ 第72回全国高P連大会宮城大会
8月24日(木)～25日(金)
会場：カメイアリーナ仙台 他 ⇨ 会場参加、オンライン併用開催

- 3 広報事業
 - ◇ 会報発行 第132号(令和6年2月発行予定)
 - ◇ ホームページの運営
 - ◇ 第47回広報紙コンクール表彰式
12月10日(日)
第7回広報紙「表紙」コンクール表彰式
会場：パシフィコ横浜会議センター

- 4 健全育成事業
 - ◇ 講演会
(第1回) 7月16日(日) 研修大会 第3分科会
(第2回) 9月16日(土) (第3回) 11月18日(土)

- 5 交通安全事業
 - ◇ 交通安全対策特別委員会・交通安全運動連絡会 (第1回) 7月29日(土)
(第2回) 令和6年1月23日(火)
 - ◇ 地区交通安全大会 ⇨ 10地区(会場やオンラインでの開催等)
 - ◇ 県立高等学校等交通安全教育推進協議会との連携及び事業提携

- 6 その他
 - ◇ 役員会(会場) ①月例 ②臨時
 - ◇ 理事会(会場・Zoom併用) ①月例 ②臨時
 - ◇ 委員会(会場・Zoom併用) 随時
 - ◇ 理事校・交通担当校予定者説明会 令和6年5月下旬予定

令和5年度 地区大会一覧表

主催 神奈川県立高等学校PTA連合会地区協議会
後援 神奈川県教育委員会
一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

地区 担当校	日時 参加人数	会場	実施内容
横浜北 霧が丘	10月14日(土) 13:10～17:15 150名	横浜創英大学	講演:『SNS全盛期における手紙コミュニケーション』 講師:中丸ひとみ氏 発表:荏田高等学校PTA 発表:新羽高等学校PTA
横浜中 金井	10月21日(土) 9:30～11:30 147名	男女共同参画センター 横浜	講演:『落語から学ぶコミュニケーション』 講師:一般社団法人落語協会 三遊亭彩大氏 発表:横浜旭陵高等学校PTA 発表:舞岡高等学校PTA
横浜南 横浜明朋	10月14日(土) 13:30～16:10 96名	港南公会堂 ホール	講演:『デジタルデバイスから子どもたちの脳を守る ～子どもたちを守るために大人が知っておくべきこと～』 講師:株式会社フェニックスプロジェクト 代表取締役 澤口ゆりあ氏 発表:横浜南陵高等学校PTA 発表:横浜氷取沢高等学校PTA
川崎 新城	10月6日(金) 13:30～16:00 192名	宮前市民館	講演:『「我が子の力を信じよう」～幸せの源泉は自己決定～』 講師:NPO法人ファザリング・ジャパン 理事 川島高之氏 発表:大師高等学校PTA 発表:多摩高等学校PTA
横三 横須賀南	10月6日(金) 14:00～17:00 105名	横須賀市文化会館 中ホール	講演:『変わる社会・教育・保護者の役割』 講師:三浦学苑高等学校 教頭 野櫻慎二氏 発表:三浦初声高等学校PTA 発表:追浜高等学校PTA
湘鎌 茅ヶ崎	10月18日(水) 13:00～16:00 166名	茅ヶ崎市民文化会館 小ホール	講演:『美しく書くこと ―美文字を求めて―』 講師:横浜国立大学教育学部 教授 青山浩之氏 発表:大船高等学校PTA 発表:湘南台高等学校PTA
平秦 平塚中等教育	10月4日(水) 13:30～16:35 307名	ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール	講演:『絵本作家として、親として。わかること、わからないこと』 講師:絵本作家 ヨシタケシンスケ氏 発表:二宮高等学校PTA 発表:秦野高等学校PTA
県西 小田原	10月7日(土) 12:30～15:35 231名	南足柄市文化会館 大ホール	講演:『夢と絆』 講師:新潟産業大学経済学部 特任教授 蓮池薫氏 発表:西湘高等学校PTA
県央 座間	10月11日(水) 13:50～15:50 237名	ハーモニーホール座間 大ホール	講演:『落語で学ぶ親子関係』 講師:一般社団法人落語協会 三遊亭彩大氏 発表:厚木清南高等学校PTA 発表:愛川高等学校PTA
相模原 上溝	10月21日(土) 13:00～16:05 137名	相模原南市民ホール	講演:『理系は面白い ～ロジカルシンキングってなに！？～』 講師:神奈川工科大学応用バイオ科学部 教授 小池あゆみ氏 発表:相模原中等教育学校PTA 発表:相模原高等学校PTA

令和5年度 専門教育部会大会

専門 小田原城北 工業	10月28日(土) 9:15～11:30 70名	横浜市庁舎 市民協働推進センター スペースA	テーマ:『Restart ～触れてみよう、専門高校～』 内容:①開会の言葉 ②主管校会長、校長あいさつ ③来賓あいさつ ④スケジュール紹介 ⑤活動紹介 ⑥体験ブースの紹介 ⑦閉会 ⑧STEAM EXPO 2023会場体験
-------------------	--------------------------------	------------------------------	---

令和5年度 地区交通安全大会 一覧表

主催 神奈川県教育委員会
 県立高等学校等交通安全教育推進協議会
 神奈川県立高等学校PTA連合会地区協議会
 協賛 一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会
 後援 神奈川県立学校長会

(実施内容：大会報告書より掲載)

地区 担当校	日時 参加者数	会場・形式	実施内容
横浜北 市ケ尾	11月24日(金) から 一定期間配信	市ケ尾高等学校 視聴覚室 (オンライン形式)	テーマ：『語り合おう、私たちの交通安全』 高校生：各校の交通安全の取り組み、市ケ尾高校演劇部による交通安全啓発劇 ※交通安全啓発に役立ててもらうため、DVDを作成・配付して、各校で視聴する
横浜中 横浜平沼	11月15日(水) 14:00～16:00 136名	横浜平沼高等学校 小ホール	テーマ：『高校生が考える交通安全対策』 高校生：参加生徒によるグループディスカッション 「歩きスマホ・歩きイヤホンについて」「登下校マナーについて」「自転車マナーについて」
横浜南 横浜明朋	11月24日(金) 13:30～15:15	地球市民かながわプラザ プラザホール	テーマ：『スマホ見れば 減ってく充電 増えてく危険』 高校生：横浜清陵高校、横浜国際高校、横浜緑ヶ丘高校、柏陽高校
川崎 麻生総合	11月7日(火) 13:20～16:10 273名	宮前市民館	テーマ：『伸びる“横幅”縮まる命』 高校生：生田高校、川崎工科高校、麻生高校、住吉高校、菅高校、百合丘高校 麻生総合高校 PTA：生田東高校PTA、麻生総合高校PTA
横三 逗子葉山	11月10日(木) 14:00～16:00 98名	横須賀市はまゆう会館	テーマ：『大切なのは 心の余裕と 安全運転』 高校生：高校生会議成果発表、「スタートかながわ」推進モデル校(追浜高校)活動報告 PTA：冊子に活動をまとめて配付する
湘鎌 藤沢工科	11月20日(月) 13:30～16:00 244名	茅ヶ崎市民文化会館	テーマ：『気を抜かず 慣れた道でも 確認を』 高校生：藤沢工科高校、湘南高校、鶴嶺高校 PTA：藤沢工科高校PTA
平秦 平塚工科	11月22日(水) 13:00～15:30 229名	平塚市中央公民館	テーマ：『慣れた道 心の油断が 事故のもと』 高校生：平塚秦野地区県立高等学校13校交通安全委員会 PTA：秦野総合高校PTA
県西 小田原東	11月10日(金) 13:00～15:45 73名	南足柄市文化会館 小ホール (金太郎みらいホール)	テーマ：『ルールを守って笑顔が続く毎日を』 高校生：足柄高校、大井高校、小田原高校、小田原城北工業高校、山北高校、 吉田島高校 PTA：地区内8校 PTA交通安全担当者より活動報告
県央 大和西	11月6日(月) 13:30～16:00 158名	海老名市文化会館 大ホール	テーマ：『聴いてみて イヤホンよりは 町の音』 高校生：厚木東高校・厚木商業高校、大和東高校、綾瀬西高校、厚木清南高校 厚木西高校、座間総合高校、大和高校、海老名高校、座間高校、有馬高校 愛川高校、綾瀬高校 PTA：愛川高校PTA
相模原 相模原弥栄	11月17日(金) 14:00～16:30 154名	杜のホールはしもと	テーマ：『命より大切なものってありますか？ ～笑顔で迎える明日のために～』 高校生：相模原弥栄高校、津久井高校、麻溝台高校 PTA：相模原弥栄高校PTA交通安全推進委員会

令和5年度 高P連交通安全対策組織図

交通安全運動連絡会	
構 成	(高P連) 会長・担当副会長・健全育成委員会委員長・事務局長 (学校長会議) 県立高等学校等交通安全教育推進協議会会長・副会長・会計・*委員 *委員は原則高P連交通担当校代表 (安全振興会) 理事長・担当常務理事・事務局長 (校長会) 会長 (教育委員会) 保健体育課交通安全担当
活 動 内 容	交通安全運動全般の連絡会・安全振興会からの補助金の用途 各種情報交換・活動の評価

■地区(P)

高P連地区交通安全対策会議 (県下10地区)	
構 成	地区交通安全対策代表者 (地区会長・地区交通安全教育実行委員会委員長) 各校PTAから1名の交通安全対策担当者
活 動 内 容	地区交通安全活動の検討・実践 (地区交通安全大会等) 各校PTAの情報交換

□地区(T)

交通安全教育実行委員会 (各学校の交通安全担当教職員の組織) 地区交通安全大会の指導
--

地域との連携 所轄の警察・交通安全協会・各組織

■学校(P)

各校PTA交通安全の組織 (学校ごと)	
構 成	各校でPTAの交通安全委員会組織 交通安全活動の担当者
活 動 内 容	各校の交通安全活動の検討・実践

□学校(T)

交通安全教育担当教員 生徒支援グループ PTA担当の教員

地域との連携 所轄の警察・交通安全協会・自治会・他校PTA・各種組織

県大会講師一覧

敬称略

年度	氏名	職名	演題
平成2	木村 治美	共立女子大教授	次代の変化に対応して
3	菅原やすのり	都市計画家・歌手	地球に生きる
4	寺田 文行	早稲田大学教授	国際化、情報社会に生きるための親の役割と子の生き方
5	内藤 健三	大和定住促進センター	外国籍県民と私たち - 心優しく寛大な国際人を目指して-
6	奥村 晋	県青少年問題協議委員会	変動する社会の中で、子どもたちとともにどう生きるか
7	小林 完吾	アナウンサー	今 親として… 大人として…
8	奥平 健一	せりがや病院院長	若者の薬物乱用
9	吉村 恭二	横浜YMCA総主事	「今問い直す私たちのあり方」 - いきぬく力と共感する心をはぐくむために-
10	尾木 直樹	教育評論家	子どもの心、大人の愛 - アイデンティティの確立求める現代の青年-
11	宇井 治郎	東京純心女子大学教授	最近の青少年の傾向と家庭の役割
12	景山 秀人	弁護士	子供の人権と子育てや教育
13	汐見 稔幸	東京大学大学院助教授	現代の若者の夢と不安をめぐって
14	諸川 春樹	多摩美術大学教授	絵画から読みとる創造と発見
15	鈴木 共子	造形作家	息子の命、未来につながれ!
16	町沢 静夫	医師	現代青年の心の動き ～子どもをめぐる環境～
17	安藤 由紀	PEACE暴力トレーニングセンター代表	子どもと同じ目線に立って
18	朴 慶南	作家	私以上でもなく、私以下でもない私
19	藤井 輝明	鳥取大学大学院教授	今を生きる
20	広瀬 久美子	元NHKエグゼクティブアナウンサー	「天使のことば」～生きた言葉づかい～
21	池田 香代子	作家・翻訳家	「100人の村、あなたもここに生きています」
22	鎌田 敏	こころ元気研究所所長	「こころ元気に、今日から、ここから」
23	白鳥 稔	元県教育庁教育部長	「今、人権を考える」～豊かな人権感覚が育てるもの～
24	新井 立夫	文教大学准教授	「今、社会に出ていくために子どもに求められていること、それを育むための保護者の役割と関わり方」
25	ヴァイヤルト千佳こ	臨床心理士	「まだ間に合う、親としてできること」 ～これからの社会を生き抜くために～
26	ピーター・フランクル	数学者・大道芸人	人生を楽しくする方程式 ～高校生を持つ保護者に向けて…～
27	大島 武	東京工芸大学教授	コミュニケーション再考～もっと分かり合うために～
28	和田 由香	医師	健全育成を考える～スマホ(SNS)の利用を通じて～
29	鈴木 寛	文部科学大臣補佐官	変わる高校教育、その中でPTAに期待すること ～家庭教育・地域連携教育の向上を目指して～
30	三浦 瑠麗	国際政治学者	グローバル化時代を生き抜く個人と社会
令和元	両角 速	東海大学駅伝監督	前に進む力
2	新井 紀子	国立情報学研究所 社会共有知研究センター長	人工知能がもたらす人間と社会の未来
3	講演なし		
4	宮澤 ミシェル	元サッカー選手	子どもが輝くための子育て ～“ひと”を支える“ひと”になる～

いじめをはじめとする困りごと

○24 時間子ども SOS ダイヤル

いじめに関する問題などさまざまな悩みの相談

TEL:0120-0-78310

TEL:0466-81-8111

【受付時間】毎日 24 時間 【休み】なし

○SNS を活用した相談窓口

LINE による中高生のさまざまな悩みに関する相談

【受付期間】4/3～3/29 (月・水・金) 18:00～21:00

4/3～7・5/8～12・8/21～9/2・1/6～10 は

毎日受付 【休み】12/28～1/5

【友だち追加】

[URL:https://lin.ee/b6YVAFe](https://lin.ee/b6YVAFe)



不登校・ひきこもりに関すること

○不登校ほっとライン

「学校に行けない」、「行きたくない」など不登校・引きこもりの相談

TEL:0466-81-0185

【受付時間】毎日 8:45～16:45 【休み】年末年始

○かながわ子ども・若者総合相談 LINE

ひきこもり・不登校・非行等の相談

【受付時間】火、木、土 14:00～21:00

【休み】祝休日・年末年始

【友だち追加】[URL:https://page.line.me/](https://page.line.me/009ddhtc)

[009ddhtc](https://page.line.me/009ddhtc)



2023 相談窓口

ひとりで悩まず
まずは相談して
ください。

体罰・セクハラに関すること

○体罰に関する相談窓口

体罰に関する相談

TEL:0466-81-1967

【受付時間】月～金 8:45～12:00 13:00～16:45

【休み】土・日・祝休日・年末年始

○県立学校におけるセクシュアル・ハラスメント に関する相談窓口

セクシュアル・ハラスメントに関する相談

TEL:0466-81-1967

【受付時間】月～金 8:45～12:00 13:00～16:45

【休み】土・日・祝休日・年末年始

いのちをまもる

○いのちのほっとライン@かながわ

「生きるのがつらい」「気分が沈む」など、
こころの健康に関する悩みを LINE で相談

【受付時間】月～金・日 17:00～21:30

【休み】土・祝休日・年末年始

【友だち追加】[URL:https://page.line.me/194qtyur](https://page.line.me/194qtyur)



○横浜いのちの電話 **TEL:045-335-4343**

【受付時間】毎日 24 時間 【休み】なし

○川崎いのちの電話 **TEL:044-733-4343**

【受付時間】毎日 24 時間 【休み】なし

※共通フリーダイヤル **TEL:0120-783-556**

【受付時間】毎日 16:00～21:00 毎月 10 日は 8:00～翌 11 日 8:00

【休み】なし

子どもに関するさまざまな相談

○神奈川県立総合教育センター

学校生活や家庭生活に関するさまざまな悩みの相談

TEL:0466-81-0185 【受付時間】毎日 8:45～16:45 【休み】年末年始

児童・生徒の発達に関する相談

○発達教育相談 TEL:0466-84-2210

子どもの発達に関するさまざまな悩みの相談

【受付時間】毎日 8:45～16:45 【休み】年末年始

こころの健康に関する相談

○こころの電話相談 TEL:0120-821-606

こころの病気、生活・仕事に関する悩み、対人関係の悩み、性に関する悩み(性的マイノリティ)等の相談

【受付時間】毎日 24 時間 【休み】なし

○横浜市こころの電話相談 TEL:045-662-3522

【受付時間】月～金 17:00～21:30 土・日・祝日 8:45～21:30 【休み】なし

○川崎市こころの電話相談 TEL:044-246-6742

【受付時間】毎日 9:00～21:00 年末年始 9:00～17:00 【休み】なし

○相模原市こころのホットライン TEL:042-769-9819

【受付時間】毎日 17:00～22:00 (受付は 21:30 まで) 【休み】年末年始

○横須賀こころの電話 TEL:046-830-5407

【受付時間】月～金 16:00～23:00 (毎月第 2 水曜日は 16:00～翌 6:00) 土・日・祝日 9:00～23:00 【休み】なし

人権(虐待・暴力など)に関する相談、子育ての悩みや非行などに関する相談

○子ども・家庭 110 番 TEL:0466-84-7000

子育ての不安、親子関係や家族の悩みなど、子どもにかかわる相談

【受付時間】毎日 9:00～20:00 【休み】なし

○かながわ子ども家庭 110 番相談 LINE

【受付時間】月～土 9:00～21:00 【休み】日・年末年始【友だち追加】[URL:https://page.line.me/884uxepn](https://page.line.me/884uxepn)

○横浜市電話児童相談室(横浜市在住の方) TEL:045-260-4152

【受付時間】月～金 9:00～17:30 土 9:00～16:30 【休み】日・祝休日・年末年始

○川崎市児童虐待防止センター(川崎市在住の方) TEL:0120-874-124

【受付時間】24 時間 【休み】なし

○相模原市児童相談所(相模原市在住の方) TEL:042-730-3500

【受付時間】月～金 8:30～17:00 【休み】土・日・祝休日・年末年始

○横須賀市児童相談所(横須賀市在住の方) TEL:046-820-2323

【受付時間】月～金 8:30～17:00 【休み】土・日・祝休日・年末年始

○ユーステレホンコーナー(神奈川県警察少年相談・保護センター)TEL:0120-45-7867

少年の非行問題やいじめ、犯罪被害等に関する相談

【受付時間】月～金 8:30～17:15 【休み】土・日・祝休日・年末年始

○人権・子どもホットライン TEL:0466-84-1616

子ども専用の人権に関わるような悩み相談(通報は大人の方からも受け付けます)

【受付時間】9:00～20:00 【休み】なし



家族のケアに関する相談

家族などのお世話、介護や看病といったケアのこと。「ケアのことで悩んでいる」、「ケアで忙しく学校生活や進路のことが心配」

「自分の時間が持てない」「だれに相談したらいいかわからない」など、ケアに関するさまざまな相談

○かながわヤングケアラー等相談 LINE

【受付時間】月・火・木・土 14:00～21:00【休み】祝休日・年末年始【友だち追加】[URL:https://page.line.me/929qoxco](https://page.line.me/929qoxco)

○かながわケアラー電話相談 TEL:045-212-0581

【受付時間】水・金 10:00～20:00 日 10:00～16:00【休み】祝休日・年末年始



安全振興会 あらまし



- Q 1. 安全振興会設立の趣旨は何ですか。…………… A-2
- Q 2. 設立後の歩みはどうなっていますか。…………… A-2
- Q 3. 運営組織や役員の構成はどうなっていますか。…………… A-3
- Q 4. どんな事業を行っていますか。…………… A-3
- Q 5. 「学校安全の普及充実」事業とは何ですか。…………… A-3
- Q 6. 加入状況と加入方法を教えてください。…………… A-5
- Q 7. 会費はいくらですか。…………… A-5
- Q 8. 見舞金の給付条件は何ですか。…………… A-6
- Q 9. 中学生の時（安全振興会加入前）に負傷し、治療が続いている場合も、
見舞金の請求ができますか。…………… A-6
- Q 10. 見舞金の種類や給付金額について教えてください。…………… A-6
- Q 11. 令和4年度の災害統計等について教えてください。…………… A-7
- Q 12. 見舞金請求の手続きを教えてください。…………… A-8
- Q 13. 見舞金等の請求には、期限がありますか。…………… A-8
- Q 14. 見舞金が給付されなかったり、減額されたりすることがありますか。A-8
- Q 15. 負傷等見舞金について補足してください。…………… A-9
- Q 16. 修学奨励制度について教えてください。…………… A-10
- 修学奨励金給付基準**…………… A-10

一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会

〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター 326号室

電話 (045)274-8189 FAX (045)274-8190

<http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp>

Q1. 安全振興会設立の趣旨は何ですか。

学校管理下の事故による災害に対する共済制度として、日本学校安全会(現在の独立行政法人日本スポーツ振興センター(以下「スポーツ振興センター」))が見舞金や治療費の給付を行っていましたが、その額は社会通念上必ずしも十分とは言えませんでした。死亡や障害などの大きな災害は、本人並びに家族にとって精神的、経済的負担は計り知れないものがあります。また、時には災害をめぐって保護者と学校間あるいは保護者同士で、賠償問題等のトラブルが起きるといった不幸な事態に至ることもありました。そこで、災害を受けた生徒や保護者の早急な救済を図るために、県立高等学校PTA連合会(以下、高P連)と県立高等学校長会(以下、校長会)が神奈川県教育委員会の助言を得て昭和52(1977)年に安全振興会の前身となる神奈川県立高等学校災害共済会を設立しました。昭和56(1981)年の財団法人化を経て平成25(2013)年に一般財団法人となり、以降、スポーツ振興センターの給付金の不足を補って保護者の負担を軽減するなど、災害をめぐる様々な問題の解決を図りながら、共済事業を中心に活動しています。利益団体ではありませんので、保険に比べて少額の掛金で高額の見舞金が給付されます。

- ※ スポーツ振興センター見舞給付金の補充
- ※ スポーツ振興センターと安全振興会を合わせて医療費の6割の見舞金が給付されます。(給付には条件があります。)



Q2. 設立後の歩みはどうなっていますか。

昭和52年	6月	県教育委員会の指導を受けながら校長会の協力を得て、高P連の内部組織として「神奈川県立高等学校災害共済会」が発足。
昭和56年	4月	公益法人としての設立が許可され「財団法人神奈川県立高等学校安全振興会」として高P連から独立した組織として発足。発足当時の状況は加入校 130校(全日制 122校、定時制 8校) 会員数 125,520人
平成5年	7月	県立全日制高校全165校の加入を達成。
平成7年	4月	通信制の加入を認める。
平成8年	4月	県立盲・ろう・養護学校の加入を認める。養護学校3校が初めて加入。
平成18年	6月	県立定時制高校19校全校加入を達成。
平成21年	4月	県立中等教育学校の加入を認める。
平成22年	10月	財団創設30周年記念式典挙行政。
平成24年	4月	神奈川県教育委員会より「PTA・青少年教育団体共済法」に基づく共済事業が認可される。
平成25年	12月	一般財団法人に移行し、団体名称を一般財団法人神奈川県立高等学校安全振興会に変更した。
令和5年	6月末現在	加入校156校(全日制132校、定時制20校、通信制2校、中等教育学校2校) 会員数 113,845人

Q3. 運営組織や役員の構成はどうなっていますか。

高P連と校長会の現役員とOBが中心となって、評議員会や理事会などを組織して運営しています。
また、財産管理・役員人事・事業内容・年度末会計等については、神奈川県教育委員会の指導監督の下で行っています。

- (1) 評議員 11名（高P連副会長 3名、校長会副会長 1名、学識経験者として高P連OB 3名、校長会OB 4名）
- (2) 理事 理事長以下8名（高P連会長、校長会会長、学識経験者として高P連OB 3名、校長会OB 3名）
- (3) 監事 3名（高P連副会長、校長会副会長、学識経験者として高P連OB）
- (4) 作文コンクール選考委員 6名（学識経験者として校長会OB 6名）

Q4. どんな事業を行っていますか。

安全振興会は、主に次の3つの事業をしています。

1. 見舞金の給付に関する事

学校管理下の災害に対し、各種の見舞金の給付を行っています。

2. 学校安全の普及充実に関する事

災害を未然に防ぐために、生徒の安全意識の向上、安全な生活環境整備のための各種事業を行っています。

3. 修学奨励金の給付に関する事

学資の支弁が困難な生徒に対し、修学奨励金を給付しています。

Q5. 「学校安全の普及充実」事業とは何ですか。

被害者を救済するということも大切ですが、なによりも事故に遭わない、事故を起こさないことが大事です。安全振興会では「学校安全の普及充実」事業として、生徒の安全意識の啓発と向上、及び安全な生活環境の整備をめざして、次のような事業を行っています。

1. 広報活動

(1) 『安全振興会報』の発行

年2回(8月、2月)『安全振興会報』を発行しています。本会の事業内容の紹介や安全に関する情報提供を行っています。

(2) 次年度版『安全振興会のご案内』の発行

毎年12月に最高学年を除く学年の全保護者等と、新入生の保護者向けに次年度版『安全振興会のご案内』を発行し本会の趣旨や事業内容を紹介しています。表紙に高P連の広報紙コンクール安全振興会写真賞に入賞した写真を使用します。

また、この『安全振興会のご案内』は高P連地区大会や県立高等学校等交通安全教育推進協議会と高P連が主催する地区交通安全大会など、さまざまな集会で配付して安全振興会の理解の一助としています。

2. 安全推進月間の実施

11月を安全推進月間に指定し、生徒の安全意識の啓発と向上、及び安全の推進に係る事業を実施しています。

(1) 作文コンクール

県立の高等学校、中等教育学校及び特別支援学校高等部の生徒から、安全又は健康に関する作文を募集し、最優秀賞の2編については、高P連県大会において本人による朗読と、「安全振興会のご案内」、「安全振興会報」の掲載により広く発表しています。

(参考 1) 直近7年間の応募状況

年 度	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
学 校 数	22	18	20	17	24	18	14
応募編数	1,025	940	898	366	1,456	1,223	659

(参考 2) 令和5年度作文コンクール応募校

川和、横浜平沼、麻生総合、菅、向の岡工業、鎌倉、大磯、平塚農商、伊志田、相模田名、厚木清南、津久井、神奈川総合産業、相模原向陽館、

(2) ポスターコンクール

県内の高校生から作文コンクール作品募集と安全推進月間キャンペーン用のポスター原画を募集します。

実施を神奈川県高等学校文化連盟美術・工芸専門部会に委託し本会にて審査をしています。最優秀作品をB1版ポスターに作成し、各学校に配付しています。

令和5年度は11校170作品の応募がありました。

(令和5年度作品。左:安全推進週間、右:作文募集 ⇒)



3. 補助事業

生徒の安全と健康に関わる次の事業に補助金を交付しています。

令和5年度の補助事業交付金は次の通りです。

No.	名 称	対 象 団 体	交付額
1	高P連交通安全運動等健全育成事業	県立高等学校PTA連合会	265万円
2	高P連安全啓発事業	県立高等学校PTA連合会	81万円
3	交通安全教育推進運動「スタートかながわ」を中心とした交通安全運動の展開と交通安全教育に係る指導方法の研究	県立学校長会	343万円
4	高文連安全対策事業	県高等学校文化連盟	40万円
5	高体連安全対策事業	県高等学校体育連盟	10万円
6	定時制通信制高校における安全・健康のあり方に関する研究	県立高等学校定時制通信制教頭会	20万円

4. 委託事業

学校安全の普及充実のための事業を令和4年度は次の通り委託しています。

安全振興会ポスター原画募集事業 (ポスターコンクール)

対 象 団 体 神奈川県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部会

委 託 金 15万円

Q6. 加入状況と加入方法を教えてください。

皆さまにご理解をいただきまして、現在、県立高等学校の全校全課程(全日制132校、定時制20校、通信制2校)及び県立中等教育学校全(2校)にご加入いただいております。

安全振興会への加入は、保護者等が個人で加入手続きを行うのではなく、**学校単位で安全振興会に団体加入**の手続きを行っていただきます。

平成25年度から、PTA・青少年教育団体共済法により共済契約者(PTAの代表者(PTAが組織されていない学校等にあつては、当該学校の長。))は前年度に本会へ共済契約申込の手続きを申請していただくことになりました。これにより当該年度当初から共済期間となります。加えて共済契約者は学校を通して、当該年度6月20日までに、加入・更新届の提出及び会費の納入をお願いします。

Q7. 会費はいくらですか。

会費(年度ごと)は、共済掛金(純掛金+付加共済掛金)と一般会費の合計となります。

学校・課程	会費額		会費内訳		合 計
	共済掛金		一般会費		
	純掛金	付加共済掛金			
高等学校 *全日制	708円	372円	120円		1,200円
定時制	354円	186円	60円		600円
通信制	106円	56円	18円		180円
中等教育学校	708円	372円	120円		1,200円

*「高等学校」には特別支援学校高等部を含みます。

[注] 共済掛金の割合については、見直すこともあります。

(使途)

- ・純 掛 金: 見舞金の給付
- ・付加共済掛金: 見舞金給付に係る経費、安全普及啓発事業及びその経費
- ・一 般 会 費: 修学奨励事業、供花料及び共済会計以外の管理費

※ 途中加入の場合は、共済契約期間の終期までの月割計算した共済掛金(純掛金+共済掛金)と一般会費(年額)の合計額となります。

※ 途中退会の場合は、当該共済契約期間終期までの月割計算した共済掛金(純掛金+共済掛金)から手数料(500円)を差し引いた額を返還します。ただし返還額が100円未満の場合は返還しません。一般会費については返還できませんので予めご了承ください。

※ **例えば、医療費に10万円掛かったとします。3割負担のご家庭では3万円を医療機関に支払います。請求により、給付条件を満たせばスポーツ振興センターから4万円、安全振興会から2万円の合計6万円が給付されます。**

例えば全日制の生徒さんなら年間1,200円の会費で、種々の見舞金等の給付対象となります。**ひと月分に換算するとなんと100円です!**



Q8. 見舞金の給付条件は何ですか。

スポーツ振興センター法施行令の規定に準じて、学校管理下で生徒に死亡、障害、負傷等の災害が発生したとき、安全振興会から会員(保護者等)に見舞金を給付します。「学校管理下」とは、次のような場合です。

- (1) 生徒が、法令の規定により学校が編成した教育課程に基づく授業を受けている場合。
- (2) 生徒が、学校の教育課程に基づいて行われる課外指導を受けている場合。
- (3) 生徒が、休憩時間中に学校にある場合。その他校長の指示または承認に基づいて学校にある場合。
- (4) 生徒が、通常の経路および方法により通学する場合。
- (5) (1)から(4)の場合に準ずる場合として、文部科学省令で定める場合。

※ スポーツ振興センターの給付対象であることが必要です。

※ 負傷等見舞金はセンターの給付額の合計が同じ災害につき 15,000 円以上が対象となります。

Q9. 中学生の時(安全振興会加入前)に負傷し、治療が続いている場合も、見舞金の請求ができますか。

できません。高校入学後(安全振興会加入後)の災害が対象です。スポーツ振興センターの給付が継続していても、高校入学前(入会前)に発生した災害は契約外のため見舞金給付の対象とはなりません。

Q10. 見舞金の種類や給付金額について教えてください。

スポーツ振興センターの給付額を基準に給付します。見舞金の種類と金額は次の通りです。

- (1) **死亡見舞金** スポーツ振興センター給付額の **5割で、最高額 1,500 万円**
- (2) **障害見舞金** 治療が終わっても身体に障害が残った場合に支払われる見舞金です。障害の程度により1級から14級まであり、スポーツ振興センターの給付額の **5割で、最高額1級 2,000 万円~14級 44 万円**
- (3) **負傷等見舞金** 同一の事由による災害に対するスポーツ振興センターの医療費給付額が **15,000 円(窓口負担なしの場合は 3,750 円)以上となったとき、スポーツ振興センターの給付額の 5割**
- (4) **歯牙欠損見舞金** スポーツ振興センターの給付額の **5割(令和4年4月1日以降の災害が対象。令和4年3月31日以前の災害は義歯見舞金で対応します。)**

この他に、スポーツ振興センターとは関係なく**本会独自の給付金**として次のものがあります。

- (1) **供花料** 生徒が死亡した場合、供花料として **10 万円**を給付します。上記の死亡見舞金とは異なり、交通事故や病気による死亡など、学校管理下でなくても生徒が死亡した場合に給付します。
- (2) **義歯見舞金** スポーツ振興センターの障害見舞金・歯牙欠損見舞金の対象とならない歯科補綴2歯以下について**1歯当り 5 万円**を給付します。
- (3) **特別見舞金** 災害の状況により、スポーツ振興センターの見舞金給付の対象にならない場合があり得ますが、そのような特別な事情による死亡又は障害に対しては、審査のうえ特別見舞金を給付することがあります。



Q11. 令和4年度の災害統計について教えてください。

- (1) 新規申請のうち、学校管理下での災害は1,355件です。(令和3年度は1,433件)
- (2) 学校管理下のうち「部活動」が881件で、学校管理下での災害全体の64.8%です。
- (3) 通学時等、学校管理下での自転車事故に起因する災害の申請は76件です。

〔令和4年度災害と給付状況〕

種 類	合 計		
	件数	金額	
死亡見舞金 計	2	22,500,000	
障害見舞金 計	6	3,261,000	
負傷等見舞金	新規	1,335	46,549,300
	継続	405	12,487,900
	合計	1,740	59,037,200
義歯見舞金 計	15	900,000	
供 花 料 計	20	2,000,000	
総 計	1,783	87,698,200	

〔負傷等の内訳〕

内 訳	新規	継続	合計
骨 折	603	103	706
捻 挫	93	14	107
脱臼	52	30	82
打 撲	104	9	113
外 傷	33	2	35
膝 内 障	20	8	28
歯 牙 破 折	40	5	45
アキレス腱断裂	4	0	4
半月板損傷	36	17	53
膝 靭 帯 損 傷	124	164	288
足関節靭帯損傷	113	10	123
ヘルニア	60	32	92
そ の 他	53	11	64
合 計	1,335	405	1,740

※「負傷等見舞金」の欄の「新規」とは、当該年度に第1回目の請求のあったもの。「継続」とは、同一の災害について2回目以降に給付したもの(前年度以前から継続している負傷等見舞金と、当該年度において2回目以降の負傷等見舞金のこと)です。

(参考) 見舞金等給付 過去10年間の推移

年 度	件数 (件)	給付額 (円)	年 度	件数 (件)	給付額 (円)
25	2,109	104,762,500	30	2,171	112,333,100
26	2,052	83,110,200	R1	2,173	146,974,900
27	2,010	98,014,600	R2	1,768	72,576,800
28	2,161	102,670,300	R3	1,871	81,391,300
29	2,154	131,642,300	R4	1,783	87,698,200

Q12. 見舞金請求の手続きを教えてください。(Q15.参照)

学校を通しての請求となります。

- (1) 学校管理下で災害が起きたら、まず学校からスポーツ振興センターに見舞金の請求を行います。
- (2) スポーツ振興センターから見舞金が給付されましたら、書類を整え学校から安全振興会に請求します。
- (3) 負傷等見舞金では、同一災害につきスポーツ振興センターの給付合計が 15,000 円以上になったとき(窓口負担なしの場合は 3,750 円以上)、学校から安全振興会に見舞金の支払請求(初回)を行います。
- (4) 学校からの請求を受けて、安全振興会は規定に従って給付額を決定し、会員(保護者等)名義の口座に見舞金を振込みます。振込みを確認した後に「見舞金等支払通知書」を校長宛と保護者(会員)宛の双方を学校に送付します。

Q13. 見舞金等の請求には、期限がありますか。

見舞金を請求する権利は、その給付事由が生じた日から3年間請求が行われないときは消滅します。

【給付事由が生じた日】

- ・死亡見舞金/障害見舞金/歯牙欠損見舞金
⇒スポーツ振興センターが死亡見舞金/障害見舞金/歯牙欠損見舞金を給付した日
- ・負傷等見舞金 ⇒スポーツ振興センターの給付額が 15,000 円(窓口負担なしの場合は 3,750 円)に達した日
- ・義歯見舞金 ⇒歯科補綴等が完了した日
- ・供花料 ⇒死亡した日

Q14. 見舞金が給付されなかったり、減額されたりすることがありますか。

1. スポーツ振興センターの基準に準じ、次のようなときは見舞金の給付を行いません。
 - (1) 同一の負傷または疾病に関する給付は、スポーツ振興センターの医療費の給付開始後 10 年までです。ただし、障害見舞金の給付については、この限りではありません。
 - (2) 他の法令の規定により国又は地方公共団体の負担において療養若しくは療養費の支給を受け、又は補償若しくは給付を受けたときは、その受けた限度において見舞金の支給を行いません。
 - (3) 非常災害(風水害、震災、事変その他の非常災害であって、当該非常災害が発生した地域の多数の住民が被害を受けたものをいう。)の場合。
 - (4) 自己の故意によるときは、障害若しくは死亡に係る場合。(供花料はこの限りではありません。)
2. 次のようなときは、本会は見舞金給付の一部を行わないことがあります。
 - (1) 第三者から損害賠償を受けた場合、その受けた価額の限度において見舞金の支給を行わないことがあります。
 - (2) 自己の重大な過失によるときは障害若しくは死亡に係る見舞金給付の一部を行わないことがあります。
3. 次のようなときは見舞金の削減・分割をすることがあります。
 - (1) 特別な災害その他の事由により共済契約に係る所定の見舞金を支払うことができない場合には、見舞金の削減を行うことがあります。
 - (2) 見舞金を支払うべき資金に不足が生じたため、支給額を支払うことが困難となった場合は、分割して支払うことがあります。

Q15. 負傷等見舞金について補足してください。(Q12.参照)

負傷等で医療機関に掛かった時、窓口での支払い額(負担額)が**医療費の3割の場合**を説明します。

① まず、学校から書類を受取り、学校を経由してスポーツ振興センターに請求をします。その請求に基づいて、**スポーツ振興センターからは**、窓口負担額である医療費の3割と、スポーツ振興センター付加支給分として医療費の1割が加算され、**合計して医療費の4割が給付されます。**

② 次に**スポーツ振興センターから同じ災害での負傷等に対して給付された額が15,000円以上**になりましたら、学校から書類を受取り、学校経由で安全振興会へ請求をしてください。安全振興会から、**スポーツ振興センター給付額の5割(つまり医療費の2割)**を指定された口座にお振込みいたします。

例えば、医療費が10万円の場合、医療機関に3万円を支払います。この場合、請求によりスポーツ振興センターから4万円、安全振興会から2万円の合計6万円の見舞金が給付されます。

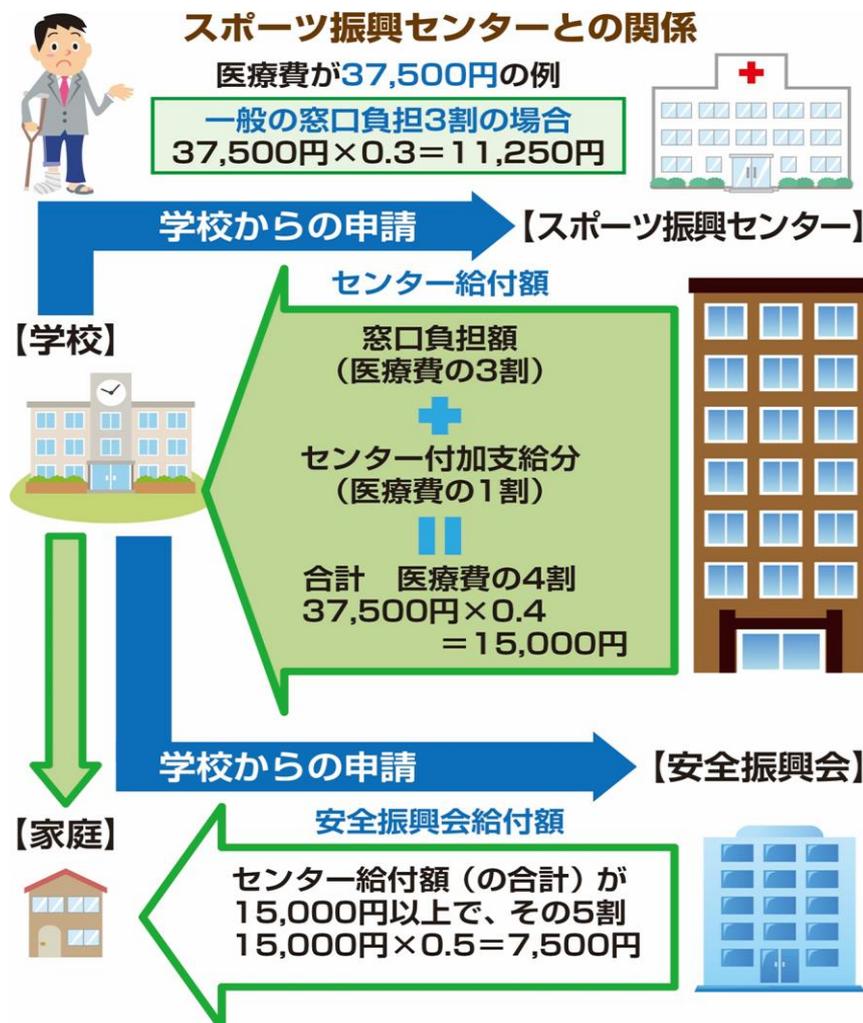
安全振興会の給付対象になるスポーツ振興センターの給付額が15,000円以上とは、医療費が37,500円以上(窓口支払額が11,250円以上)の場合が該当します。医療費が37,500円(窓口支払額が11,250円)未満の場合は安全振興会の給付対象にはなりませんのでご注意ください。

医療費 37,500円 ⇒ 窓口支払額は $37,500円 \times 0.3$ (3割負担) = 11,250円

【請求】 ⇒ スポーツ振興センターから $37,500円 \times 0.4 =$ 15,000円…①

【請求】 ⇒ 安全振興会から $15,000円 \times 0.5 =$ 7,500円…②

【給付】 合計 ①15,000円 + ②7,500円 = 22,500円 が給付されます。

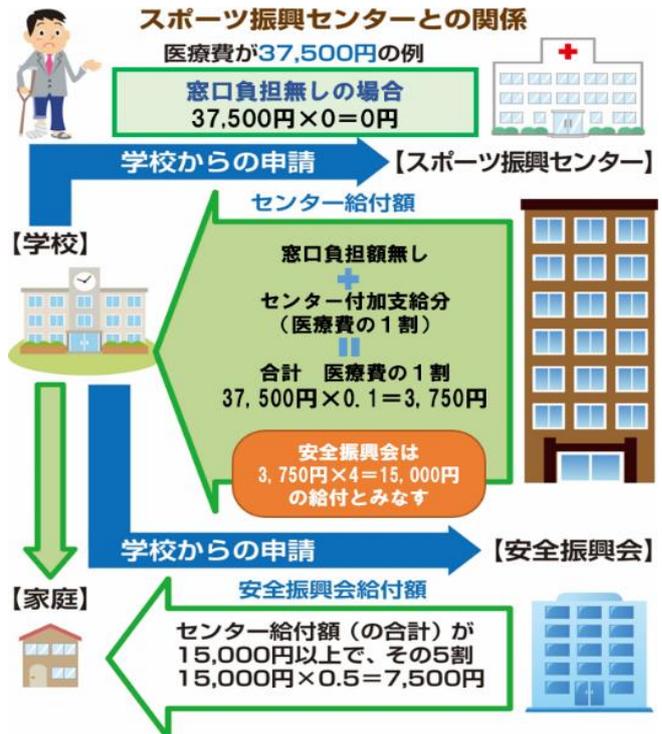


医療機関での窓口負担無しの場合

スポーツ振興センター医療費給付額はセンター付加給付分である医療費の1割となります。

この場合安全振興会では、スポーツ振興センター給付額の4倍を給付額とみなし、その額が15,000円以上となった場合、その5割を給付します。

これにより医療機関での窓口負担無しの場合でも、本会から窓口負担3割の場合と同額の見舞金が給付されます。



Q16. 修学奨励制度について教えてください。

令和5年度の募集要項は次のとおりでした。令和6年度は年度当初学校に配布される要項または本会ホームページをご確認ください。学校推薦となりますので、ご注意ください。

(1) 出願資格 保護者等が本会の会員で、次の1)、2)のいずれかに該当する者

- 1) 「修学奨励金給付基準」第2条に該当する者
- 2) その他特別の事情で学資の支弁が困難な者

※ 他の奨学金との併給が可能です。(返還の必要はありません)

(2) 給付月額 : 6,000円 (年額 72,000円)

(3) 採用定員 : 全県立高校全日制・定時制・通信制各課程につき1名、全中等教育学校各1名

(4) 給付期間 : 令和5年4月から令和6年3月まで

(5) 出願方法 : **校内で奨励生に推薦された者**は、修学奨励生願書を学校に提出。

学校は修学奨励生推薦書を添えて本会に出願してください。

※ 同じ生徒に、1年生から3年生(中等教育学校では1年生から6年生)の間に複数回給付することも可能です。

【参考】修学奨励金給付基準

第2条 運営規則第15条第1項1号に係る対象者は、次の各号に定める者とする。

- (1) 生活保護法(平成25年法律第144号)に基づく保護を受けている者
- (2) 生活保護法に基づく保護を受けている者に準ずる者で、地方税法の規定により市町村民税の所得割を納付していない者
- (3) 児童福祉法に基づく措置を受け、児童福祉施設に入所している者等





高 P 連 旗 標

P T Aの3文字をかさね、中央に県のかもめを配し図案化する。

PとTが互いに相たずさえ子どもたちの健全な育成を期するように高の字を抱き、神奈川ブルーの大海原を飛翔するかもめは高の字を目指し、限りない未来への可能性を追求している。

図案作成者 稲 葉 哲 也 (県立瀬谷高校在学中に作成)